

清水住宅建築工事（第6工区）

図 面 目 録

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	
01	A-00	表紙・図面リスト	37	A-36	2DKタイプ 展開図(1)	72	S-15	3~7階伏図	1/100
02	A-01	建築工事特記仕様書1/11	38	A-37	2DKタイプ 展開図(2)	73	S-16	8~R階伏図	1/100
03	A-02	建築工事特記仕様書2/11	39	A-38	2DKタイプ 建具表・建具キープラン	74	S-17	軸組図(1)	1/200
04	A-03	建築工事特記仕様書3/11	40	A-39	3DKタイプ 平面詳細図	75	S-18	軸組図(2)	1/200
05	A-04	建築工事特記仕様書4/11	41	A-40	3DKタイプ 展開図(1)	76	S-19	基礎リスト、地中梁リスト	1/50
06	A-05	建築工事特記仕様書5/11	42	A-41	3DKタイプ 展開図(2)	77	S-20	柱リスト	1/30
07	A-06	建築工事特記仕様書6/11	43	A-42	3DKタイプ 建具表・建具キープラン	78	S-21	大梁リスト	1/30
08	A-07	建築工事特記仕様書7/11	44	A-43	2DK 内装平面詳細図	79	S-22	小梁、壁、スラブリスト	1/30・1/20
09	A-08	建築工事特記仕様書8/11	45	A-44	3DK 内装平面詳細図	80	S-23	中空スラブ標準仕様書	—
10	A-09	建築工事特記仕様書9/11	46	A-45	内装断面詳細図1	81	S-24	2~7階中空スラブ伏図	1/100
11	A-10	建築工事特記仕様書10/11	47	A-46	内装断面詳細図2	82	S-25	8、9階中空スラブ伏図	1/100
12	A-11	建築工事特記仕様書11/11	48	A-47	内装断面詳細図3	83	S-26	中空スラブリスト、施工断面図 補強要領、断面配筋図	1/30
13	A-12	全体配置図・付近見取図	49	A-48	2DK 内装床・床下地伏図 2DK 内装天井・天井地伏図	84	S-27	雑詳細図(1)	1/30
14	A-13	配置図	50	A-49	3DK 内装床・床下地伏図 3DK 内装天井・天井地伏図	85	S-28	雑詳細図(2)	1/30
15	A-14	敷地求積図	51	A-50	基本パネル標準図	86	S-29	架構配筋図	1/50
16	A-15	求積図1	52	A-51	部分詳細図1	87	S-30	スリーブ図	1/200
17	A-16	求積図2(公営住宅法)	53	A-52	部分詳細図2	88	S-31	高強度せん断補強筋特記仕様書	—
18	A-17	仕上表1	54	A-53	部分詳細図3				
19	A-18	仕上表2	55	A-54	部分詳細図4				
20	A-19	平面図1	56	A-55	部分詳細図5				
21	A-20	平面図2	57	A-56	部分詳細図6				
22	A-21	平面図3				89	L-01	外構工事特記仕様書1/5	—
23	A-22	平面図4	58	S-01	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(1)	90	L-02	外構工事特記仕様書2/5	—
24	A-23	立面図1	59	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(2)	91	L-03	外構工事特記仕様書3/5	—
25	A-24	立面図2	60	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(3)	92	L-04	外構工事特記仕様書4/5	—
26	A-25	立面図3	61	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(4)	93	L-05	外構工事特記仕様書5/5	—
27	A-26	断面図1	62	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(5)	94	L-06	舗装平面図	1/200
28	A-27	断面図2	63	S-06	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(6)	95	L-07	外構詳細図1	1/50, 20, 15, 10
29	A-28	矩計図	64	S-07	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(7)	96	L-08	外構詳細図2	1/30, 20, 3, 1
30	A-29	断面詳細図	65	S-08	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(8)	97	L-09	外構詳細図3	1/50, 20, 10
31	A-30	階段(A)平面詳細図	66	S-09	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(9)	98	L-10	外構詳細図4	1/40, 30, 20, 10
32	A-31	階段(A)断面詳細図	67	S-10	ボーリング柱状図	99	L-11	外構詳細図5	1/30
33	A-32	階段(B)平面・断面詳細図	68	S-11	杭芯伏図	100	L-12	外構詳細図6	1/50
34	A-33	天井伏図1	69	S-12	杭リスト	101	L-13	雨水排水計画図	1/200
35	A-34	天井伏図2	70	S-13	基礎伏図	102	L-14	排水施設勾配計画図	1/300
36	A-35	2DKタイプ 平面詳細図	71	S-14	1階床伏図、2階伏図	103	L-15	樹標準図	1/10
						104	H-01	保安計画図・既設杭撤去図	1/200
						105	H-02	外構撤去図1	1/200
						106	H-03	外構撤去図2	1/100・1/300

愛知県建築局公共建築部公営住宅課

工事(積算)番号 H31012J00900

課長	主幹	課長補佐	主任	担当

項目	特記事項																																																																																																																																																																	
<p>【建築工事】</p> <p><一般事項></p> <p>1.1.1 適用範囲</p>	<p>■1章 一般共通事項■</p> <p>1. この特記事項以外は下記に準拠する。ただし、本工事に関係のない事項は適用しない。</p> <p>1) 愛知県財務規則 2) 工事請負契約書</p> <p>3) 公共住宅事業者等連絡協議会編集 公共住宅建設工事共通仕様書（平成28年度版）</p> <p>4) 関係法令及び諸工事基準 5) 愛知県建築工事品質管理要領</p> <p>2. 特記事項は、○印のついたものを適用する。◎印のない場合は、※印のついたものを適用する。◎印と、○で囲まれた※印のある場合は、共に適用する。</p> <p>3. 設計図書は優先順位は、次の1)から5)までの順番のとおりとする。</p> <p>1) 質問回答書（2)から5)に対するもの）</p> <p>2) 現場説明書 3) 特記仕様書</p> <p>4) 図面 5) 公共住宅建設工事共通仕様書（「機材の品質・性能基準」を含む。）</p>																																																																																																																																																																	
1.1.3 官公署等への届出手続等	* 工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行う。																																																																																																																																																																	
1.1.4 工事実績情報の登録	* 請負代金額が500万円以上の工事は、(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報サービス(CORINS)に、工事実績情報の登録を、その内容について監督職員の確認を(JACICの様式「登録のための確認のお願い」に従って)受けた上、行う。(受注時、変更時、竣工時)また、登録後にJACICが発行する「登録内容確認書」を、監督職員へ提出する。																																																																																																																																																																	
1.1.7 別契約の関連工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>建</th> <th>電</th> <th>給</th> <th>ガ</th> <th>外</th> <th>汚</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>築</th> <th>気</th> <th>水</th> <th>ス</th> <th>構</th> <th>水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機 械 用 基 礎</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>排 水 水 槽</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>堅 樋 (横 引 き 管 共)</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>フ ロ ア ド レ イ ン ・ ル ー フ ド レ イ ン</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>照 明 器 具 穴 明 け 及 び 補 強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化 粧 キ ャ ビ ネ ッ ト</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク ー ラ ー 用 ス リ ー プ</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>居 室 ・ 浴 室 ・ 換 気 レ ジ ス タ ー</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>抗 頭 処 理 及 び 補 強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 備 ス リ ー プ 箱 入</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>設 備 ス リ ー プ 構 造 体 補 強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>設 備 ス リ ー プ 防 水 処 理</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>水 槽 (高 架 , 受 水) 架 台</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>設 備 関 係 取 合 せ 部 内 装 穴 開</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>機 械 室 床 の 穴 明 け 及 び 穴 埋 め 工 事</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>液 面 電 極 棒 フ ロ ー ト ス イ ッ チ</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同 上 用 リ ー フ 及 び 盤</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水 道 用 集 中 検 診 配 管 配 線</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同 上 結 線 及 び 調 整</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ レ ベ ー タ ー 関 連 工 事 (建 築) * 1</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ レ ベ ー タ ー 関 連 工 事 (建 築) * 2</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>この項に該当しないもの及び明らかに区分されるものは別途協議する。</p> <p>1)：昇降路築造工事、各階出入口の穴開け明け工事、乗場関係機器取付後の出入口壁床仕上工事、ピット内防水工事及び排水設備工事のことをいう。</p> <p>2)：動力用照明用の電源引込み工事及び結線工事昇降路ピット内点検用コンセント設備工事、昇降路の煙感知器設置工事、遠隔監視メンテナンス用電話配管・配線工事のことをいう。</p>	項目	建	電	給	ガ	外	汚	項目	築	気	水	ス	構	水	機 械 用 基 礎	※					※	排 水 水 槽	※		※			※	堅 樋 (横 引 き 管 共)	※					※	フ ロ ア ド レ イ ン ・ ル ー フ ド レ イ ン	※					※	照 明 器 具 穴 明 け 及 び 補 強	※						化 粧 キ ャ ビ ネ ッ ト			※				ク ー ラ ー 用 ス リ ー プ	※						居 室 ・ 浴 室 ・ 換 気 レ ジ ス タ ー	※						抗 頭 処 理 及 び 補 強	※						設 備 ス リ ー プ 箱 入		※	※	※		※	設 備 ス リ ー プ 構 造 体 補 強	※					※	設 備 ス リ ー プ 防 水 処 理	※				※	※	水 槽 (高 架 , 受 水) 架 台	※		※			※	設 備 関 係 取 合 せ 部 内 装 穴 開	※	※	※	※		※	機 械 室 床 の 穴 明 け 及 び 穴 埋 め 工 事	※					※	液 面 電 極 棒 フ ロ ー ト ス イ ッ チ			※				同 上 用 リ ー フ 及 び 盤			※				水 道 用 集 中 検 診 配 管 配 線				※			同 上 結 線 及 び 調 整				※			エ レ ベ ー タ ー 関 連 工 事 (建 築) * 1	※						エ レ ベ ー タ ー 関 連 工 事 (建 築) * 2	※					
項目	建	電	給	ガ	外	汚																																																																																																																																																												
項目	築	気	水	ス	構	水																																																																																																																																																												
機 械 用 基 礎	※					※																																																																																																																																																												
排 水 水 槽	※		※			※																																																																																																																																																												
堅 樋 (横 引 き 管 共)	※					※																																																																																																																																																												
フ ロ ア ド レ イ ン ・ ル ー フ ド レ イ ン	※					※																																																																																																																																																												
照 明 器 具 穴 明 け 及 び 補 強	※																																																																																																																																																																	
化 粧 キ ャ ビ ネ ッ ト			※																																																																																																																																																															
ク ー ラ ー 用 ス リ ー プ	※																																																																																																																																																																	
居 室 ・ 浴 室 ・ 換 気 レ ジ ス タ ー	※																																																																																																																																																																	
抗 頭 処 理 及 び 補 強	※																																																																																																																																																																	
設 備 ス リ ー プ 箱 入		※	※	※		※																																																																																																																																																												
設 備 ス リ ー プ 構 造 体 補 強	※					※																																																																																																																																																												
設 備 ス リ ー プ 防 水 処 理	※				※	※																																																																																																																																																												
水 槽 (高 架 , 受 水) 架 台	※		※			※																																																																																																																																																												
設 備 関 係 取 合 せ 部 内 装 穴 開	※	※	※	※		※																																																																																																																																																												
機 械 室 床 の 穴 明 け 及 び 穴 埋 め 工 事	※					※																																																																																																																																																												
液 面 電 極 棒 フ ロ ー ト ス イ ッ チ			※																																																																																																																																																															
同 上 用 リ ー フ 及 び 盤			※																																																																																																																																																															
水 道 用 集 中 検 診 配 管 配 線				※																																																																																																																																																														
同 上 結 線 及 び 調 整				※																																																																																																																																																														
エ レ ベ ー タ ー 関 連 工 事 (建 築) * 1	※																																																																																																																																																																	
エ レ ベ ー タ ー 関 連 工 事 (建 築) * 2	※																																																																																																																																																																	
1.1.8 疑義に対する協議等	* 設計図書に関する疑義は、原則として、入札執行前に質問書の提出によって確かめる。 * 設計図書について監督職員と協議を行った結果、設計図書の訂正又は変更を行う場合の措置は、契約書の規定によるほか「愛知県建設部設計変更事務取扱要領」（平成28年4月1日改正）に定めるところによる。(http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/gijyutsu/kiyun.html)																																																																																																																																																																	
<工事関係図書>																																																																																																																																																																		
1.2.1 実施工程表	* 概成工期： ・有（ 年 月 日） ※ 無																																																																																																																																																																	
1.2.2 施工計画書	* つり足場を使用するすべての工事において、つり足場の組立・解体作業中の墜落・転落による労働災害防止の方法等の記入及び愛知労働局労働基準部安全課長事務連絡（平成22年7月6日）の注意事項をふまえた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。（平成22年7月23日付22建企第332号建設企画課長通知）																																																																																																																																																																	
1.2.4 工事の記録	<p>A. 本工事は電子納品の対象工事とする。</p> <p>B. 対象となる成果品の作成については、「愛知県電子納品運用ガイドライン(案)」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準(案)」(http://www.pref.aichi.jp/site/cals/densinohin.htmlを参照)に基づく。ただし、電子納品チェックリストについては、他の書類に同様の内容を記載した場合、省略できるものとする。</p> <p>C. 成果品の提出部数については、電子媒体（CD-R又はDVD-R）2部とする。</p> <p>D. 受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行なう。また、受注者は、検査時（中間検査、完了検査）に写真情報の閲覧機器を準備する。</p> <p>E. その他、電子納品に関する詳細な取扱いについては、発注者、受注者協議の上、決定する。</p> <p>F. 工事写真の撮影時期、内容、枚数等は下記のとおりとする。</p> <p>1) 着工前：工事に先立ち、敷地、隣地及び周辺道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。</p> <p>2) 工事中：①黒板（白板）に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録すると共に、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添えて撮影する。</p> <p>記載事項：件名（工事名）、名称（工種）、位置、工程、備考、撮影年月日</p> <p>②監督職員の指示により、適宜提出する。</p> <p>※ デジタルカメラの撮影素子の有効画素数は100万画素を標準とする。</p> <p>※ デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得た上で「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」により行うことができる。</p> <p>3) 竣工時：外部、内部ともカラーで撮影し、箇所、枚数は監督職員指示による。</p>																																																																																																																																																																	
<工事現場管理>																																																																																																																																																																		
1.3.1 施工管理	* 主任技術者・監理技術者の設置その他の主任技術者・監理技術者に関する制度の運用については、「監理技術者制度運用マニュアル」（平成28年12月19日付け国土建第352号国土交通省土地・建設産業局建設業課長通知）によるものとする。																																																																																																																																																																	

項目	特記事項								
1.3.3 電気保安技術者	* 電気保安技術者： ・配置する ※配置しない								
1.3.5 施工条件	<p>* 施工日・施工時間 制限： ・無 ※有（ ）</p> <p>* 部位別の施工順序： ※無 ・有（ ）</p> <p>* 工事車両の駐車場所 駐車制限： ※有（ ） ・無</p> <p>* 資機材置場所 置場制限： ※有（ ） ・無</p> <p>* その他： （ ）</p>								
1.3.10 施工中の環境保全等	* 「土壌汚染対策法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」による措置 ・無 ・有(詳細は図示による)								
1.3.11 発生材の処理等	<p>* 大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること。</p> <p>* 発注者に引渡しを要するもの：PCBを使用している機器材料</p> <p>特別管理産業廃棄物： ・有(処理方法：) ※ 無</p> <p>現場において再利用を図るもの：</p> <p>* 引渡しを要するものは、監督職員の指示する場所に整理し、リスト表を作成し、監督職員に引渡す。</p> <p>* 引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、関係法規に従い適正に処理する。</p> <p>* PCBを使用している機器材料は、適切な容器に収めた上で引渡しを要する。撤去した機器のメーカー名・型番製造年月日を記載したリストを作成して発注者へ提出する。</p> <p>* 次の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。</p> <p>昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド(チオコール)系コーキング</p> <p>平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、 変圧器、(絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外)</p> <p>上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。</p>								
建設副産物	<p>1. 解体材、発生材等の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、その他、関係法令の規定を遵守し、「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」(以下「リサイクルガイドライン」という。http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/recycle-guideline.htmlを参照。)に基づき適正に行う。</p> <p>2. 事前に建設副産物情報交換システム(以下「COBRIS」と言う。)に登録及び必要事項を入力し、COBRISより出力される、「リサイクルガイドライン」に定める計画書(①、②)を監督職員に提出する。</p> <p>① 再生資源利用計画書(実施書)(CREDAS様式1)</p> <p>② 再生資源利用促進計画書(実施書)(CREDAS様式2)</p> <p>工事完了時に「リサイクルガイドライン」に定める実施書(①、②)の内容をCOBRISに登録及び工事登録証明書を作成し、監督職員に提出する。</p>								
再資源化	<p>3. 建設リサイクル法第9条第1項の対象建設工事に該当する工事は、再資源化等が完了したとき、同法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。</p> <p>4. 産業廃棄物管理表(以下「マニフェスト」という。)集計表を作成し、監督職員に提出する。マニフェスト集計表は任意様式とし、交付した全てのマニフェストについて、交付年月日、交付番号、車両ナンバー、廃棄物の内訳(t又はm³)、マニフェストの照合・確認日(電子マニフェストの場合は、引渡し年月日、マニフェスト番号(連絡番号)、車両ナンバー、廃棄物の内訳、運搬・処分・最終処分の終了日)が記載され、受注者の社印を押したものとする。また、紙マニフェストの場合は伝票を整理して保管し、必要に応じて検査員等に提示する。</p> <p>5. 本工事で発生する産業廃棄物のうち、愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。</p> <p>* 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは適正に再資源化施設へ搬出する。</p> <p>※コンクリート塊 ※アスファルトコンクリート塊 ※建設発生木材 ・その他()</p> <p>* 以下の資料は次のHPから入手することができます。</p> <p>・愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱、様式、CREDAS様式 http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/recycle-guideline.html、愛知県あいくる材率先利用方針、あいくる材認定資材一覧 http://www.pref.aichi.jp/site/aicle/, COBRIS http://www.recycle.jaic.or.jp/index.html 再資源化等報告書 http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/kenchiku-kiyun.html</p> <p>[建築工事事務の手引・同様式]</p>								
撤去時等のフロン等の取扱 分別収集 非飛散アスベスト処分	<p>* 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(平成27年4月1日施行)に基づいて行うこと。</p> <p>* 愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱 別表3に従い、分別収集を行う。</p> <p>* 非飛散アスベスト建材の処分方法： ・指定しない ※指定する(処分方法：)</p>								
<材 料>									
1.4.1 環境への配慮	* 「愛知県環境物品等調達方針」(http://www.pref.aichi.jp/kankyokatsudo/0000009402.htmlを参照)別記2(2.4)に掲げられた一般資材、建設機械等の選定に当たっては、事業ごとの特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、品目ごとの判断の基準を満足するものを使用するものとする。								
1.4.2 材料の品質等	<p>* 本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足し、かつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努めるものとする。</p> <p>* 本工事において愛知県内で算出された木材(愛知県内で算出された木材を使用した製材加工品を含む。以下、「県産材」という。)を使用する場合は、以下による。</p> <p>・県産材を使用する部位は、設計図書で定められた部位のほか、次のとおりとする。</p> <p>・内装下地材(内装プレハブ工法)</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・使用する県産材は、愛知県産材認証機構に登録された認定事業者(以下、単に「認定事業者」という)が「あいち認証材」として証明し、出荷したものとする。</p> <p>・受注者は、工事現場に搬入した県産材が「あいち認証材」であることの確認を、出荷事業者が交付する、認定事業者登録番号等(図-1)が明記された出荷伝票等により行う。</p> <p>・受注者は、出荷伝票に記載された出荷事業者が認定事業者であることの確認を、愛知県産材認証機構が運営管理するWebページ(http://www.aichi-wood.com/index.html)にて公表される認定事業者一覧により行う。</p>								
	<p>図-1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>この木材は、<あいち認証材>です。 愛知県産材認証機構認定事業者登録番号 No. ○-○○○</p> </div>								
	<table border="1"> <tr> <td>株式会社 山田設計</td> <td>清水住宅建築工事(第6工区)</td> <td rowspan="2">図面番号 A-01</td> </tr> <tr> <td>一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文</td> <td>縮尺 建築工事特記仕様書1/11</td> </tr> <tr> <td>検 図</td> <td>製 図</td> <td>設 計 H30年3月</td> </tr> </table> <p>愛知県建築局公共建築部公営住宅課</p>	株式会社 山田設計	清水住宅建築工事(第6工区)	図面番号 A-01	一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	縮尺 建築工事特記仕様書1/11	検 図	製 図	設 計 H30年3月
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事(第6工区)	図面番号 A-01							
一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	縮尺 建築工事特記仕様書1/11								
検 図	製 図	設 計 H30年3月							

項目	特記事項
	<p>《建設現場標識 共同設置の例》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>工事名 ○○住宅建築工事（第○工区） ○○住宅電気工事（第○工区） ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</p> <p>工期 ○○年○月○日から ○○年○月○日まで</p> <p>発注者 愛知県建築局公共建築部公営住宅課</p> <p>工事監理者 ○○○○</p> <p>工事施工者 ○○建設株式会社 ○○設備株式会社 ・ ・ ・</p> </div>
<p><根切り及び埋め戻し等> 3.2.3 埋戻し及び盛土</p> <p>3.2.4 地均し</p> <p>3.2.5 建設発生土の処理</p> <p><山留め> 3.3.3 山留めの撤去</p> <p><試験及び報告書> 4.2.2 試験杭</p> <p>4.2.3 杭の荷重試験</p> <p>4.2.4 地盤の荷重試験</p> <p><既製コンクリート杭地業> 4.3.1 適用範囲</p> <p>4.3.2 材 料</p> <p>4.3.3 打込み工法</p> <p>4.3.4 セメントミルク工法</p> <p>4.3.5 特定埋込杭工法</p> <p>4.3.6 継 手</p> <p>4.3.7 杭頭の処理 <鋼杭地業></p> <p>4.4.1 適用範囲</p> <p>4.4.2 材 料</p> <p>4.4.5 継 手 <場所打ちコンクリート杭地業></p> <p>4.5.1 適用範囲</p> <p>4.5.3 材料その他</p>	<p>■建築編 3章 土工事■</p> <p>* 埋め戻し及び盛土： ※発生土の中の良質土 ・山砂 * 建設発生土の利用指定： ※無 ・有（ ）からの建設発生土を利用する</p> <p>* 地ならしの高さ：</p> <p>* 処分にあたっては「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」に基づき、適正に処理する。 * 建設発生土の処理 ・構内処理 ・（ ）へ搬出 （搬出先： 搬出条件： ） ・構外搬出（関係法令等に従い適切に処理） 建設発生土を構外へ搬出する場合は、搬出先等の承諾を得たうえで、搬出先及び処分状況（高さ、勾配等） がわかる写真並びに運搬を証明する書類等を監督職員に提出する。</p> <p>* 山留めの存置： ※無 ・有</p> <p>■建築編 4章 地業工事■</p> <p>* 試験杭の位置、本数、寸法： ※図面による ・（ ）</p> <p>* 杭の荷重試験： ・実施する（・水平荷重試験 ・鉛直荷重試験） ※実施しない * 試験杭の位置、本数、荷重荷重等： ※図面による ・（ ） * 試験の方法： * 報告書の記載事項： ※4.2.5(a)(b)による ・（ ）</p> <p>* 平板荷重試験： ・実施する ・実施しない * 試験位置： 図面による 載荷荷重： * 試験の方法：（公社）地盤工学会基準による * 報告書の記載事項等：（公社）地盤工学会基準による</p> <p>* 工法： ・打込み工法 ・セメントミルク工法 ・特定埋込杭工法</p> <p>* 既製コンクリート杭の種類： ・PHC杭 ・SC杭 ・PRC杭 ・（ ） * 性能及び曲げ強度等による区分等： ・A種 ・B種 ・C種 * 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等： 図面による</p> <p>* 設計支持力：（ ）kN/本 * 施工法の種類： ・打撃工法 ・プレボーリング併用打撃工法 * プレボーリングの掘削深さ： プレボーリングの掘削径： * 推定支持力の算定方法： ※図面による ・（ ） * 水平方向の位置ずれの精度： 図面による</p> <p>* 支持地盤： 図面による * 支持地盤への掘削深さ及び根入れ深さ： 図面による * 水平方向の位置ずれの精度： 図面による</p> <p>* 水平方向への位置ずれの精度： 図面による * 支持地盤：図面による</p> <p>* 杭の継手工法： ※無溶接工法（仕様等：日本建築センター評定取得工法） ・アーク溶接継手工法</p> <p>* 杭頭の切り揃えの方法： ・外圧方式 ・ダイヤモンドカッター方式</p> <p>* 工法： ・打込み工法 ・特定埋込杭工法</p> <p>* 鋼杭の材料： ・SKK400（鋼管杭） ・SKK490（鋼管杭） ・SHK400（H形鋼杭） ・SHK490M（H形鋼杭） 寸法： ※図面による ・（ ） * 鋼杭の先端部形状及び補強 鋼管杭で打込工法 先端部形状： ※開放型 ・（ ） 補強： ※（図4.4.1）（表4.4.2）による ・（ ） その他の材料及び工法： 先端部形状（ ） 補強（ ）</p> <p>* 現場継手の工法： ・現場溶接 ・高力ボルト ・（ ）</p> <p>* アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法</p> <p>* 鉄筋 帯筋： 鉄筋かごの補強： ※4.5.3(a)(2)(iii)による ・（ ） 最小かぶり厚さ： ※100mm ・（ ） * コンクリート セメントの種類： ※高炉セメントB種 ・（ ） * 場所打ちコンクリート杭のコンクリートの設計基準強度： N/mm² * 場所打ちコンクリート杭のコンクリートの種別： ・A種 ・B種</p>

[表4.5.1]

項目	特記事項														
<p>4.5.4 アースドリル工法、リバース工法及びオールケーシング工法</p> <p>4.5.5 場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び拡底杭工法</p> <p>4.6.3 砂利及び砂地業</p> <p>4.6.4 捨てコンクリート地業</p> <p>4.6.5 床下防湿層</p> <p><材 料> 5.2.1 鉄 筋</p> <p>5.2.2 溶接金網 <加工及び組立></p> <p>5.3.2 加 工</p> <p>5.3.4 継手及び定着</p> <p>5.3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p> <p>5.3.7 各部配筋 <ガス圧接></p> <p>5.4.9 圧接完了後の試験</p> <p><機械式継手及び溶接継手> 5.5.2 機械式継手</p> <p>5.5.3 溶接継手</p> <p><一般事項> 6.1.2 基本要求品質</p> <p>6.2.1 コンクリートの種類</p> <p>6.2.2 コンクリートの強度</p> <p>6.2.4 ワーカビリティ及びスランプ</p>	<p>* 構造体強度補正值(S)： ・3N/mm² ・認定工法の条件による</p> <p>* 支持地盤の位置、種類： 図面による * 掘削の工法： ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・性能評価機関の評価、認定を受けた工法（種別： ） * 使用材料及びコンクリートの打設方法等： 各工法の標準仕様による * 孔壁の超音波測定器による確認： ※ 行う（全数の10%以上） ・行わない * 水平方向への位置ずれの精度： 図面による</p> <p>* 支持地盤の位置、種類： 図面による</p> <p>* 厚さ： ・60mm ・（ ）mm</p> <p>* 捨てコンクリート厚さ： ・50mm ・（ ）mm * 強度： ・18N/mm² ・（ ）N/mm² スランプ： ・15 ・18</p> <p>* 防湿層： ※適用する（範囲：図面による） ・適用しない</p> <p>■建築編 5章 鉄筋工事■</p> <p>* 異形鉄筋棒鋼の種別： ※SD295A（D16以下） ※SD345（D19～D25） ※SD390（D29以上） * 高強度せん断補強筋の種別、使用部位及び加工： 図面による</p> <p>* 網目の形状、寸法及び鉄線の径： 図面による</p> <p>* 加工及び組立ては、公共住宅標準詳細設計図集及び(社)日本建築学会(JASS5)による。</p> <p>* 90°未満の折曲げ内径直径：</p> <p>* 鉄筋継手： ※ 重ね継手（D16以下） ※ガス圧接継手（D19以上） ・機械式継手又は溶接継手 * 鉄筋の定着方法： ※折り曲げ定着方法 ※図面による ・機械式定着 ・（ ） * 加工及び組立ては、公共住宅標準詳細設計図集及び(社)日本建築学会(JASS5)による。</p> <p>* 土に接する部分の軽量コンクリートのかぶり厚さ： * 耐久性上不利な箇所（塩害の受けるおそれのある部分等）のかぶり厚さ： * 機械式継手及び溶接継手の場合のあき：</p> <p>* 各部の配筋： ・図面による ・（ ）</p> <p>* 外観試験の試験従事者は、当該ガス圧接工事に関連がない第三者機関に所属し、(公社)日本鉄筋継手協会が発行する鉄筋継手部検査技術者技量適格性証明書を有する者とし、監督員の承諾を受ける。 * 採取試験： ※超音波探傷試験 ・引張試験</p> <p>* 種類： 工法： * 機械式継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等： ※1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める ・（ ）</p> <p>* 溶接継手の工法、品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等： ※1.2.2[施工計画書]による品質管理で定める ・（ ）</p> <p>■建築編 6章 コンクリート工事■</p> <p>受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) J I Sマーク表示認証製品を製造している工場（工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にJ I Sマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえで、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。 (2) J I Sマーク表示認証製品を製造し、(商)マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえで、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。</p> <p>* 気乾単位容積質量による種類： ※普通コンクリート ・軽量コンクリート * 適用箇所及び施工時期： 寒中コンクリート 適用箇所： ※図面による ・（ ） 施工時期： ※監督職員と協議 ・（ ） 暑中コンクリート 適用箇所： ※図面による ・（ ） 施工時期： ※監督職員と協議 ・（ ） マスコンクリート 適用箇所： ※図面による ・（ ） 施工時期： ・（ ） 無筋コンクリート 適用箇所： ※図面による ・（ ） 施工時期： ※監督職員と協議 ・（ ） 流動化コンクリート 適用箇所： ※図面による ・（ ） 施工時期： ※監督職員と協議 ・（ ） * コンクリートの種別： ※I類 ・II類 [表6.2.1] * 国土交通大臣認定コンクリート（建築基準法第37条第2号）：</p> <p>* 設計基準強度(Fc)： ・普通コンクリート（ ）N/mm² ・軽量コンクリート（ ）N/mm² ○図面による</p> <p>* コンクリートの荷割し地点によるスランプ： ※表6.2.2による ・（ ）</p>														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">株式会社 山田設計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">清水住宅建築工事（第6工区）</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">図面番号 A-03</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">縮尺 建築工事特記仕様書 3/11</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検 図</td> <td style="text-align: center;">製 図</td> <td style="text-align: center;">設 計 H30年3月</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">愛知県建築局公共建築部公営住宅課</td> </tr> </table>	株式会社 山田設計		清水住宅建築工事（第6工区）		図面番号 A-03	一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文		縮尺 建築工事特記仕様書 3/11		検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
株式会社 山田設計		清水住宅建築工事（第6工区）		図面番号 A-03											
一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文		縮尺 建築工事特記仕様書 3/11													
検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課												

項目	特記事項
6.2.5 構造体コンクリートの仕上り <コンクリートの材料及び調合>	* 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの種別： ・ A種 ※B種 ・ C種 [表6.2.4]
6.3.1 コンクリートの材料	* セメントの種類： ※普通ポルトランドセメント ※高炉セメント(B種) ・高炉セメントA種 ・シリカセメントA種 ・フライアッシュセメントA種 ・エコセメント * 適用箇所 高炉セメントB種： (外構 小規模構造物) フライアッシュセメントB種： * 骨材の使用 フェロニッケルスラグ細骨材： ・ 使用する ※使用しない 銅スラグ細骨材： ・ 使用する ※使用しない 電気炉酸化スラグ骨材： ・ 使用する ※使用しない 再生骨材H： ・ 使用する ※使用しない * 砕石、砕砂、細骨材、骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・ B * 混和剤 種類： ・ AE剤 ※AE減水剤 ※高性能AE減水剤 ・ () ・ 使用しない * 混和材 種類： ・ フライアッシュ(I種) ・ フライアッシュ(II種) ・ フライアッシュ(IV種) ・ 高炉スラグ微粉末 ・ シリカフェム ・ 膨張剤
6.3.2 コンクリートの調査 <プレキャストコンクリートの発注、製造及び運搬>	* 6.3.2(2)(vi)①～③以外の混和材料： 種類 () 使用方法 () 使用量 ()
6.5.4 塩化物量及びアルカリ総量 <コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め>	* アルカリ総量： 3.0kg/m ³ 以下とする。
6.6.3 打継ぎ <養生>	* 目地寸法： 図面による
6.7.2 湿潤養生 <型枠>	* 普通エコセメント使用時の湿潤養生の期間： () 日以上
6.8.2 一般事項	* 外部に面するコンクリート打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む) の打増し厚さ： ※配筋基準図による ・ () * ひび割れ誘発目地： 位置 () 形状 () 寸法 () mm
6.8.3 材料	* せき板合板の種類： ・ 6.8.3(b)(1)によるもの ※6.8.3(b)(2)によるもの ・ () * 合板の厚さ： ※12mm ・ () mm * 断熱材を兼用した型枠材： ・ 使用する (使用箇所： ()) ・ 使用しない * M C R 工法用シート： ・ 使用する (使用箇所： ()) ※使用しない * 配管用等スリーブの材種及び規格等： ※6.8.3(i)(2)(i)～(iv)によるもの ・ ()
6.8.5 型枠の存置期間及び取外し <軽量コンクリート>	* 普通エコセメント使用時のせき板の最小存置期間：
6.10.1 一般事項	* 軽量コンクリートの適用箇所： ※図面による * 常時土又は水に直接接する部分： * 軽量コンクリートの種類： ・ 1種 ・ 2種 [表6.10.1] * 気乾単位容積質量：
6.10.2 材料及び調査 <寒中コンクリート>	* スランブ： ※21cm ・ ()
6.11.1 一般事項	* 適用期間： ※ J A S S 5 による「打込日を含む旬の平均気温が4℃以下の期間」 ・ ()
6.11.2 材料及び調査 <暑中コンクリート>	* 積算温度を元に定める場合：
6.12.2 材料及び調査 <マスコンクリート>	* 構造体強度補正值 (S)： ※ 6N/mm ² ・ ()
6.13.1 一般事項	* 適用箇所：
6.13.2 材料及び調査	* セメントの種類： ・ 中庸熟ポルトランドセメント ・ 低熟ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント * 混和剤の種類： ※ A E 減水剤 ※高性能 A E 減水剤 ・ () * スランブ： ※15cm以下 ・ ()
<無筋コンクリート>	
6.14.1 一般事項	* 設計基準強度： ※18N/mm ² ・ () * スランブ： ※15cm ※18cm ・ () * 適用箇所： ※図面による ・ ()
<流動化コンクリート>	
6.15.1 一般事項 <高強度コンクリート>	* 流動化コンクリート： ・ 適用する ・ 適用しない
6.16.2 品質	* 水セメント比： 単位セメント量： * スランブ又はスランブフロー 設計基準強度<45N/mm ² の場合： ※スランブ21cm以下又はスランブフロー50cm以下 ・ () 45N/mm ² ≦設計基準強度≦60N/mm ² の場合： ※スランブ23cm以下又はスランブフロー60cm以下 ・ ()
6.16.3 材料	* 高性能 A E 減水剤以外の混和材料：
<一般事項>	
7.1.3 鉄骨製作工場	* 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた、(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とする。 グレード： ・ S ・ H ・ M ・ R * 施工管理技術者： ※適用する ・ 適用しない
<材料>	
7.2.1 鋼材	* 鋼材の材質、形状及び寸法： 図面による [表7.2.1]
7.2.2 高力ボルト	* 高力ボルトの種類： ※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト * 高力ボルトの径： 図面による
7.2.3 普通ボルト	* ボルト及びナットの材料等： ※ 表7.2.3 ・ 図面による ・ () * ボルトの径： ※図面による ・ ()
7.2.4 アンカーボルト	* 構造用アンカーボルトの種類： ※図面による ・ () * 建方用アンカーボルトの種類： ※図面による ・ () * ボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度： ※ 表7.2.3による ・ ()
7.2.5 溶接材料	* 溶接棒等 (表7.2.4) 、シールドガス以外の材料： ・ 図面による ・ ()

項目	特記事項			
7.2.6 ターンバックル	* 種類 建築用ターンバックル胴： ※割枠式 ・ 図面による ・ () 建築用ターンバックルボルト： ※羽子板ボルト ・ 図面による ・ () * ねじの呼び：			
7.2.7 デッキプレート	* デッキプレート版用デッキプレートの材質、形状、寸法(単独の構法)： ※図面による ・ () デッキプレートの種類： ※JIS G 3352 * デッキプレート版用デッキプレートの材質、形状、寸法(合成スラブ)： ※図面による ・ () デッキプレートの種類： ※JIS G 3352 * (a)～(c)以外のデッキプレートの材質、形状、寸法： ※図面による ・ ()			
7.2.8 レール	* 形状及び寸法等： ※図面による ・ ()			
7.2.9 柱底均しモルタル	* 無収縮モルタル： ※使用する ・ 使用しない * 無収縮モルタルとする場合の材料、調合等： ※7.2.9(b)(1)～(4)による ・ ()			
7.2.10 材料試験等 <工作一般>	* 板厚方向に引張力を受ける鋼板のJIS G 0901による試験： ※実施する ・ 実施しない			
7.3.2 工作図	* 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等： ※図面による ・ ()			
7.3.10 仮組 <高力ボルト接合>	* 仮組： ・ 実施する ※実施しない			
7.4.2 摩擦面の性能及び処理	* すべり係数試験： ・ 実施する ※実施しない * 試験の方法： 試験片の摩擦面の状態：			
7.4.7 締付け	* J I S 形高力ボルトを回転法で本締めする場合 ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合のナット回転量：			
<溶接接合>				
7.6.3 技能資格者	* 溶接技能者に対する技量付加試験： ・ 実施する ※実施しない			
7.6.4 材料準備	* 開先の形状： ※図面による ・ ()			
7.6.7 溶接施工	* エンドタブの取扱い 切除の有無： ・ あり ※なし 適用箇所： * 完全溶込み溶接 板厚が異なる場合の付合せ溶接 低応力高サイクル疲労を受ける部位： ※図面による ・ () スカラップの形状： ※図面による ・ ()			
7.6.11 溶接部の試験	* 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験： ※実施する ・ 実施しない * 工場溶接の場合 平均出検品質限界(AOQL)： ・ 2.5% ※4% * 検査水準： ・ 第1水準 ・ 第2水準 ・ 第3水準 ・ 第4水準 ・ 第5水準 ※第6水準 * 工事現場溶接の場合 平均出検品質限界(AOQL)： ・ 2.5% ※4%			
<スタッド溶接及びデッキプレート溶接>				
7.7.8 デッキプレートの溶接 <錆止め塗装>	* デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法： ※図面による ・ ()			
7.8.3 塗料の種類	* SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料： ※表18.3.1のA種 ・ () * 耐火被覆材の接する面： ・ 塗装する (塗料の種類：) ・ 塗装しない			
<耐火被覆>				
7.9.2 耐火被覆の種類及び性能	* 種類： ・ 耐火材吹付け ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け ・ ラス張りモルタル塗り ・ () * 性能： ※図面による ・ ()			
<工事現場施工>				
7.10.3 アンカーボルト等の設置	* 構造用アンカーボルトの形状・寸法： ※図面による ・ () * アンカーフレームの形状・寸法： ※図面による ・ () * 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法： ※A種 ・ B種 ・ C種 [表7.10.1] * 柱底均しモルタル 厚さ： () mm 工法： ※A種 ・ B種 [表7.10.2]			
<軽量形鋼構造>				
7.11.2 施工 <溶融亜鉛めっき工法>	* ボルトの接合方法： ※図面による ・ ()			
7.12.4 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	* 摩擦面の処理： ※プラスト処理 ・ プラスト以外の特別な処理 (方法： すべり耐力等の確認方法：) * ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合のナット回転量：			
<補強コンクリートブロック造>				
8.2.2 材料	* 建築編 8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事■ * コンクリートブロックの種類： ※空洞ブロック16 ・ 空洞ブロック08			
8.2.4 コンクリートの調査	* 表8.2.2以外のコンクリートの設計基準強度： ※ 21 N/mm ² ・ () N/mm ²			
8.2.5 鉄筋の加工及び組立 <コンクリートブロック帳壁及び塀>	* 各部の配筋： ※図面による ・ ()			
8.3.2 材料	* 圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法、種類： ※8.3.2(a)による ・ () * 化粧有ブロック (塀の場合)： ・ 使用する ・ 使用しない			
8.3.3 鉄筋の加工及び組立て <ALCパネル>	* 各部の配筋： ※図面による ・ ()			
8.4.2 材料	* パネルの区分、単位荷重、厚さ、長さ等： * パネルの耐火性能：			
株式会社 山田設計				
清水住宅建築工事 (第6工区)				
縮尺				
一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文				
図面番号 A-04				
検 図	製 図	設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
		H 3 0 年 3 月		

項目	特記事項
8.4.3 外壁パネル構法	* 外壁パネル構法の種別：・A種 ・B種 [表8.4.2] * 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法： * パネル幅の最小限度：※300mm ・() * 出・入隅のパネル接合部、パネルと他部材との取合い部の伸縮目地幅：※図面による ・()mm * (f)、(g)の伸縮目地部分に耐火目地材：・充填する ・充填しない
8.4.4 間仕切壁パネル構法 <押出成形セメント板(ECP)>	* 間仕切壁パネル構法の種別：・C種 ・D種 ・E種 [表8.4.3]
8.5.2 材料	* パネルの種類、厚さ等：※図面による ・()
8.5.3 外壁パネル工法	* 種別：・A種 ・B種 [表8.5.1] * 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法： * パネル相互の目地幅 長辺：※8mm以上 ・()mm 短辺：※15mm以上 ・()mm * 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅：※15mm (シーリング材15×10(mm)充填) ・() mm * 耐火構造以外の目地及び隙間の処理： ※パネル製造所の仕様 ・()
8.5.4 間仕切壁パネル工法	* 種別：・B種 ・C種 [表8.5.2]
8.5.5 溝掘り及び開口部の処置	* パネルの開口の限度： ■建築編 9章 防水工事■
<一般事項>	* 防水の保証期間は、工事的物引き渡しの日からモルタル防水5年、その他防水10年とする。
9.1.3 施工一般	* 屋根防水等の種別：・アスファルト防水 ○改質アスファルトシート防水 ・合成高分子系ルーフィングシート防水 ○塗膜防水 ・ケイ酸質系塗布防水
<アスファルト防水>	
9.2.2 材料	* 改質アスファルトルーフィングシート 種類：※表9.2.3～表9.2.8による ・() 厚さ： * 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類：※表9.2.5～表9.2.8による ・() 厚さ： * 押え金物 材質：※アルミニウム ・() 形状寸法：※L-30×15×2.0(mm) ・() * 断熱材(屋根保護防水断熱工法) 材質：※9.2.2(h) ・() 厚さ： * 断熱材(屋根露出防水断熱工法) 材質：※9.2.3(i) ・() 厚さ： * 絶縁シート材料(屋根保護防水密着工法・屋根保護防水絶縁工法)：※ポリエチレンフィルムt=0.15以上 ・() 材料(屋根保護防水密着断熱工法・屋根保護防水絶縁断熱工法)： ※ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットクロス(70g/㎡程度) ・() * 乾式保護材(立上り部保護)：・使用する(仕様) ※使用しない * れんが(立上り部保護)：※JIS R 1250(普通れんが及び化粧れんが) ・()
9.2.3 防水層の種類、種別、工程	* 施工箇所毎の工法、種別：※図面による ・() * 立上り部における保護コンクリートの適用及び工法： * 屋根露出防水絶縁工法 仕上塗料 種類、使用量： 脱気装置 種類、設置数量：※ルーフィング類製造所の指定 ・() [表9.2.7] * 屋根露出防水絶縁断熱工法 仕上塗料 種類、使用量： 脱気装置 種類、設置数量：※ルーフィング類製造所の指定 ・() [表9.2.8] * 屋根防水密着工法 保護層：・有(工法) ・無 [表9.2.9]
9.2.4 施工	* 下地 モルタル塗 適用箇所：・() ・図面による * 立上り(コンクリート打放し仕上げ)：※表6.2.4のB種 ・() * ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置(屋根露出防水絶縁断熱工法)： ※図面による ・()
9.2.5 保護層等の施工	* 平場の保護コンクリート厚さ：・80mm以上 ・60mm以上 ・() ・図面による * 立上り部の保護：・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え ・モルタル押え(屋内等) * 屋上排水溝：
<改質アスファルトシート防水>	
9.3.2 材料	* 改質アスファルトシート、粘着層付改質アスファルトシート、部分粘着層付改質アスファルトシート 種類：※表9.3.1～表9.3.3による ・() 厚さ： * 屋根露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 材質及び厚さ：※9.3.2(c)(2)による ・() * 絶縁用シート：※9.3.2(c)(4)による ・()
9.3.3 防水層の種類及び工程	* 施工箇所毎の種別：※図面による ・() * 屋根露出防水密着工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.3.1] * 屋根露出防水絶縁工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.3.2] 脱気装置 種類、設置数量：※改質アスファルトシート製造所の指定 ・() * 屋根露出防水絶縁断熱工法 仕上塗料 種類、使用量： [表9.3.3] 脱気装置 種類、設置数量：※改質アスファルトシート製造所の指定 ・() * 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿層：・有 ・無 ・()
<合成高分子系ルーフィングシート防水>	
9.4.2 材料	* ルーフィングシート：種類 ※表9.4.1～表9.4.3による ・() 厚さ： * 絶縁用シート 材質：※発泡ポリエチレンシート ・() * 固定金具 材質及び形状寸法：※9.4.2(c)(2) ・() * 断熱工法に用いる断熱材 材質： 厚さ：
9.4.3 防水層の種類及び工程	* 合成高分子系ルーフィングシート防水 仕上塗料 種類、使用量： 立上がりシートの厚さ(種別 S-M2の場合)：※1.5mm ・() [表9.4.1] * 合成高分子系ルーフィングシート防水(断熱工法) 仕上塗料 種類、使用量： 立上りシートの厚さ(SI-M2の場合)：※1.5mm ・() [表9.4.2] * 合成高分子系ルーフィングシート防水(屋内保護密着工法) モルタル塗り厚さ： [表9.4.3]
9.4.4 施工	* 目地処理(接着工法及び屋内保護密着工法) PCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合： * PCコンクリート部材の入隅部の増張り 種別 S-F1、SI-F1の場合： ALCパネル下地及びPCコンクリート部材の入隅部の増張り 種別 S-C1の場合： * 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法： * 保護層(屋内保護密着工法) 平場モルタル塗り 床塗り工法：※15.2.5(b)(2)及び(3)に準ずる ・() " 下地モルタル塗り(タイル張り下地等)：※15.2.5(c)(1)に準ずる ・() 平場保護コンクリート仕上げ厚 保護コンクリート厚さ：() mm 立上り部保護モルタル塗厚：※7mm以下 ・()

項目	特記事項
<塗膜防水>	
9.5.3 防水層の種類及び工程	* ウレタンゴム系塗膜防水(・絶縁工法 ・密着工法)の適用箇所： * ウレタンゴム系塗膜防水の仕上塗料の種類、使用量：MOCA非含有材 [表9.5.1] * 絶縁工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量： * ゴムアスファルト系塗膜防水の種別：・Y-1 ・Y-2 [表9.5.2] * Y-2の場合の保護層(工程4及び工程5)：・適用する ・適用しない
9.5.4 施工	* 下地 モルタル塗 適用箇所： * 立上り(コンクリート打放し仕上げ)：※表6.2.4のB種 ・()
<ケイ酸質系塗布防水>	
9.6.1 適用範囲	* 9.6.1表以外の適用部位：・図面による ・() [表9.6.1]
9.6.3 防水層の種類及び工程	* 防水層の種類及び工程：・C-U I ・C-U P [表9.6.2]
9.6.4 施工 <シーリング>	* 9.6.4(b)(1)～(3)以外の下地処理：・図面による ・()
9.7.2 材料	* シーリング材の種類及び施工箇所： ※種類は被着体に応じたものとし[表9.7.1]を標準とする
9.7.3 目地寸法	* シーリング材の目地寸法：※9.7.3(a)(1)、(2)、(3)による ・()
9.7.5 シーリング材の試験	* 接着性試験：※簡易接着性試験 ・引張接着性試験
<一般事項>	■建築編 11章 タイル工事■
11.1.3 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	* 目地の位置：※表11.1.1 ・()
<セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り>	
11.2.2 材料	* 形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性、標準色・特注色の別等： * 役物：・有 ・無 試験張り：・有 ※無 見本焼き：・有 ※無 * 産地等：※愛知県産 ・()
11.2.7 施工	<下地及びタイルごしらえ> * モルタル塗りのコンクリート素地面：・MCR工法 ・目荒し工法 ・() * 壁タイル張り工法 外装タイル：・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り [表11.2.3] 内装タイル以外のユニットタイル：・マスク張り ・モザイクタイル張り
<接着剤による陶磁器質タイル張り>	
11.3.2 材料	* 形状、寸法、耐滑り性、標準色・特注色の別等： * 役物：・有 ・無 試験張り：・有 ※無 見本焼き：・有 ※無 * 産地等：※愛知県産 ・()
11.3.4 シーリング材	* 外装壁タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材： * 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地：※ポリウレタン系 ・() * 伸縮調整目地、その他の目地：※変成シリコン系 ・()
11.3.7 施工	* モルタル塗りのコンクリート素地面：・MCR工法 ・目荒し工法 ・() * 壁タイル張りの工法：※表11.3.2による ・図面による ・()
<陶磁器質タイル型枠先付け>	
11.4.2 材料	* 役物：・有 ・無 試験張り：・有 ※無 見本焼き：・有 ※無 * タイル型枠先付け面のせき板：・6.8.3(b)(2) ・金属製タイル先付け用パネル ・()
11.4.3 タイル型枠先付けの種類	* タイル型枠先付けの種類：・タイルシート法 ・目地榫法 ・棧木法 [表11.4.1]
<一般事項>	■建築編 12章 木工事■
12.1.4 表面仕上げ <材 料>	* 仕上げの程度の種類(・A種 ・B種 ・C種)及び適用箇所：※図面による ・() [表12.1.1]
12.2.1 木材	* 一般事項 含水率 下地材：※A種 ・B種 造作材：※A種 ・B種 * 日本農林規格JASによる製材 部材毎の樹種、寸法、等級、形状、含水率等：※図面による ・() 下地用針葉樹製材の等級：※2級 ・() 造作用針葉樹製材の板類における等級 柾、額縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面：※上小節以上 ・() それ以外：※小節以上 ・() 広葉樹製材の等級：※1級 ・() 含水率：※10%以下 ・() * JAS以外の製材 部材毎の樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理、含水率等：※図面による ・() 造作材の材面の品質：※A種 ・B種 [表12.2.2] * 樹種 下地材：※杉、松 ・表12.2.3の代用樹種 ・図面による 造作材：※杉、松、ひのき ・表12.2.4の代用樹種 ・図面による * 造作集成材：・JASによる造作用集成材 ・JAS以外の造作用集成材 ・() 部材毎の樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び見付け面材の等級等：※図面による ・() * 造作用単板積層材：・JASによる単板積層材 ・JAS以外の単板積層材 ・() 部材毎の厚さ、表面の品質、防虫処理、含水率等：※図面による ・() * 床張り用合板等 普通合板 厚さ：※5.5mm ・() mm 表板の樹種：() 接着の程度：※1類 ・() 板面の品質：※2等以上(広葉樹) ※C-D以上(針葉樹) ・() 防虫処理 ・行う() ・行わない 構造用合板 厚さ：※12mm ・() mm 接着の程度：※1類(湿潤箇所を除く) ・()
	株式会社 山田設計 清水住宅建築工事(第6工区) 縮尺 図面番号 A-05 一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文 建築工事特記仕様書5/11 検 図 製 図 設 計 H30年3月 愛知県建築局公共建築部公営住宅課

項目	特記事項
<p><防腐・防蟻・防虫処理> 12.3.1 防腐・防蟻処理</p> <p>12.3.2 防虫処理 <鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組> 12.4.1 木材</p> <p><出入口その他> 12.5.1 木材</p> <p><床板張り> 12.6.1 木材 <壁及び天井下地> 12.7.1 木材</p> <p><長尺金属板葺> 13.2.2 材料</p> <p>13.2.3 工法</p> <p><折板葺> 13.3.2 材料</p> <p>13.3.3 工法 <粘土瓦葺> 13.4.2 材料</p> <p>13.4.3 工法</p> <p><と い> 13.5.2 材料</p> <p>13.5.3 工法</p> <p><一般事項> 14.1.3 工法</p> <p><表面処理> 14.2.1 ステンレスの表面仕上げ</p> <p>14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <p>14.2.3 鉄鋼の亜鉛めっき <軽量鉄骨天井下地> 14.4.2 材料</p> <p>14.4.3 形式及び寸法</p> <p>14.4.4 工法</p> <p><軽量鉄骨壁下地> 14.5.3 形状及び寸法</p> <p><金属成型板張り> 14.6.2 材料</p>	<p>表板の樹種： 等級： ※2級以上 ・ () 強度等級： 板面の品質： ※C-D以上 ・ () 防虫処理： ・行う () ・行わない ※「愛知県公営住宅課 内装プレハブ工事特記仕様書」による。 * 構造用パネルの等級及び厚さ：</p> <p>* 下地木材への防腐・防蟻処理： ・処理不要な樹種の製材 ・薬剤の加圧注入 ・薬剤の塗布等 ・ () * 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理： 適用部位 () 保存処理性能区分 () * 薬剤の塗布による防腐・防蟻処理 処理の方法： ※ 12.3.1(3)(ii) ・ () * ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理： ・行う () ・行わない * 表面処理用木材保存 (防腐・防蟻) 剤は監督職員が承諾するものとする。</p> <p>* 防虫処理： ※行う ・行わない</p> <p>* 間仕切軸組に用いる木材： ※杉または松 ・ () * 床組に用いる木材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太)： ※ひのき又は保存処理木材 ・ () * 床組に用いる木材(上記以外)： ※杉または松 ・ ()</p> <p>* 窓、出入口その他に用いる木材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居： ※ひのき ・ () その他： ※松または杉 ・ ()</p> <p>* 縁甲板、上がりがまちに用いる木材： ※ひのき ・ ()</p> <p>* 木材： ※杉または松 ・ ()</p> <p>■建築編 13章 屋根及びとい工事■</p> <p>* 長尺金属板、板及びコイルの種類： ※JIS G 3322の屋根用コイル(種類 記号) ・ () 塗膜の耐久性の種類 () めっき付着量 () 厚さ等 () * 下葺材料 (釘又はステープルが打てる下地の場合)： ・ アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・ 複層基材 ・ 粘着層付タイプ)</p> <p>* 屋根葺形式： 屋根葺工法： * 建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法： * 雪止め： ・設ける ※設けない</p> <p>* 折板 型式： ※重ね型 ※はぜ締め型 ・ () 山高 () 山ピッチ () 厚さ () 耐力： ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 材料： ※鋼板製(表13.2.1による) ・ () * 軒先面戸板： ・有 ・無 * 断熱材張り： 種別 () 厚さ () 防火性能 ()</p> <p>* 建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法：</p> <p>* 粘土瓦の種類： 大きさ： 産地等： ※愛知県産 ・ () 役物瓦の種類： 雪止め瓦の使用等： * 瓦棧木 材質： ※杉 ※ひのき ・ () 寸法： ※幅21×高さ15 (mm)以上 ・ () * 棟補強用心材 材質： ※杉 ※ひのき ・ () 寸法： ※幅40×高さ30 (mm)以上 ・ () * 下葺材料 (釘又はステープルが打てる下地の場合)： ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材</p> <p>* 建築基準法に基づき定まる耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法： * 瓦棧木の留付け工法： * 棟の工法： ・7寸丸伏せ棟 ・F型用冠瓦伏せ棟 ・のし体棟 ・のし積み棟 ・ ()</p> <p>* といその他の材種： ※硬質塩化ビニル管 (VP) ・配管用鋼管 ・ () [表13.5.1]</p> <p>* 防露巻き(鋼管製とい)： ※表13.5.5による ・ ()</p> <p>■建築編 14章 金属工事■</p> <p>* あと施工アンカーの引抜耐力の確認試験： ・行う ・行わない * 設計用引張強度：</p> <p>* 表面仕上げの種類： ※ヘアライン仕上げ ・ ()</p> <p>* 表面処理の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・D種 (常温乾燥形の塗装 ()) [表14.2.1] * 陽極酸化皮膜の着色方法： ※二次電解着色 ・ () 色合等：</p> <p>* 鉄鋼の亜鉛めっきの種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 [表14.2.2]</p> <p>* 野縁等の種類 屋内： ※19形 ・25形 屋外： ・19形 ※25形 [表14.4.1]</p> <p>* 屋外の野縁受、吊りボルト、インサートの間隔： ・ () mm ・図面による * 屋外の野縁間隔： ・ () mm ・図面による</p> <p>* ダクト等によってボルトの吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法： 図面による * 天井のふところが1.5m以上の場合の補強方法： ・14.4.4(h)(1)、(2)による ・ () * 天井のふところが3mを超える場合の補強方法： 図面による * 耐震性を考慮した補強： 図面による * 耐風圧性を考慮した補強(屋外軒天井、ピロティ天井等)： 図面による</p> <p>* スタッド、ランナーの種類： ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ※表14.4.1による ・ () * スタッド高さが5.0mを超える場合：</p> <p>* 金属成形板： 種別 () 表面処理 ()</p>

項目	特記事項														
<p>14.6.3 工法</p> <p><アルミニウム製笠木> 14.7.2 材料</p> <p>14.7.3 工法</p> <p><手すり及びタラップ> 14.8.2 手すり</p> <p>14.8.3 タラップ</p> <p><モルタル塗り> 15.2.2 材料</p> <p>15.2.5 工法</p> <p><床コンクリート直均し仕上げ> 15.3.1 適用範囲 <セルフベリング材塗り> 15.4.2 材料 <仕上げ塗材仕上げ> 15.5.2 材料</p> <p>15.5.4 下地処理</p> <p>15.5.6 工法</p> <p>15.5.7 所要量等の確認 <マスチック塗材塗り> 15.6.2 マスチック塗材塗り</p> <p>15.8.3 配合及び密度等</p> <p><一般事項> 16.1.3 防火戸</p> <p>16.1.4 見本の制作等</p> <p>16.1.6 その他</p> <p><アルミニウム製建具> 16.2.2 性能及び構造</p> <p>16.2.3 材料</p> <p>16.2.4 形状及び仕上げ</p>	<p>* 取付け用下地： ※4節 軽量鉄骨天井下地による ・ () * 長尺ものの温度変化に対する伸縮調整継手： ・設ける () ・設けない</p> <p>* 主な構成部材による種類： ・250形 ・300形 ・350形 [表14.7.1] * 笠木本体の材料の表面処理：</p> <p>* 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法等 間隔： 固定方法： その他：</p> <p>* 材料：</p> <p>* 材料： * 表面処理の種別 亜鉛めっき： ※表14.2.2のC種 ・ () ステンレス： ※研磨等の仕上げを行わない ・ ()</p> <p>■建築編 15章 左官工事■</p> <p>* 既製目地材： ・使用する (形状) ※使用しない</p> <p>* 床の目地： ・設置する ・設置しない * 工法： () ※押し目地 (割付け間隔縦横1.8m程度 (室内)、3.6m程度 (廊下)) * 外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験： ・行う ※行わない</p> <p>* 適用範囲： ※図面による ・ ()</p> <p>* セルフベリング材の種類及び品質： ・せっこう系 ※セメント系 [表15.4.1]</p> <p>* 箇所毎の仕上塗材の種類： ※図面による ・ () 仕上げの形状： ・ゆず肌状 ※凹凸状 ・凸部処理 ・ () 工法： ・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り ・ () * 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材： ・使用する () ・使用しない * 複層仕上塗材の耐水性： ※耐候形3種 ・耐候形 () 種 * 複層仕上塗材の上塗材 樹脂： ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系 [表15.5.2] 溶媒： ※水系 ・弱溶剤系 ・溶剤系 外観： ※つやあり ・つやなし ・マット</p> <p>* 防火材料の指定： ・有 ・無 * 外装厚塗材Si、外装厚塗材Eの上塗材： ・適用する ・適用しない * 外装厚塗材Cの上塗材 (セメントスタッコ以外の場合)： * 軽量骨材仕上塗材の吹き付けによる天井等の仕上工事は次による。 材料： ※セメント系 ・有機結合材系</p> <p>* ALCパネルの内壁目地部の形状： ※V形目地付き ・ ()</p> <p>* 軽量骨材仕上塗材： ※製造所の仕様による (事前に施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける) ・ ()</p> <p>* 所要量等の確認： ※表15.5.4による ・ ()</p> <p>* 種別： ・A種 ・B種 仕上げ塗り： ・有 (種類：) ・無 [表8.5.1]</p> <p>* 仕上げ吹付け厚さ： () mm</p> <p>■建築編 16章 建具工事■</p> <p>* 防火戸の指定： ※図面による * 自動閉鎖機構及び防火戸と煙感知器等との連動： ・する ※しない</p> <p>* 建具見本の制作： ・有 ※無 特殊な建具の仮組： ・実施する ・実施しない</p> <p>* 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」の使用箇所： ※玄関錠前 ・面格子 ※接地階バルコニー側</p> <p>* 耐風圧性の等級： ※S-4 ・S-5 ※S-6 (適用箇所： 階以上) * 気密性の等級： ※A-3 ・A-4 * 水密性の等級： ※W-4 ・W-5 * 色彩等の種類： ※シルバー ・ブロンズ ・ () [表16.2.1] * 防音サッシ及び断熱サッシの種別及び等級： * 防音ドアセット、防音サッシ： ・適用する (遮音性等級：) ・適用しない ・図面による * 断熱ドアセット、断熱サッシ： ・適用する (断熱性等級：) ・適用しない ・図面による * 耐震ドアセット： ・適用する (面内変形追従性の等級：) ・適用しない ・図面による</p> <p>* 網戸 防虫網： ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</p> <p>* 建具の枠の見込み寸法： ※表16.2.1 (外部に面する建具) ・ () mm ・図面による * 構造： 網戸用レールは、一般網戸対応型とする。 * アルミニウムの表面処理の種別： ・A-1種 ※B-1種 ・C-1種 ・A-2種 ・B-2種 ・C-2種</p> <p>* 標準色・特注色の別等： * 結露水の処理方法： ・図面による ・製作所の仕様による ・ ()</p>														
	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">株式会社 山田設計</td> <td>清水住宅建築工事 (第6工区)</td> <td rowspan="2">図面番号 A-06</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文</td> <td>縮尺</td> <td>建築工事特記仕様書6/11</td> </tr> <tr> <td>検 図</td> <td>製 図</td> <td>設 計 H30年3月</td> <td colspan="2">愛知県建築局公共建築部公営住宅課</td> </tr> </table>	株式会社 山田設計			清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号 A-06	一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文		縮尺	建築工事特記仕様書6/11	検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
株式会社 山田設計			清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号 A-06											
一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文		縮尺	建築工事特記仕様書6/11												
検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課												

項目	特記事項
16.2.5 工法 <樹脂製建具> 16.3.2 性能及び構造	* 水切り板、ぜん板等：図面による * 耐風圧性の等級：・S-4 ・S-5 ・S-6（適用箇所： 階以上） * 気密性の等級： ・A-4 * 水密性の等級： ・W-4 ・W-5 * 外部に面する建具の種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・（ ） ・図面による [表16.3.1] * 外部に面しない建具： ・（耐風圧性： 気密性： 水密性： ） ・図面による * 防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級： * 外部に面する建具の種類： ・T-A種 ・T-B種 ・適用しない ・図面による [表16.3.2] * 断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級： * 外部に面する建具の種類： ・H-A種 ・H-B種 ・H-C ・適用しない ・図面による
16.3.3 材料	* ガラス： ※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス ・（ ）
16.3.4 形状及び仕上げ	* 建具の枠の見込み寸法： ・（ ）mm ・図面による * 表面色： ・標準色 ・特注色
16.3.5 工法 <鋼製建具> 16.4.2 性能及び構造	* 水切り板、ぜん板等：図面による * 気密性の等級： ※A-3 ・A-4 ・（ ） * 水密性の等級： ※W-1 ・W-4 ・W-5 ・（ ） * 耐風圧性の等級： ※S-4 ・S-5 ・S-6（適用箇所： 階以上） * 遮音性の等級： 断熱性の等級： 内面変形追随性の等級：
16.4.3 材料	* 鋼板の適用： ・JIS G 3302による（めっき付着量 ※Z12又はF12 ・（ ）） ・JIS G 3317による（めっき付着量 ※Y08 ・（ ））
16.4.4 形状及び仕上げ <鋼製軽量建具> 16.5.2 性能及び構造	* 鋼板類の厚さ： ・表16.4.2による ・（区分・使用箇所・厚さ： ） ・図面による * 簡易気密型ドアセット（気密性：A-3）： ・適用する ・適用しない ・図面による ・（ ）
16.5.3 材料	* ビニル被覆鋼板： ・適用する ・適用しない ・図面による ・（ ） * カラー鋼板： ・適用する ・適用しない ・図面による ・（ ） * 召合せ、縦小口包み板等： ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金
16.5.4 形状及び仕上げ <ステンレス製建具> 16.6.2 性能及び構造	* 鋼板類の厚さ： ・表16.5.1による（1枚の戸の有効寸法950mm以下、有効高さ2400mm以下） ※図面による * 建具の性能及び構造：
16.6.3 材料	* ステンレス鋼板： ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・SUS430（屋内に限る） ・（ ）
16.6.4 形状及び仕上げ	* 表面仕上げ： ※HL ・（ ）
16.6.5 工法 <木製建具>	* 曲げ加工： ※普通曲げ ・角出し曲げ * 内装建具については「愛知県公営住宅課 内装プレハブ工事特記仕様書（平成27年度版）」による。
16.7.2 材料	* 含水率： ・A種 ・B種 ・C種 * フラッシュ戸の表面材の合板の種類及び品質等： ※16.7.2(b)(1)(i)～(iii) ・（ ） * かまち戸の樹種 かまち： ・（ ） ※図面による 鏡板： ・（ ） ※図面による * ふすまの上張りの種類： ・（ ） ※図面による * 枠及びくつずりの材料 枠： ・（ ） ※図面による くつずり： ・（ ） ※図面による * ふすまの品質及び性能： 図面によるほか、「愛知県公営住宅課 内装プレハブ工事特記仕様書」による。
16.7.3 形状及び仕上げ	* フラッシュ戸 表面板の厚さ： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ）mm * かまち戸の見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ）mm * ふすまの見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ）mm * 戸ぶすまの見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ）mm * 紙張り障子の見込み寸法： ※図面及び内装プレハブ工事特記仕様書による ・（ ）mm
16.7.4 工法 <建具用金物> 16.8.2 材質、形状及び寸法	* フラッシュ戸の定規縁（引戸）の召合わせ框の形状： ※いんろう付きとしない ・いんろう付きとする [表16.7.9] * ふすまの縁の仕上げ： ・塗り縁 ・生地縁 * 金物の種類及び見え掛り部の材質： ※表16.8.1による ・（ ） * 表16.8.1中の*印の適用並びに備考中の特記について： ※図面による ・（ ） * 各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前： ※図面による ・（ ） * 各住戸玄関扉用及び内装扉用ドア・クローザーの品質及び性能： ※図面による ・（ ） ※ドアクローザーは、B L 部品のII型の性能を有するものとする。
16.8.3 取付け施工	* 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置： ・図面による ・（ ）
16.8.4 鍵	* 各住戸玄関扉用錠前の種類： ※図面による ・サムターン付シリンダー面付箱錠 ・シリンダー彫込箱錠（・(a)(1)(i) ・(a)(1)(ii)） ・（ ） * その他錠前の種類： ・サムターン付シリンダー面付箱錠 ・シリンダー彫込箱錠（・(a)(1)(i) ・(a)(1)(ii)） ・（ ） * タンブラー類の本数： ※6本以上 ・（ ） * 鍵： ※図面による ・3本1組とし、室名札を付ける 鍵箱： ・要 ・不要 * キーは、アクリル製室名札をつけ、スチール製箱に収納して提出する。 * コンストラクションキー装置： ※取付ける ・取付けない * マスターキー： ・製作する（ ） ・製作しない * マスターキーは、共用部のみで使用でき、各住戸の玄関戸では使用できないものとする。 * 引違い戸、引違い窓 鍵違いの種類： ・（ ）種類 ・6種類以上 ・図面による
<ガラス> 16.14.2 材料	* ガラスの種類及び厚さ： 図面による * ガラス留め材： ・シーリング材 ・ガスケット（・グレイジングチャンネル形 ・グレイジングビード形）
16.14.3 ガラス溝の寸法、形状等	* 溝の大きさ： ※表16.14.1による（アルミウム・鋼・ステンレス製建具） ・（ ）
16.14.4 工法	* 熱線反射ガラスの映像調整：

項目	特記事項
16.14.5 ガラスブロック積み	* 材料 ガラスブロック： 表面形状（ ） 呼び寸法（ ） 厚さ（ ） 壁用金属枠（ ） 補強材（ ） 力骨 材質： ※ステンレス鋼 ・（ ） 寸法： ※径5.5mm ・（ ） 形状： ※はしご形複筋及び単筋 ・（ ） 化粧目地モルタルの色： シーリング材の種類： 金属製化粧カバー： 材質（ ） 寸法（ ） 形状（ ） * 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法： 目地幅： 平積み（ ）mm 曲面積み（ ）mm 伸縮調整目地： 幅（ ）mm 位置 @（ ）m以下ごと 目地部の力骨の補強方法： ※ガラスブロック製造所の仕様による ・（ ）
<一般事項> 18.1.3 材料 <素地ごしらえ> 18.2.2 木部の素地ごしらえ	■建築編 18章 塗装工事■ * 防火材料の指定： ・有（ ） ・無 * 透明塗料塗りの木部の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 ・（ ） [表18.2.1] * 不透明塗料塗りの木部の素地ごしらえの種類： ※A種 ・B種 ・（ ） [表18.2.1]
18.2.3 鉄鋼面の素地ごしらえ	* 鉄鋼面の素地ごしらえの種類： ・A種 ・B種 ※C種 [表18.2.2]
18.2.4 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ	* 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種類： ・A種 ・B種 ※C種 [表18.2.3]
18.2.5 モルタル面及びフラスター面の素地ごしらえ	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.2.4]
18.2.6 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ	* コンクリート面の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 [表18.2.5] * ALCパネル面の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 [表18.2.5] ただし耐候性塗料塗りの場合は表18.2.6による
18.2.7 セッコウボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ	* 目地工法が継目処理工法のセッコウボードの素地ごしらえの種類： ※A種 ・B種 [表18.2.7] * その他のボード類の素地ごしらえの種類： ・A種 ※B種 [表18.2.7]
<錆止め塗料塗り> 18.3.2 塗料種別	* 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料： ※A種 ・B種 ・C種 [表18.3.2] ただし、つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの場合はC種とする
18.3.3 錆止め塗料塗り	* 見え掛り部分の鉄鋼面錆止め塗料塗りの種別： ※A種 ・B種 [表18.3.3] * 見え隠れ部分の鉄鋼面錆止め塗料塗りの種別： ・A種 ※B種 [表18.3.3] * 鋼製建具等の亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗りの種別： ※A種 ・B種 [表18.3.4] * その他の亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗りの種別： ・A種 ※B種 [表18.3.4]
<合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)> 18.4.2 塗料の種類	* 塗料の種類： ※1種 ・2種
18.4.3 木部SOP塗り	* 種別 屋外： ※A種 ・B種 屋内： ・A種 ※B種 [表18.4.1]
18.4.4 鉄鋼面SOP塗り <クリヤラッカー塗り(CL)> 18.5.2 クリヤラッカー塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.4.2] * クリヤラッカー塗りの工程の種別： ・A種 ※B種 [表18.5.1] * 目止めと着色： ・兼用する ※兼用しない
<アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)> 18.6.2 NAD塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.6.1]
<耐候性塗料塗り(DP)> 18.7.2 鉄鋼面DP塗り	* 上塗り塗料の等級： ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.1]
18.7.3 亜鉛めっき鋼面DP塗り	* 上塗り塗料の等級： ・1級 ・2級 ・3級 [表18.7.2]
18.7.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面DP塗り	* 種別： ・A種 ・B種 ・C種 [表18.7.3]
<つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)> 18.8.2 コンクリート面等EP-G塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.8.1]
18.8.4 鉄鋼面EP-G塗り <合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)> 18.9.2 EP塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.8.3] * 種別： ・A種 ※B種 [表18.9.1]
<合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)> 18.10.2 コンクリート面等EP-T塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.10.1]
<ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)> 18.11.2 UC塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.11.1]
<ラッカーエナメル塗り(LE)> 18.12.2 LE塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.12.1]
<木材保護塗料塗り(WP)> 18.14.2 WP塗り	* 種別： ・A種 ※B種 [表18.14.1]
<一般事項> <ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り> 19.2.2 材料	■建築編 19章 内装工事■ * 水掛り範囲： ※図示による ・（ ） [図19.1.1] * ビニル床シート 種類： ※FS ・（ ） 色柄（ ） 厚さ： ※2.0mm ・（ ） * ビニル床タイル 種類： 厚さ： ※2.0mm ・（ ）
<ガラス> 16.14.2 材料	株式会社 山田設計 清水住宅建築工事（第6工区） 縮尺 一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文 建築工事特記仕様書7/11 図面番号 A-07
16.14.3 ガラス溝の寸法、形状等	検 図 製 図 設 計 H30年3月 愛知県建築局公共建築部公営住宅課

項目	特記事項
19.2.3 施工	<p>* 特殊機能床材 帯電防止床シート：種類（ ） 厚さ（ ） 帯電防止床タイル：種類（ ） 厚さ（ ） 視覚障害者用床タイル：種類（ ） 形状（ ） 厚さ（ ） 耐動荷重性床シート：種類（ ） 厚さ（ ） 防滑性床シート、床タイル：種類（ ） 厚さ（ ）</p> <p>* ビニル幅木 厚さ：※1.5mm ・（ ） * ゴム床タイル：種類（ ） 厚さ（ ） * 接着剤（施工箇所の下地がセメント系及び木質系以外の場合）：</p> <p>* 19.2.3(a)(1)～(3)以外の下地の工法： * 熱溶接工法：※適用する ・適用しない</p>
19.5.2 材料	<p>* 天然木化粧複合フローリング： ・A種（積層フローリング） ・B種（ベニヤフローリングB種） ・C種（ベニヤフローリングC種） ・D種（ベニヤフローリングD種）</p> <p>* 特殊加工化粧複合フローリング： ・使用する（表面材： ） ※使用しない</p>
19.5.3 工法一般	<p>* 工法： ・釘留め・根太張り工法 ・釘留め・直張り工法 ・釘留め・発泡プラスチック系床下地張り工法 ・釘留め・乾式遮音二重床下地材張り工法 ・接着工法</p>
19.5.4 釘留め工法	<p>* フローリング及び複合フローリングの樹種：※なら ・（ ） 複合フローリングの種類： ・A種 ・B種 ※C種（根太張り工法の防湿処理： ・有 ・無） * 発泡プラスチック系床下地張り工法の場合のフローリングの種類別： ・19.5.2(a) ・19.5.2(b)</p>
19.5.5 接着工法	<p>* 樹種：※なら ・（ ） * モザイクパーケット：樹種（ ） 厚さ（ ） 大きさ（ ） * 裏面の緩衝材：※合成樹脂発泡シート ・（ ）</p>
19.5.6 現場塗装仕上げ ＜畳敷き＞	<p>* 塗装： ・ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p>
19.6.2 材料	<p>A. 本工事に使用する材料は、見本品を提出の上、監督職員の承認を受けたものを使用する。 B. 畳床はJIS A5914（建築畳床）に規定するインシュレーションボード畳床Ⅲ形（厚み50）を使用する。 1）畳床に使用するインシュレーションボードは、JIS A5905（繊維板）に規定するタミボードとする。 2）畳床に使用するポリスチレンフォーム板は、JIS A9511（発泡プラスチック保温材）の4.6の方法で試験して、密度が27kg/m³以上で、かつ同規格に規定する4.13.1の方法で試験して燃焼試験に合格したものと する。 3）畳床に使用する裏面材（防湿シート）は、JIS P3401（クラフト紙）に規定するクラフト紙3種にポリエチレンクロスなどを圧着したものと する。 4）畳床に使用する保護材は、不織布とする。 5）縦糸間隔、縫い目又は横糸間隔及び糸間面積は下記のとおりとする。 縦糸間隔(cm)：8.5以下 縫い目又は横糸間隔(cm)：5以下 6）畳床の構造は下図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>C. 畳へりはJIS L3108（畳へり地）によるP・Pへりとし、光輝へり10畳分450g以上とする。へり下地は畳用へり下紙巾75mm以上とする。 D. 畳表は、JAS3種2等品とし、動力綿糸引き通し重量1.40kg以上とする。 E. 畳床に使用する縫糸は、JIS A5914（建築畳床）附属書に規定する糸又は、それらと同等以上の性能をもつ糸とし、畳の仕上げに使用する縫糸は、JIS A5902（畳）附属書に規定する糸、又は、それらと同等以上の性能をもつ糸とする。ただし、これらの糸に害虫予防等のための薬剤を含浸又は浸透させたものは使用しない。なお、針足寸法は、JIS A5902（畳）の規定による。 * 種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床の記号） [表19.6.1]</p>
19.6.3 工法	<p>A. 製作及び敷き込み 1）製作に先立ち、監督職員と打ち合わせ、各所の寸法、曲がりの手等を計り割り合わせする。 2）畳ごしらえは、畳割りに正しく切り合わせ、へり巾は表2目を標準として表の筋目通りよく、たるまないよう針足寸法に合わせ縫い付ける。また、畳床の手かけは無しとする。 3）畳の角止めは、ホッチキス針金具戸止めとし、針は長さ22mm、巾3mm以上とする。 4）畳の返しボードは、不織布系又はポリエステル系系の畳用返しボードとする。 5）敷き込みは、敷居畳寄せ等と段違い、隙間、不陸等のないように行う。 B. 畳框、及び畳表の等級表示側の裏面に剥がれないように張り付け、次の事項を表示する。 製造所及び製造年月、種類及び等級 C. 畳焼け防止の措置をする。 D. 畳は、敷き込み前に30畳につき1畳の割合で任意に抽出し、縫い目間隔を測定し、社内検査報告書にまとめた上、監督職員に提出する。</p>
19.7.2 材料	<p>＜せっこうボード、その他ボード及び合板張り＞ * 種類（ ） 厚さ（ ） その他（ ） * 普通合板 表面の樹種 生地そのまままたは透明塗料塗りの場合：※ラワン程度 ・（ ） 不透明塗料塗りの場合：※しな程度 ・（ ） 板面の品質（ ） 厚さ（ ） 接着の程度（ ） 防虫処理： ・行う（ ） ・行わない * 天然木化粧合板： 化粧板の樹種名（ ） 接着の程度（ ） 厚さ（ ） 防虫処理： ・行う（ ） ・行わない * 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法： ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・（ ） 表面性能（ ） 接着の程度（ ） 厚さ（ ） 防虫処理： ・行う（ ） ・行わない * 遮音材（軽鉄下地ボード遮音壁）： ・アクリル系 ・ウレタン系 ・ジョイントコンパウンド(JIS A 6914)</p>
19.7.3 工法	<p>* 下地： ・軽量鉄骨下地 ・木造下地（防虫処理： ・有（ ） ・無） ・（ ） * 合板類の張付け種別： ・A種 ※B種 [表19.7.3] * せっこうボードの目地工法の種類： ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法 [表19.7.5] * 化粧せっこうボードの留め付け： 同色のカラーネイル、カラーねじ等</p>

項目	特記事項										
＜壁紙張り＞ 19.8.2 材料	<p>* 壁紙の種類： ・図面による ・（ ） 防火性能： ・図面による ・（ ）</p>										
19.8.3 施工	<p>* 素地ごしらえ モルタル及びブラスター面： ・A種 ※B種 コンクリート面： ・A種 ※B種 せっこうボード面： ・A種 ※B種</p>										
＜断熱・防露＞ 19.9.2 断熱材打込み工法	<p>* 材料（JIS A 9521 建築用断熱材） ・ヒース法ポリスチレンフォーム断熱材：種類（ ） 厚さ（ ） ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）：種類（ ） 厚さ（ ） ・硬質ウレタンフォーム断熱材：種類（ ） 厚さ（ ） ・フェノールフォーム断熱材：種類（ ） 厚さ（ ） （JIS A 9511 発泡プラスチック保温材） ・ヒース法ポリスチレンフォーム保温材：厚さ（ ）（・特号 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号） ・押出法ポリスチレンフォーム保温材（スキンなし）：厚さ（ ）（・1種 ・2種 ・3種）（・a ・b） ・A種硬質ウレタンフォーム保温材：厚さ（ ）（・1種 ・2種）（・1号 ・2号 ・3号 ・4号） ・フェノールフォーム保温材：厚さ（ ）（・1種 ・2種）（・1号 ・2号）</p>										
19.9.3 断熱材現場発泡工法	<p>* 種類(建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム(難燃性))： ※A種1 ・A種2 ・A種3 ・B種 * 吹付け厚さ：（ ）mm</p>										
＜発泡プラスチック系床下地張り工法＞ 19.10.1 材料	<p>* 発泡プラスチック系下地材の遮音性能及び厚さ：</p>										
＜乾式遮音二重床下地張り工法＞ 19.11.1 材料	<p>* 乾式遮音二重床下地材の遮音性能： * パーティクルボードの厚さ： * 捨て張り合板の厚さ：</p>										
＜内装プレハブ工法＞ 19.12.1 適用範囲	<p>* 内装プレハブ工法：「愛知県公営住宅課 内装プレハブ工事特記仕様書」による（内装下地材は県産材を使用すること。）</p>										
■建築編 20章 ユニット及びその他の工事■											
＜ユニット工事等＞ 20.2.3 可動間仕切	<p>* 材料等： 構造形式による種類（ ） 構成基材の種類（ ） 遮音性（ ） パネル表面仕上げ（ ） パネル内に取り付ける建具：寸法（ ） 形状（ ） ・図面による</p>										
20.2.4 移動間仕切	<p>* 材料等 パネルの操作方法による種類： パネル表面材：（材質 仕上げ ） * 性能等 パネル圧接装置の操作方法： 遮音性： バッフル取付け下地の補強：※20.2.4(c)(3)による ・（ ） * 工法 あと施工アンカー：材質（ ） 寸法（ ） その他（ ）</p>										
20.2.5 トイレブース	<p>* 材料 パネル表面材： ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部： ※幅木タイプ ・（ ）</p>										
20.2.6 階段滑り止め	<p>* 材種（ ） 形状（ ） 寸法（ ） * 取付け工法： ※接着工法 ・埋込み工法</p>										
20.2.8 黒板及びホワイトボード	<p>* 黒板 種類： ※焼付け ・（ ） 色： ※緑 ・（ ）</p>										
20.2.9 鏡	<p>* 厚さ： ※5mm ・（ ）</p>										
20.2.10 表示	<p>* 衝突防止表示 対人衝突防止表示(ガラスクリーン)：形状（ ） 寸法（ ） 材質（ ） * 非常用進入口等： ・表示する ・表示しない ・図面による * 室名札、ビクトリア、案内板等の形状、材質、寸法、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等： ※図面による ・（ ）</p>										
20.2.14 カーテン及びカーテンレール	<p>* 形式、付属金物等 種類： ・シングル ・ダブル 形式： ・片引き ・両引き ・（ ） 開閉操作方法： * きれ地： 種別（ ） 品質（ ） 特殊加工（ ） その他（ ） レール、ブラケット 強さによる区分： ※10-90 ・（ ） カーテンレール 材料による区分： ※アルミニウム ※アルミニウム合金の押出し成型材 仕上げ： ※アルマイト ・（ ） 形状： ※角型 ・（ ） * 工法 ひだの種類： ・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ 暗幕用カーテンの重なり 両端： ※300mm以上 ・（ ） 上部： ※300mm以上 ・（ ） 召合せ： ※300mm以上 ・（ ）</p>										
20.2.15 浴室ユニット	<p>* 種類： ・図面による ・（ ） 形状： ・図面による ・（ ） 寸法： ・図面による ・（ ） 材質： ・図面による ・（ ）</p>										
20.2.16 キッチンキャビネット	<p>* キッチンキャビネットの品質、性能： ・図面による ・製造所の仕様による * キッチンキャビネットの種類： ※セクショナルキッチン ・システムキッチン * キッチンキャビネットの寸法、材質、付属部品： 図面による</p>										
20.2.17 郵便受箱	<p>* 郵便受箱の形状、寸法： 図面による * 材質： ステンレス製 * 手すりユニットの品質及び性能： ・図面による ・製造所の仕様による * 廊下用手すりユニットの材質： ※アルミニウム合金製 ・スチール製 ・ステンレス製 * バルコニー用手すりユニットの材質： ※アルミニウム合金製 ・スチール製 ・ステンレス製 * 窓用手すりユニットの材質： ※アルミニウム合金製 ・スチール製 ・ステンレス製 * 手すりユニットの形状、寸法： 図面による</p>										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">株式会社 山田設計</td> <td style="text-align: center;">清水住宅建築工事 (第6工区)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">縮尺</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">図面番号 A-08</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文</td> <td style="text-align: center;">建築工事特記仕様書8/11</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検 図</td> <td style="text-align: center;">製 図</td> <td style="text-align: center;">設 計 H30年3月</td> <td style="text-align: center;">愛知県建築局公共建築部公営住宅課</td> </tr> </table>	株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	縮尺	図面番号 A-08	一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	建築工事特記仕様書8/11	検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	縮尺	図面番号 A-08								
一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文	建築工事特記仕様書8/11										
検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課								

項目	特記事項
20.2.19 補助手すり	* 手すりユニットの躯体への支持方法の種類： 図面による * 風の影響による音の発生が想定される場合には、中間支持材を入れる等の対応をする。
20.4.2 材料	* 補助手すりの品質及び性能： ・ 図面による ・ 製造所の仕様による * 補助手すりの形状、寸法、材質： 図面による
20.4.3 工法	<間知石及びコンクリート間知ブロック積み> * 間知石 材種： * コンクリート間知ブロック： 種類（ ） 質量区分（ ） * 間知石積み 積み方： ※谷積み ・布積み 目塗り（ ） 伸縮調整目地： 材種（ ） 厚さ（ ）mm * コンクリート間知ブロック積み 積み方： ※谷積み ・布積み 目塗り（ ） 伸縮調整目地： 材種（ ） 厚さ（ ）mm
21.2.1 材料	■建築編 2 1 章 排水工事■ * 材種、管の種類、呼び径等： ①図面による * マンホール側塊の形状、寸法： ①図面による ・（ ） * 排水樹の種類等： ①図面による ・（ ） * 排水樹ふたの種類等： ①図面による ・（ ） 鋳鉄製ふたの場合 名称、種類、適用荷重： ・ 図面による ・（ ） * グレーチングの材質、用途、適用荷重、メインバーピッチ等： ①図面による ・（ ） * 地業材料： ※21.2.1(g)(1)、(2)による ・（ ） * コンクリート： ※6章14節[無筋コンクリート]による ・（ ） 設計基準強度： ※18N/mm ² ・（ ） * 凍上抑制層の材料： * 砂の粒度試験： ・行う ・行わない * 埋戻し材料種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ※発生土の中の良質土 [表3.2.1]
21.2.2 施工	* 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類： ・ 図面による ・（ ） * 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類： ①図面による ・（ ） * 継手： ※接着剤 ・ゴム輪 * 車両の通行が多い場合及び軟弱地盤に管路を敷設する場合の工法は図面による
21.3.1 材料	<街きよ、緑石及び側溝> * コンクリート緑石の形状、寸法等： ①図面による ・（ ） * 側溝の形状、寸法等： ①図面による ・（ ） * 地業の材料： ・ 図面による ・4.6.2(a)による ・（ ）
21.3.2 施工	* 砂利地業の厚さ： ・100mm ・ 図面による ・（ ）
22.2.2 路床の構成及び仕上げ	■建築編 2 2 章 舗装工事■ * 路床 (1) 凍上抑制層： ・適用する(厚さ) ※適用しない (2) 透水性舗装に用いるフィルター層： ※適用する(厚さ： 図面による) ・適用しない (3) 路床安定処理： ・適用する(厚さ 方法) ※適用しない
22.2.3 材料	* 盛土種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ※発生土の中の良質土 [表3.2.1] * 凍上抑制層に用いる材料： * 透水性舗装のフィルター層に用いる材料： 図面による * 砂の粒度試験： ・実施する ※実施しない * 路床安定処理用材料： ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰特号 ・生石灰1号 ・消石灰特号 ・消石灰1号 * ジオテキスタイル： ・適用する(品質) ※適用しない
22.2.5 試験	* 路床土の支持力比(CBR)試験： ・実施する ※実施しない * 路床締固め度試験： ・実施する(埋戻し及び盛土部は原則実施) ※実施しない
22.3.2 路盤の厚さ及び仕上げ	* 路盤の厚さ： ・ 図面による ・（ ）
22.3.3 材料	* 路盤材料： ※RC-40(透水性舗装除く) ・C-40 ・CS-40 ・（ ） [表22.3.2]
22.4.2 舗装の構成及び仕上げ	* アスファルト舗装の構成及び厚さ： ・ 図面による ・（ ） * 平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・（ ）
22.4.4 配合その他	* 表層の加熱アスファルト混合物等の種類： ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ※再生密粒度アスファルト混合物(13) ・再生細粒度アスファルト混合物(13) 基層の加熱アスファルト混合物等の種類： ・粗粒度アスファルト混合物(20) ※再生粗粒度アスファルト混合物(20) [表22.4.4]
22.4.5 施工	* シールコートの施工： ・行う ※行わない
22.4.6 試験	* アスファルト混合物等の抽出試験： ・実施する ※実施しない
22.5.2 舗装の構成及び仕上げ	* コンクリート舗装等の構成及び厚さ、寒冷地の縁部立上り寸法等： ※図面による ・（ ）
22.5.3 材料	* コンクリートの設計基準強度、スラブ、粗骨材の最大寸法： ・ 図面による ・表22.5.1による ・（ ） * 寒冷期施工で早強セメントを用いる場合のコンクリートの設計基準強度、スラブ、粗骨材の最大寸法： 図面による * 注入目地材： ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ [表22.5.2]
22.5.4 施工	* コンクリート版の目地の種類及び間隔： ※図面による ・表22.5.3による目地を設ける ・（ ） * 目地の構造： ※図面による ・図22.5.1による ・（ ）
22.6.2 舗装の構成及び仕上げ	<カラー舗装> * 構成及び厚さ： 図面による * 結合材の種類： ※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 * 車道部の基層の適用： ※適用する ・適用しない * 種類： ・加熱系 ・常温系

項目	特記事項		
22.6.3 材料	* 加熱系カラー舗装の構成及び厚さ： ※図面による ・（ ） * 常温系カラー舗装 着色部の下部： ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		
22.6.4 配合その他	* 加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石： ・ 図面による ・（ ） * 加熱系混合物 結合材に石油樹脂を使用の場合の顔料の添加量： * ニート工法、塗布工法の配合等：		
22.7.2 舗装の構成及び仕上げ	<透水性アスファルト舗装> * 舗装構成： ※図面による ・（ ） 平坦性： ※著しい不陸がないこと ・（ ）		
22.8.2 舗装の構成及び仕上げ	<ブロック系舗装> * コンクリート平板舗装の目地材： ・砂 ・モルタル ※図面による * 舗石舗装の基層： ・アスファルト混合物 厚さ： ・50mm ・（ ） ※図面による ・コンクリート版 厚さ： ・70mm ・（ ） ※図面による * 平坦性： ※平板等間の段差3mm以内 ・（ ）		
22.8.3 材料	* コンクリート平板 種類： ・N300 ・（ ） 寸法： ・（ ） ※図面による * インターロッキングブロックの種類、形状、寸法、表面加工等 車道部： ・曲げ強度5.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ80mm ・（ ） ※図面による 歩道部： ・曲げ強度3.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ60mm ・（ ） ※図面による * 舗装に用いる石材の種類、形状、寸法： ※図面による ・（ ） * ジオテキスタイル： ・適用する(品質) ※適用しない		
22.9.2 材料	<砂利敷き> * 種別 通路： ※A種 ・B種 建物周囲その他： ・A種 ※B種 [表22.9.1]		
23.6.2 一般事項	<ウォール・擁壁> ■建築編 2 3 章 植栽、屋上緑化、その他施設整備等工事■ * 支持力試験： ・実施する(方法) ※実施しない * 石材の種類： * 裏込めに使用する透水材料及び伸縮目地の材料、厚さ： 図面による * 水抜きパイプの口径： ※75 ・100 * 水抜きパイプの設置条件： 3㎡に1カ所以上		
23.6.6 石積(張)擁壁	* 材料 割石： ・花こう岩(規格) ・安山岩(規格) 雑割石： ・花こう岩(規格) ・安山岩(規格) * 工法一般 目地仕上げ方法(雑割石積み、野面石積みの練積みの場合)： * 水抜きパイプの口径： ※75 ・100		
23.7.3 四つ目垣	<修景施設> * 柱の防腐処理： * 木材の防腐処理方法： メーカー仕様による * 木材の防腐剤： * 遊具の構造、強度、材料、寸法、安全領域： ・ 図面による ・（ ）		
23.8.2 一般事項	* 遊具組立設置 * 材料 コンクリート工作物の品質： ※図面による ・（ ） 木製遊戯器具などの木材の規格、樹種、防腐処理など： ※図面による ・（ ） 木材その他の工作物の木材の規格、樹種、防腐処理など： ※図面による ・（ ） 切石などの仕上げ： ※図面による ・（ ）		
23.9.2 柵工	<管理施設> * 材料 ネットフェンスの構成部材の種類、寸法等： 図面による ひし形金網の種類、寸法等： 図面による		
23.10.2 自転車置場ユニット	<建築施設組立> * 材料 品質、及び性能： 図面による 材質、収納台数： 図面による		
23.10.3 物置ユニット	* 主要部材の材質： 図面による * 強度区分の種別： ・120型 ・300型 ・450型 ※図面による 寸法、形状等： 図面による		
23.11.2 一般事項	<グラウンド舗装> * 材料 荒木田土： 図面による グラウンドのライン： 図面による * 工法(クレー舗装) 荒木田土の高さ、厚さ： 図面による 表層安定剤の量： 図面による		
24.1.3 関連設備工事	■建築編 2 4 章 PC工法による工事■ * 関連設備工事の施工区分 PC部材に先付けされるスリーブ、電気配管、電気ボックス： ・建築工事 ・（ ） 衛生、電気及びガス設備工事の穴あけ： ・建築工事 ・（ ） 穴埋め： * PC部材製造に用いる材料及び部品 24.2.1 セメント * 種別： ・普通ポルトランドセメント ・早強ポルトランドセメント ・混合セメント(高炉セメント、フライアッシュセメント)A種		
株式会社 山田設計			
清水住宅建築工事(第6工区)			
一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文			
縮尺 建築工事特記仕様書9/11			
検図	製図	設計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課
			図面番号 A-09
			H30年3月

項目	特記事項																												
24.2.4 混和材料	* 混和剤：・AE剤 ・減水剤 ・AE減水剤 ・高性能減水剤 ・高性能AE減水剤 ・流動化剤 * 混和材：・フライッシュ(I種) ・フライッシュ(II種) ・フライッシュ(IV種) ・高炉スラグ微粉末 ・シリカフェム ・膨張剤 * 上記以外の混和材料及び品質：																												
24.2.5 鋼材・鉄筋等	* 鉄筋種別： 図面による * 鋼材の形状及び寸法： 図面による																												
24.2.6 接合金物類 <PC部材の製造>	* 接合金物類の仕上がり形状及び寸法： 図面による																												
24.3.2 コンクリートの種類	* 使用骨材による種類： ・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種 ・軽量コンクリート2種																												
24.3.3 コンクリートの設計基準強度	* 設計基準強度：																												
24.3.4 コンクリートの調合	* 水セメント比： * スランプ： ・ () ・12cm以下																												
24.3.9 PC部材のかぶり厚さ	* PC部材及びPC部材接合部のかぶり厚さ 非耐力壁・床・屋根： 耐力壁・柱・梁： * タイル張り仕上げの製造方法： ※PC部材にタイルを打ち込む工法（先付け工法） ・ ()																												
24.3.16 PC部材の補修 <基礎及び基礎梁>	* 補修基準及び補修方法： 図面による																												
24.4.1 一般事項 <溶接接合>	* 設計基準強度： ※図面による ・ ()																												
24.6.6 添えプレート	* フレアグループ溶接の余盛り： ※図面による ・ () * 添えプレートの材質： ・ () ※図面による																												
<スリーブ接合>																													
24.7.1 一般事項	* スリーブ接合の材料及び施工方法： ※図面による ・ () * 検査方法及び検査基準： ※図面による ・ ()																												
<その他接合>																													
24.8.1 一般事項	* その他の接合の種類・箇所及び施工方法： ※図面による ・ () * 検査方法及び検査基準： ※図面による ・ ()																												
<狭小部充填コンクリート>																													
24.9.1 狭小部充填コンクリートの設計基準強度	* 狭小部充填コンクリートの設計基準強度： ※図面による ・ ()																												
24.9.3 調合	* 調合： ※図面による ・ ()																												
24.9.6 打込み <敷きモルタル>	* 保温養生の方法（凍害のおそれがある場合）： ※図面による ・ ()																												
24.10.1 敷きモルタルの圧縮強度	* 敷きモルタルの圧縮強度： ※図面による ・ ()																												
<p>■建築編 その他■</p> <p>建築札</p> <p>※設置する(材種： ※黒御影石、厚25mm ・その他[]) ・設置しない</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="text-align: center;">県 営 ○ ○ 住 宅 施 工 ○ ○ 建 設 ○ ○ 電 気 ○ ○ 設 備 完 成 年 月 愛 知 県 建 築 局</p> </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">300</div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>文字は丸ゴシック体（彫り込み）とする。 取付位置及び文面は監督職員の指示による。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">450</p>																													
材料等の使用制限	<p>【化学物質を発散する建築材料等の使用制限の原則】 本工事に使用する資材は、次の建築材料等の適正な選択による対策を講じること。</p> <p>1) スチレンを発散する建築材料等の使用制限の原則</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板、積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材</td> <td>発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 家具、書架、実験台、その他の什器等</td> <td>①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、発散しないか、発散が極めて少ないものとする。</td> </tr> <tr> <td>③ ユリア樹脂板</td> <td>発散しないか、発散が極めて少ないものとする。</td> </tr> <tr> <td>④ 壁紙</td> <td>発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ 保温材、緩衝材、断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦ 塗料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 仕上塗材</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを含有する塗料及び接着剤の使用制限の原則</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td> <td>含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 塗料</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3) クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノカルブを含有する防霉・防蟻剤の使用制限</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木材保存（木材の防霉・防蟻処理）剤</td> <td>含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。</td> </tr> </tbody> </table>	対策をとる建築材料等	使用制限の原則	① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板、積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材	発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。	② 家具、書架、実験台、その他の什器等	①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、発散しないか、発散が極めて少ないものとする。	③ ユリア樹脂板	発散しないか、発散が極めて少ないものとする。	④ 壁紙	発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。	⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤		⑥ 保温材、緩衝材、断熱材		⑦ 塗料		⑧ 仕上塗材		対策をとる建築材料等	使用制限の原則	① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤	含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。	② 塗料		対策をとる建築材料等	使用制限の原則	木材保存（木材の防霉・防蟻処理）剤	含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。
対策をとる建築材料等	使用制限の原則																												
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板、積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材	発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。																												
② 家具、書架、実験台、その他の什器等	①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、発散しないか、発散が極めて少ないものとする。																												
③ ユリア樹脂板	発散しないか、発散が極めて少ないものとする。																												
④ 壁紙	発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。																												
⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤																													
⑥ 保温材、緩衝材、断熱材																													
⑦ 塗料																													
⑧ 仕上塗材																													
対策をとる建築材料等	使用制限の原則																												
① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤	含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。																												
② 塗料																													
対策をとる建築材料等	使用制限の原則																												
木材保存（木材の防霉・防蟻処理）剤	含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。																												

項目	特記事項																																			
建築工事指定資材	<p>4) 可塑剤を使用している建築材料等の使用制限の原則</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 壁紙用接着剤</td> <td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 木工用接着剤</td> <td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>本工事に使用する資材・機材は、公共住宅事業者等連絡協議会編集の公共住宅建設工事共通仕様書、本特記仕様書、並びに図面で指定された品質、性能を有するもののほか、以下のものとする。</p> <p>1) (一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」により評価を受けた建築材料・設備機材等（以下「評価名簿登録品」という）。ただし、評価書の「納入地区及びアフターサービス地区」に当該工事場所が含まれる場合に限る。</p> <p>2) (一財)ベターリビングが認定した優良住宅部品（BL部品）。ただし、現場においてBLマーク表示が確認できるものに限る。</p> <p>3) その他、各標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することが証明書等で確認でき、監督職員の承諾を得られたもの。（定期的なメンテナンスが必要になる機材については、メンテナンス(アフターサービス)の体制についても監督職員に承諾が得られること。）</p> <p>なお、「評価名簿登録品」は、(一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを提出することにより、その評価を受けたこと及びメンテナンスの体制があることについて証明することができる。</p> <p>また防犯建物部品とは、「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」が公表している「防犯性能の高い建物部品目録」に掲載された建物部品など、工具類等の侵入器具を用いた侵入行為に対して(ア)騒音の発生を可能な限り避ける攻撃方法に対しては5分以上、(イ)騒音の発生を許容する攻撃方法に対しては、騒音を伴う攻撃回数7回（総攻撃時間1分以内）を超えて、侵入を防止する防犯性能を有することが、公正中立な第三者機関により確かめられた建物部品をいう。</p>	対策をとる建築材料等	使用制限の原則	① 壁紙用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。	② 木工用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。																													
対策をとる建築材料等	使用制限の原則																																			
① 壁紙用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。																																			
② 木工用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。																																			
東洋ゴム化工品㈱及びニッタ加工品㈱で製造された製品・材料を用いる場合	<p>受注者は、東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料（以下、ゴム製品等とする。）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して請負者が指定した第三者（東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)と資本面・人事面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督職員の確認を得るものとする。</p> <p>なお必要な品質証明書は、以下の試験及び検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>試験名</th> <th>計測項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常状態での試験（常態試験）</td> <td>硬さ、比重、引張強度、伸び</td> </tr> <tr> <td>熟老化試験</td> <td>熟老化前後での変化率（硬さ、比重、引張強度、伸び）</td> </tr> <tr> <td>圧縮永久ひずみ試験</td> <td>圧縮による残留歪み</td> </tr> <tr> <td>製品検査</td> <td>外観、寸法、性能</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、第三者による品質証明書等を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。</p>	試験名	計測項目	通常状態での試験（常態試験）	硬さ、比重、引張強度、伸び	熟老化試験	熟老化前後での変化率（硬さ、比重、引張強度、伸び）	圧縮永久ひずみ試験	圧縮による残留歪み	製品検査	外観、寸法、性能																									
試験名	計測項目																																			
通常状態での試験（常態試験）	硬さ、比重、引張強度、伸び																																			
熟老化試験	熟老化前後での変化率（硬さ、比重、引張強度、伸び）																																			
圧縮永久ひずみ試験	圧縮による残留歪み																																			
製品検査	外観、寸法、性能																																			
特定建設資材の再資源化等	<p>建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律{(平成12年法律第104号)以下「建設リサイクル法」という。}に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>なお、本工事に於ける特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書の「解体工事に要する費用」等に定める事項は契約締結時に発注者と受注者間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りでない。</p> <p>また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。「再資源化等報告書」は、建設企画課のホームページhttp://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/gijyutsu/kiyun.html【建築工事事務の手引・同様式】から入手可能。</p> <p>(注)別表4については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。</p> <p>なお受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。</p>																																			
別表1 建築物に係る解体工事	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程及び毎日の解体作業方内法容</th> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th colspan="2">分別・解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 建築設備、内装材等</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根ふき材</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 外装材、上部構造部材</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎、基礎ぐい</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">○ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ その他 ()</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程及び毎日の解体作業方内法容	工程	作業内容	分別・解体等の方法		・ 建築設備、内装材等	・ 有 ○ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用		・ 屋根ふき材	・ 有 ○ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用		・ 外装材、上部構造部材	・ 有 ○ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用		・ 基礎、基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用		・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用						
工程及び毎日の解体作業方内法容	工程		作業内容	分別・解体等の方法																																
	・ 建築設備、内装材等	・ 有 ○ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用																																
・ 屋根ふき材	・ 有 ○ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用																																	
・ 外装材、上部構造部材	・ 有 ○ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用																																	
・ 基礎、基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用																																	
・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用																																	
別表2 建築物に係る新築工事等（外構・増築・修繕・模様替）	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程及び毎日の解体作業方内法容</th> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th colspan="2">分別・解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 造成等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">○ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎、基礎ぐい</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">○ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 上部構造部分、外装</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">○ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">○ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 建築設備、内装等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">○ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ その他 ()</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業</td> <td colspan="2">・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程及び毎日の解体作業方内法容	工程	作業内容	分別・解体等の方法		・ 造成等	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用		・ 基礎、基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用		・ 上部構造部分、外装	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用		・ 屋根	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用		・ 建築設備、内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用		・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用	
工程及び毎日の解体作業方内法容	工程		作業内容	分別・解体等の方法																																
	・ 造成等	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用																																
・ 基礎、基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用																																	
・ 上部構造部分、外装	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用																																	
・ 屋根	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用																																	
・ 建築設備、内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業	○ 手作業と機械作業の併用																																	
・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業	・ 手作業と機械作業の併用																																	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">株式会社 山田設計</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">清水住宅建築工事 (第6工区)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">図面番号 A-10</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">縮尺 建築工事特記仕様書10/11</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検 図</td> <td style="text-align: center;">製 図</td> <td style="text-align: center;">設 計 H30年3月</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">愛知県建築局公共建築部公営住宅課</td> </tr> </tbody> </table>	株式会社 山田設計		清水住宅建築工事 (第6工区)		図面番号 A-10	一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文		縮尺 建築工事特記仕様書10/11		検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課																						
株式会社 山田設計		清水住宅建築工事 (第6工区)		図面番号 A-10																																
一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文		縮尺 建築工事特記仕様書10/11																																		
検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課																																	

項 目	特 記 事 項		
工 程 及 毎 び の 解 作 業 方 法 内 容	別表3 建築物以外のもに係る解体工事又は新築工事等（外構・工作物等）		
	工 程	作業内容	分別・解体等の方法
	・ 仮設	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業と機械作業の併用
	・ 土工	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業と機械作業の併用
	・ 基礎	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 本体工事	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ 本体付属品	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	・ その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
	別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地		
	廃 棄 物 の 種 類	施 設 の 名 称	所 在 地
・ コンクリート			
・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材			
・ アスファルト・コンクリート			
・ 木材			

項 目	特 記 事 項		
	株式会社 山田設計		清水住宅建築工事（第6工区）
	一級建築士 登録番号 276958号 坂口 博文		縮尺 建築工事特記仕様書 11/11
	検 図	製 図	設 計 H30年3月
	愛知県建築局公共建築部公営住宅課		
			図面番号 A-11

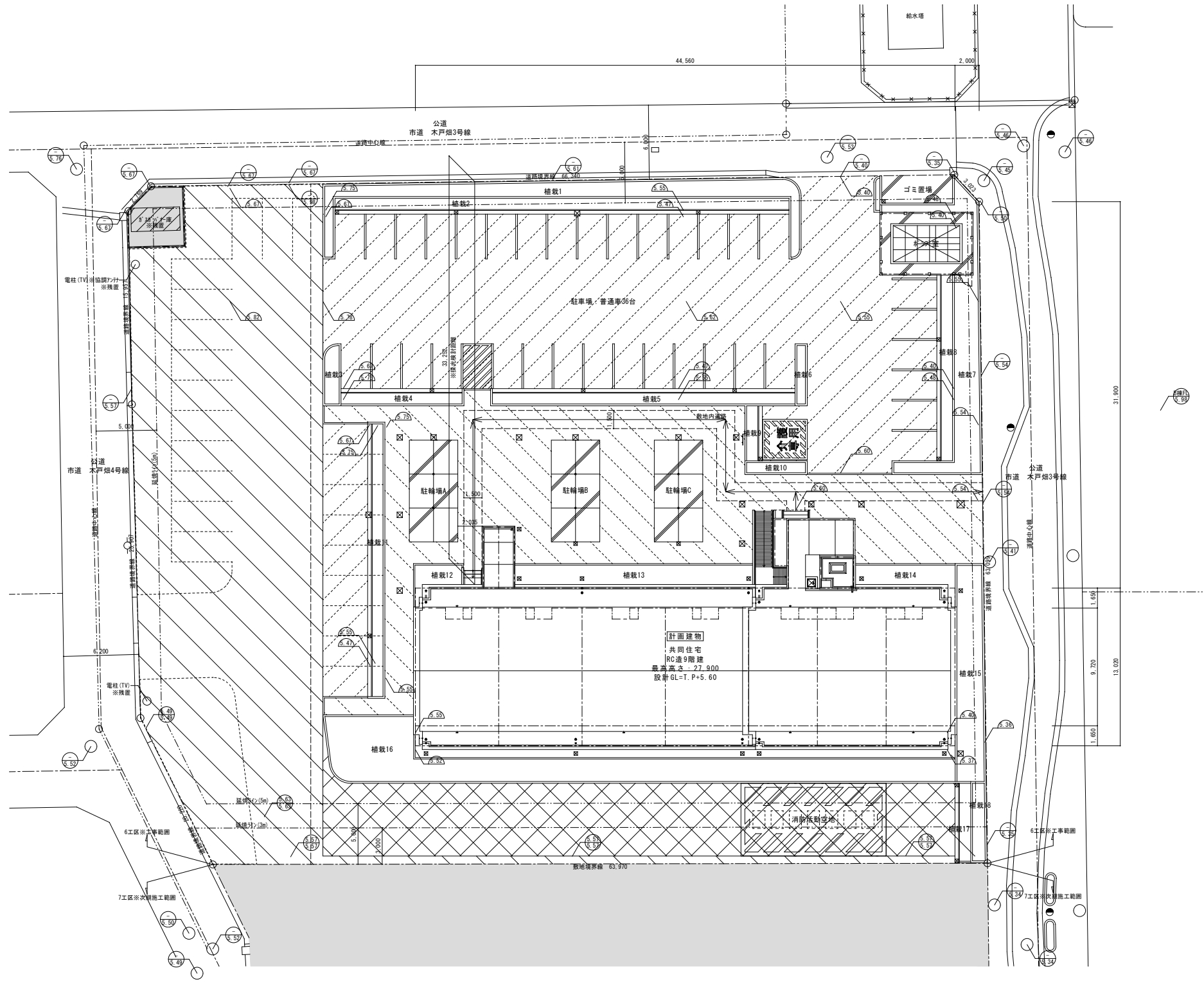


建築概要・面積表 (E棟)			
建築場所	愛知県東海市荒尾町地内		
用途地域	第一種住居地域	防火指定	指定なし(法22条地域)
敷地面積	46,370.14㎡	延床面積	3,910.29㎡
建物構造	住棟：鉄筋コンクリート造 9階建 駐輪場：鉄骨造平屋建		
建築面積	582.82㎡	駐輪場	100.80㎡
建築面積合計		受水機付テラス	6.00㎡
延床面積	3,518.95㎡	共同住宅	駐輪場(8~6:6棟)
延床面積合計		受水機付テラス	6.00㎡
共用部・車庫面積	185.56㎡	100.80㎡	
容積率対象延床面積			3,339.39㎡
建ぺい率			17.64%
容積率			85.40%
住戸数	55戸(30K×28戸 20K×27戸)		
駐車台数	36台※介護用1台含む(第6工区竣工時)		
	56台※介護用1台含む(第7工区竣工時)		
自転車置場	必要台数：55戸×1.5=83台	設置台数	90台
緑地			441.26㎡

全体配置図 1/1000

- 凡例
- 計画範囲
 - 用地認定区域を示す。(隣地境界線)
 - 用地認定区域を示す。(道路境界線)
 - 地盤高さを示す。(T.P面)

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事(第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	全体配置図・付近見取図	A-12
坂口 博文	縮尺	A1: 1/500
		A3: 1/1000
製 図	設計	
	H30年3月	
愛知県建築局公共建築部公営住宅課		

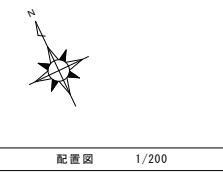


名称	面積(m ²)
植栽1	56.453
植栽2	34.632
植栽3	5.904
植栽4	8.950
植栽5	22.375
植栽6	3.374
植栽7	46.434
植栽8	14.163
植栽9	4.190
植栽10	4.123
植栽11	20.138
植栽12	6.184
植栽13	31.400
植栽14	13.152
植栽15	38.075
植栽16	119.693
植栽17	5.947
植栽18	6.461
合計	441.648
植栽面積	441.64m ²

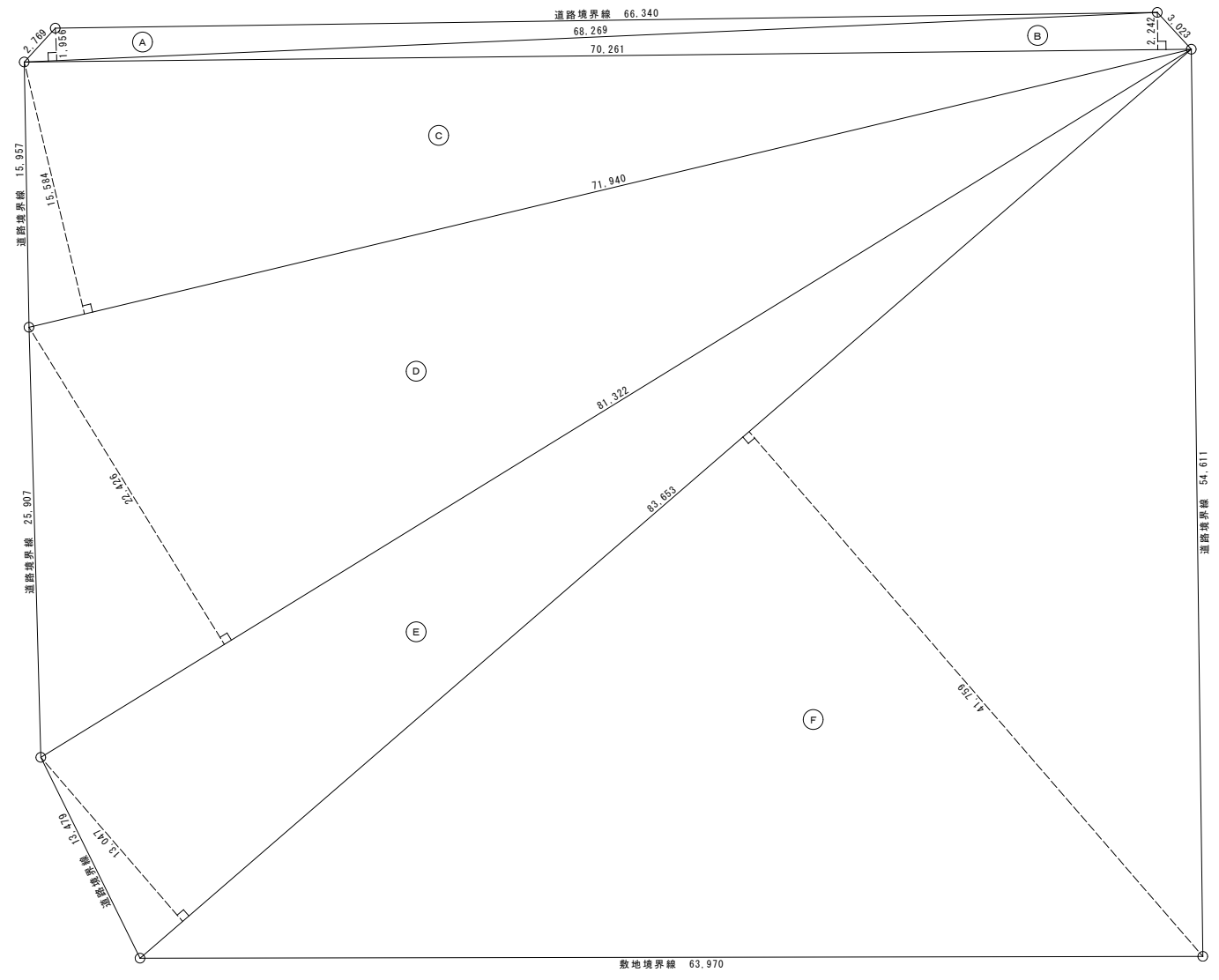
※計画建物
Y通り：K1-K2に平行

建築場所	愛知県東海市荒尾町地内		
用途地域	第一種住居地域 近隣商業地域	防火指定	指定なし(法22条地域) 一部準防火地域
敷地面積 (全棟敷地面積)	46,370.14m ²	敷地面積 (E棟敷地面積)	3,910.29m ²
建物構造	住棟：鉄筋コンクリート造 9階建	駐輪場	鉄骨造平屋建
建築面積	住棟 582.82m ²	駐輪場	受水塔付7寸室 100.80m ²
建築面積合計	689.62m ²		
延床面積	共同住宅 3,518.95m ²	駐輪場 (8~9:6棟)	受水塔付7寸室 100.80m ²
延床面積合計	3,625.75m ²		
共用部・車庫面積	185.56m ²	100.80m ²	
容積率対象延床面積	3,339.39m ²		
建ぺい率	17.64%		
容積率	85.40%		
住戸数	55戸 (30K×28戸 20K×27戸)		
駐車台数	36台※介護用1台含む(第6工区竣工時) 56台※介護用1台含む(第7工区竣工時)		
自転車置場	必要台数：55戸×1.5=83台	設置台数	90台
緑地	441.26m ²		

- 凡例
- : 既設敷地 (7工区他)
 - : 既設建物 (前工区他)
 - : 密粒7x7以外舗装を示す。
 - : 透水性7x7以外舗装を示す。
 - : 透水性7x7以外舗装を示す。(脱色舗装)
 - : コンクリート舗装
 - : 砕石敷き
- ※前工区KBM=T.P+6.40



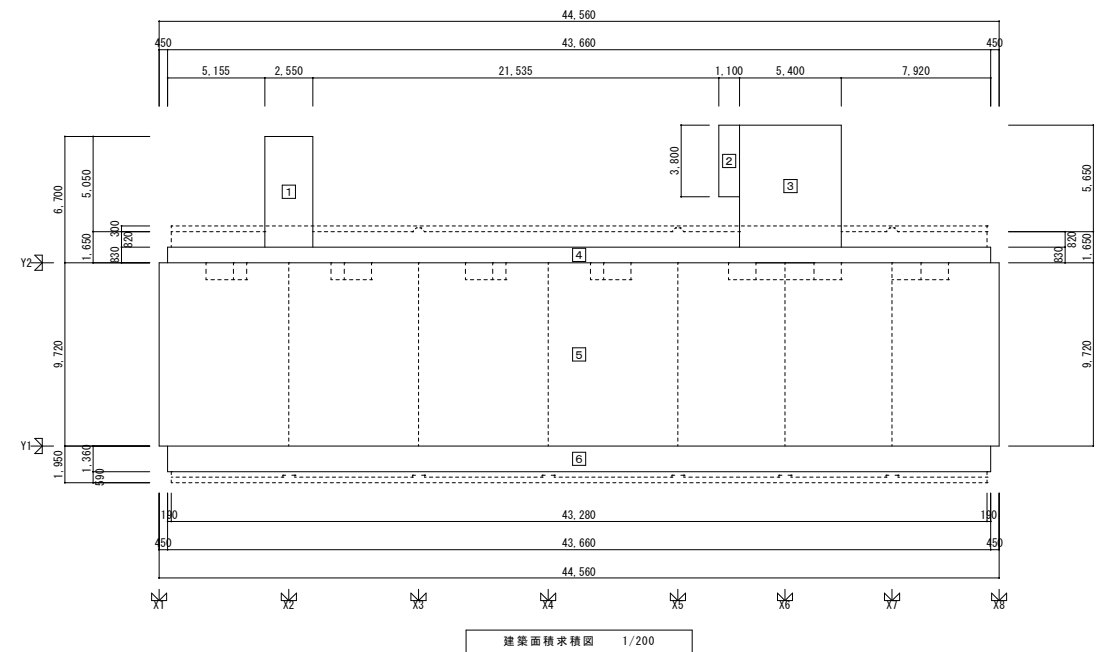
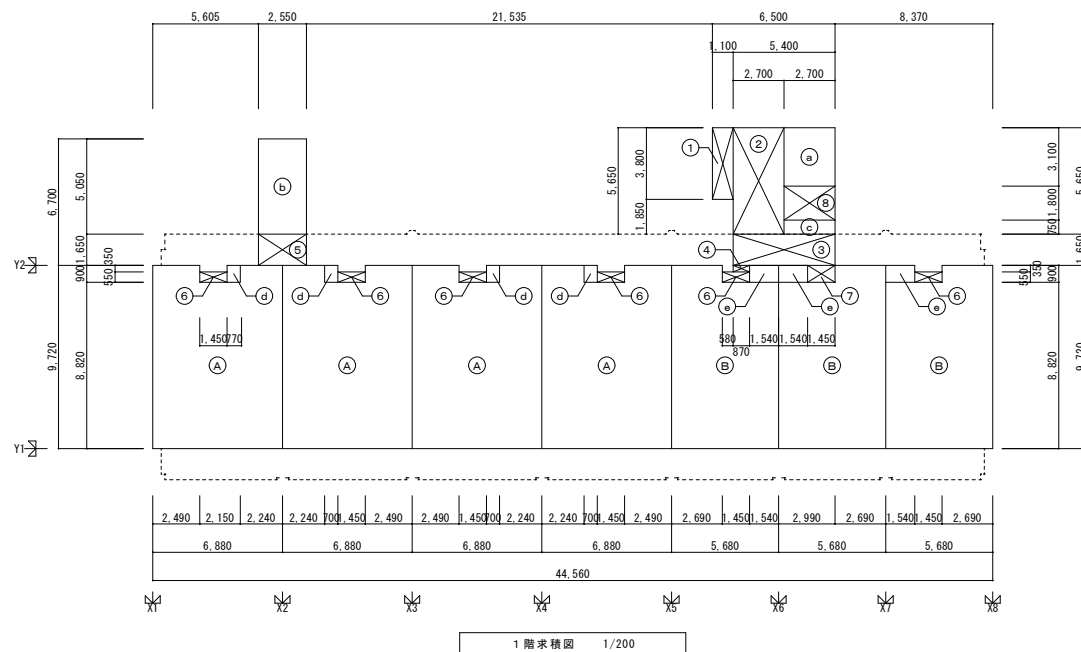
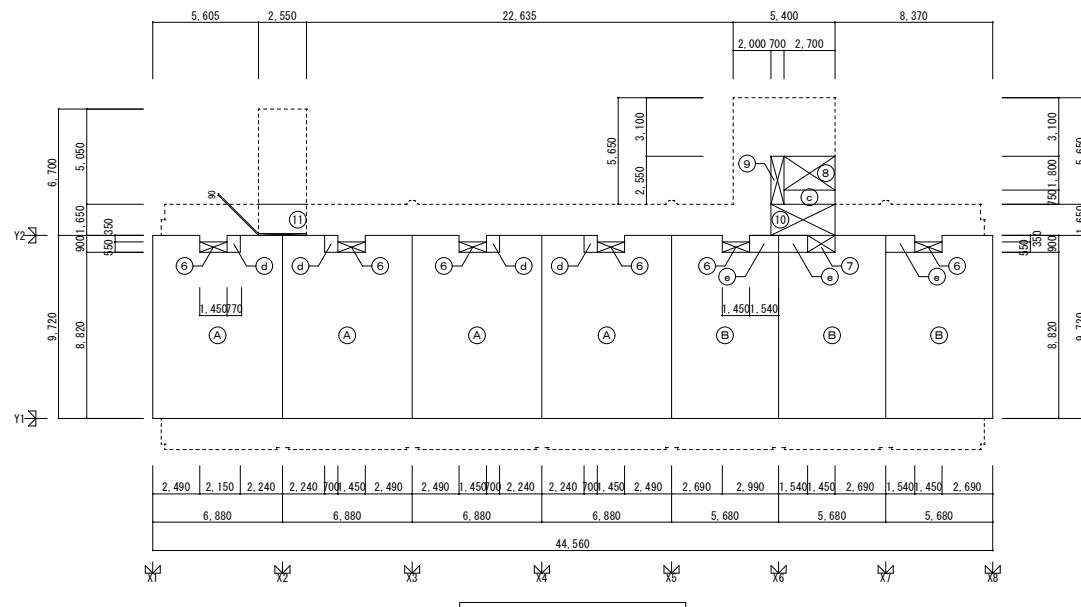
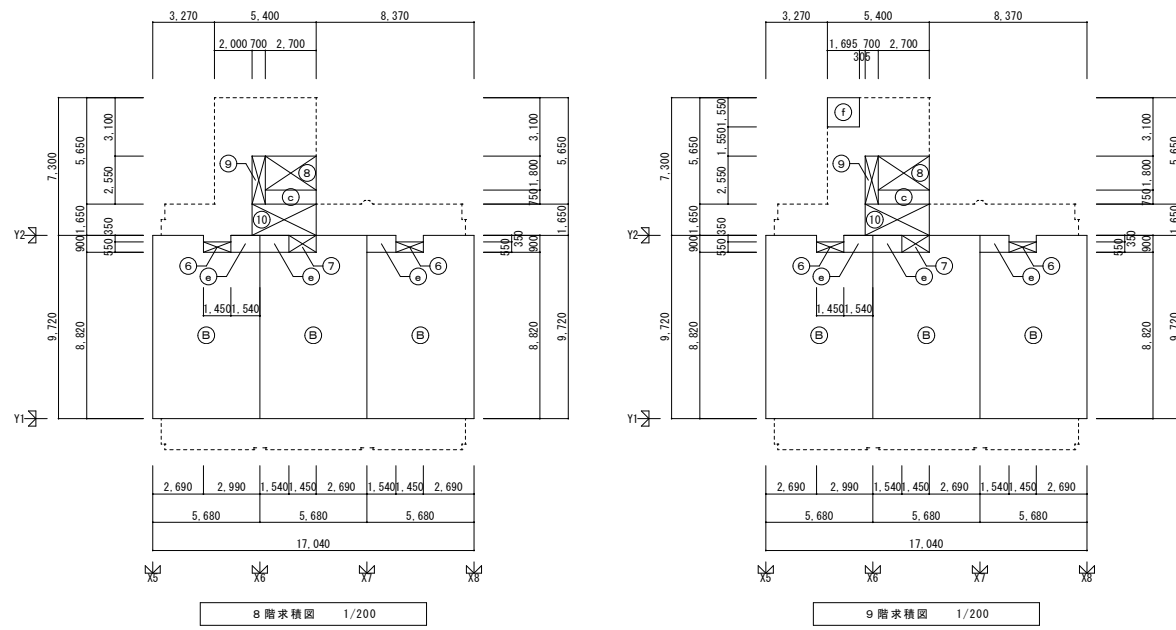
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	配置図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400
坂口 博文		A-13
検 製 設計		
図 園 H30年 3月		愛知県建築局公共建築部公営住宅課



敷地求積図 1/200

敷地求積表		
Ⓐ	68.269 × 1.956	133.534164
Ⓑ	70.261 × 2.242	157.525162
Ⓒ	71.940 × 15.584	1,121.112960
Ⓓ	81.322 × 22.426	1,823.727172
Ⓔ	83.653 × 13.047	1,091.420691
Ⓕ	83.653 × 41.759	3,493.265627
倍面積		7,820.505776
面積		3,910.292888
敷地面積		3,910.29 m ²

株式会社 山田設計		清水住宅建築工事 (第6工区)		図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	縮尺	敷地求積図		A-14
坂口 博文	A1: 1/200 A3: 1/400			
検 製 設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課			
図 園 H30年 3月				



符号	計算式	面積 (㎡)
A	$9.720 \times 6.880 - (0.900 \times 2.220)$	64.8756
B	$9.720 \times 5.680 - (0.900 \times 2.990)$	52.5186
①	3.800×1.100	4.180
②	5.650×2.700	15.255
③	1.650×5.400	8.910
④	0.350×0.870	0.3045
⑤	1.650×2.550	4.2075
⑥	0.550×1.450	0.7975
⑦	0.900×1.450	1.305
⑧	1.800×2.700	4.860
⑨	2.550×0.700	1.785
⑩	1.650×3.400	5.610
⑪	0.090×2.550	0.2295
ⓐ	3.100×2.700	8.370
ⓑ	5.050×2.550	12.8775
ⓒ	0.750×2.700	2.025
ⓓ	0.900×0.770	0.693
ⓔ	0.900×1.540	1.386
ⓕ	1.550×1.695	2.62725
①	2.000×8.400	16.800
②	3.000×2.000	6.000

施設名	計算式	面積 (㎡)
駐輪場A	① × 6	100.80
合計		100.80

施設名	計算式	面積 (㎡)
ポンプ室	②	6.00
合計		6.00

階数	計算式	面積 (㎡)
1階	ⓑ	4.860
2階	ⓑ	4.860
3階	ⓑ	4.860
4階	ⓑ	4.860
5階	ⓑ	4.860
6階	ⓑ	4.860
7階	ⓑ	4.860
8階	ⓑ	4.860
9階	ⓑ	4.860
合計		43.740

階数	計算式	面積 (㎡)
1階	A × 4 + B × 3	417.0582
2階	A × 4 + B × 3	417.0582
3階	A × 4 + B × 3	417.0582
4階	A × 4 + B × 3	417.0582
5階	A × 4 + B × 3	417.0582
6階	A × 4 + B × 3	417.0582
7階	A × 4 + B × 3	417.0582
8階	B × 3	157.5558
9階	B × 3	157.5558
合計		3,234.5190

階数	計算式	面積 (㎡)
1階	ⓐ + ⓑ + ⓒ + ⓓ + ⓔ × 4 + ⓕ × 3	30.2025
2階	ⓐ + ⓑ + ⓒ × 4 + ⓕ × 3	8.955
3階	ⓐ + ⓑ + ⓒ × 4 + ⓕ × 3	8.955
4階	ⓐ + ⓑ + ⓒ × 4 + ⓕ × 3	8.955
5階	ⓐ + ⓑ + ⓒ × 4 + ⓕ × 3	8.955
6階	ⓐ + ⓑ + ⓒ × 4 + ⓕ × 3	8.955
7階	ⓐ + ⓑ + ⓒ × 4 + ⓕ × 3	8.955
8階	ⓒ + ⓔ × 3	6.183
9階	ⓒ + ⓔ × 3 + ⓕ	8.81025
合計		98.92575

階数	計算式	面積 (㎡)
1階	① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ × 6 + ⑦	38.947
2階	⑥ × 6 + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪	13.7145
3階	⑥ × 6 + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪	13.7145
4階	⑥ × 6 + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪	13.7145
5階	⑥ × 6 + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪	13.7145
6階	⑥ × 6 + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪	13.7145
7階	⑥ × 6 + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪	13.7145
8階	⑥ × 2 + ⑦ + ⑧ + ⑩	10.295
9階	⑥ × 2 + ⑦ + ⑧ + ⑩	10.295
合計		141.824

符号	計算式	面積 (㎡)
①	5.870×2.550	14.9685
②	3.800×1.100	4.180
③	6.470×5.400	34.938
④	0.830×43.660	36.2378
⑤	9.720×44.560	433.1232
⑥	1.360×43.660	59.3776

計算式	面積 (㎡)
① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥	582.8251

計算式	面積 (㎡)
① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ① × 6 + ②	689.6251

	面積 (㎡)	面積 (㎡)
1階床面積	491.0677	491.06
2階床面積	444.5877	444.58
3階床面積	444.5877	444.58
4階床面積	444.5877	444.58
5階床面積	444.5877	444.58
6階床面積	444.5877	444.58
7階床面積	444.5877	444.58
8階床面積	178.8938	178.89
9階床面積	181.52105	181.52
住棟延床面積		3,518.95
駐輪場床面積	100.80	100.80
ポンプ室床面積	6.00	6.00
延床面積		3,625.75
共用部分面積 (容積率対象外)	141.824	141.82
E V昇降路部分面積 (容積率対象外)	43.74	43.74
容積率対象延床面積		3,339.39
住棟建築面積	582.8251	582.82
駐輪場建築面積	100.80	100.80
ポンプ室建築面積	6.00	6.00
建築面積	689.6251	689.62

① 3DK TYPE-A			② 3DK TYPE-B			③ 2DK TYPE-A			④ 2DK TYPE-B		
※各要素の計算結果は小数点第5位を四捨五入			※各要素の計算結果は小数点第5位を四捨五入			※各要素の計算結果は小数点第5位を四捨五入			※各要素の計算結果は小数点第5位を四捨五入		
Ⓐ	8.820 × 6.880	60.6816	Ⓔ	8.820 × 6.880	60.6816	Ⓒ	8.820 × 5.680	50.0976	Ⓘ	8.820 × 5.680	50.0976
Ⓑ	0.900 × 2.490	2.241	Ⓕ	0.900 × 2.170	1.953	Ⓜ	0.900 × 2.690	2.421	Ⓛ	0.900 × 2.690	2.421
Ⓒ	0.900 × 2.170	1.953	Ⓖ	0.900 × 2.490	2.241						
Ⓓ	1.650 × 5.920 + 1.360 × 0.190 + 1.550 × 0.320	10.5224	Ⓖ	1.650 × 6.240 + (1.550 × 0.320) × 2	11.288	Ⓝ	1.650 × 4.720 + 1.550 × 0.320 + 1.360 × 0.190	8.5424	Ⓚ	1.650 × 5.040 + (1.550 × 0.320) × 2	9.308
● 住戸部分			● 住戸部分			● 住戸部分			● 住戸部分		
Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ		計	Ⓔ + Ⓕ + Ⓖ		計	Ⓒ + Ⓜ		計	Ⓘ + Ⓛ		計
		64.8756			64.8756			52.5186			52.5186
● n'k2-部分			● n'k2-部分			● n'k2-部分			● n'k2-部分		
Ⓓ		計	Ⓖ		計	Ⓝ		計	Ⓚ		計
		10.5224			11.288			8.5424			9.308
		(1/3)			(1/3)			(1/3)			(1/3)

符号	計算式	面積 (㎡)
①	9.720 × 44.560 - (2.220 × 4 + 5.980 + 2.990) × 0.900	417.0582
②	9.720 × 17.040 - (5.980 + 2.990) × 0.900	157.5558
Ⓐ	5.050 × 2.550	12.8775
Ⓑ	3.800 × 1.100	4.1800
Ⓒ	5.650 × 5.400	30.5100
Ⓓ	1.650 × 43.280 + (2.220 × 4 + 5.980 + 2.990) × 0.900 + (0.240 + 0.200) × 0.200 × 3 + 0.830 × 0.190 × 2 + 1.360 × 0.190 × 2	88.0564
Ⓔ	1.650 × 43.280 - 0.100 × 0.640 × 6	71.5448
Ⓕ	1.650 × 15.760 + (5.980 + 2.990) × 0.900 + (0.240 + 0.200) × 0.200 × 0.830 × 0.190 × 2	34.4804
Ⓖ	1.650 × 15.760 - 0.100 × 0.640 × 2 + 1.360 × 0.190 × 2	26.3928
Ⓝ	1.940 × 1.275	2.4735
Ⓘ	1.550 × 2.240	3.472
Ⓛ	0.300 × 1.275	0.3825
Ⓚ	1.550 × 0.295	0.45725

階数	計算式	面積 (㎡)	面積 × 1/3 (㎡)
1階	Ⓔ	71.5448	23.8483
2階	Ⓕ	71.5448	23.8483
3階	Ⓖ	71.5448	23.8483
4階	Ⓔ	71.5448	23.8483
5階	Ⓕ	71.5448	23.8483
6階	Ⓖ	71.5448	23.8483
7階	Ⓔ	71.5448	23.8483
8階	Ⓕ	26.3928	8.7976
9階	Ⓖ	26.3928	8.7976
合計		553.5992	184.5333

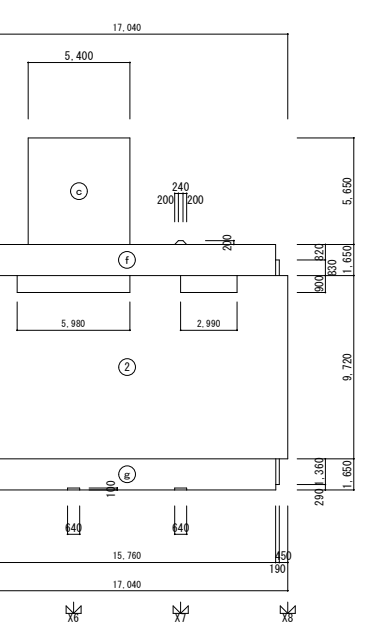
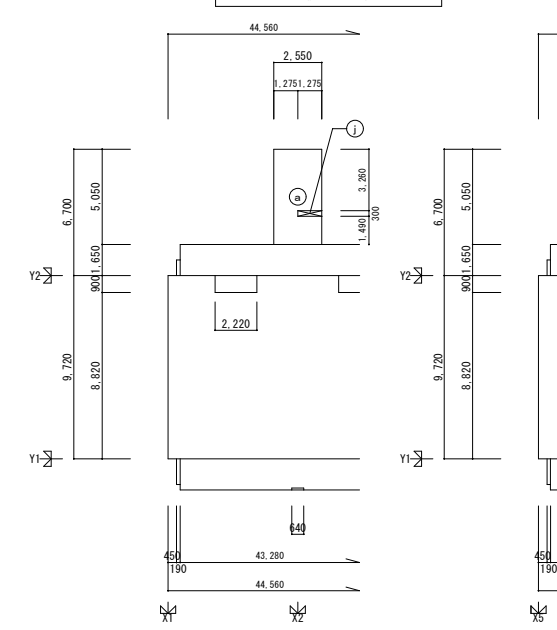
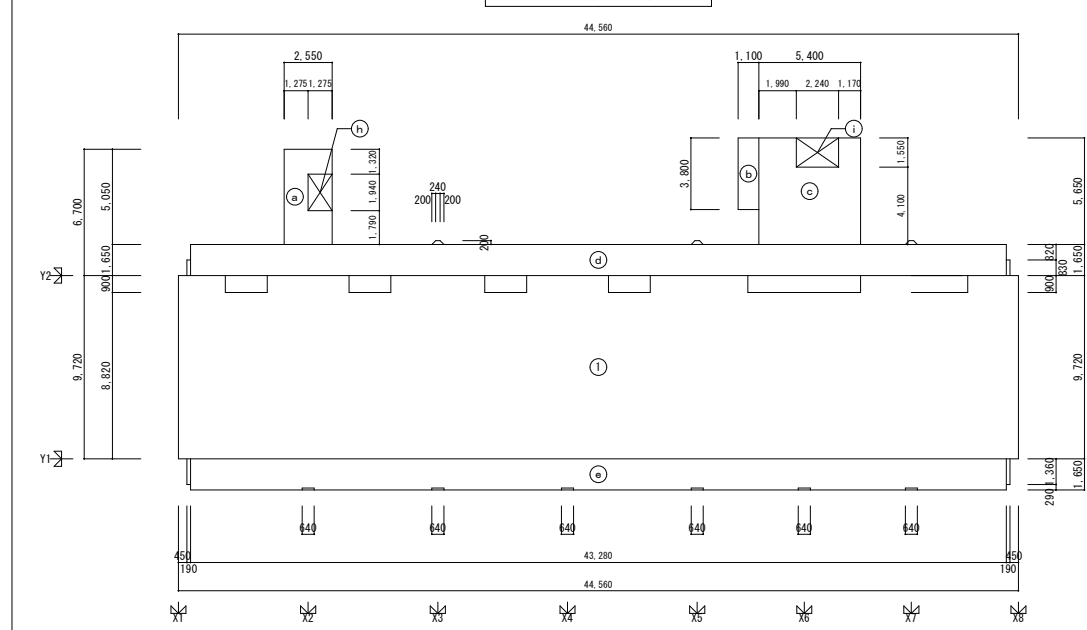
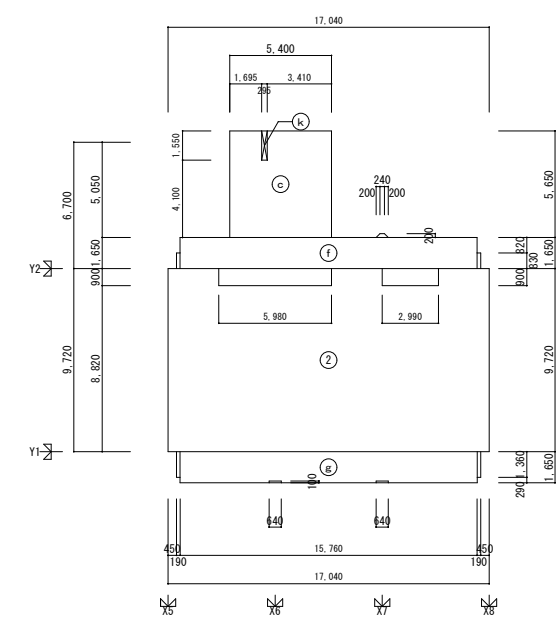
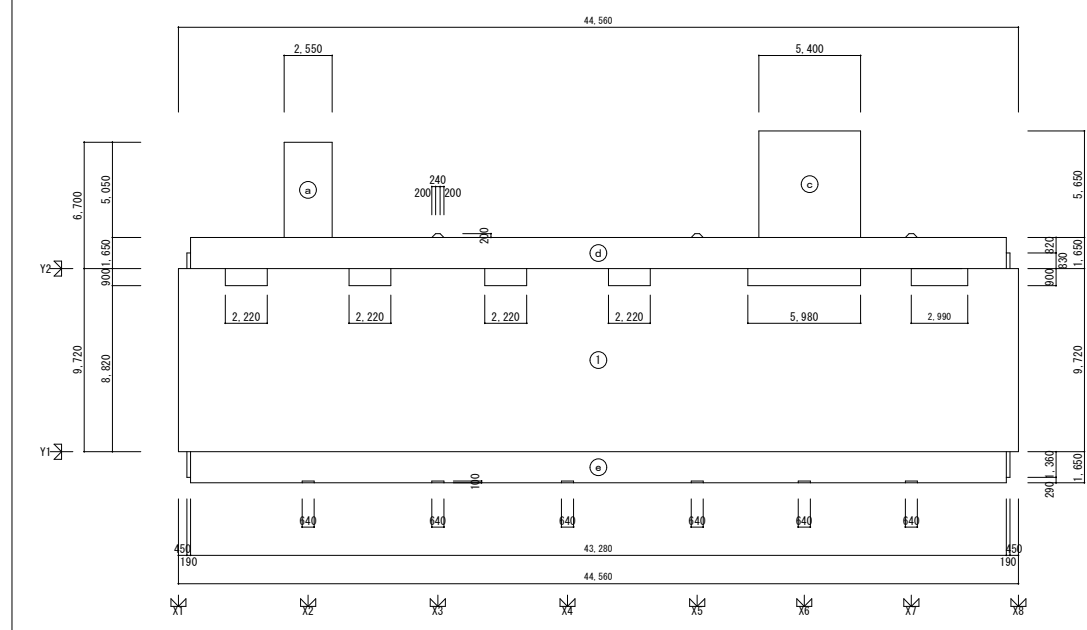
階数	計算式	面積 (㎡)
1階	①	417.0582
2階	①	417.0582
3階	①	417.0582
4階	①	417.0582
5階	①	417.0582
6階	①	417.0582
7階	①	417.0582
8階	②	157.5558
9階	②	157.5558
合計		3,234.5190

階数	計算式	面積 (㎡)
1階	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ	129.6784
2階	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ	131.4439
3階	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ	131.4439
4階	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ	131.4439
5階	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ	131.4439
6階	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ	131.4439
7階	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ	131.0614
8階	Ⓒ + Ⓔ	64.9904
9階	Ⓒ + Ⓔ + Ⓚ	64.53315
合計		1,047.48285

タイプ	戸数	住戸専用面積/戸	住戸専用面積	計算式	面積 (㎡)
2DK TYPE-A	11	52.5186	577.7046	(52.5186/3,234.5190) × 1,047.48285	17.0079
2DK TYPE-B	16	52.5186	840.2976	(52.5186/3,234.5190) × 1,047.48285	17.0079
3DK TYPE-A	7	64.8756	454.1292	(64.8756/3,234.5190) × 1,047.48285	21.0096
3DK TYPE-B	21	64.8756	1,362.3876	(64.8756/3,234.5190) × 1,047.48285	21.0096
合計	55		3,234.5190		

階	タイプ	戸数	住戸専用面積	共用面積	計	n'k2-面積 (1/3)	合計
1F	2DK (TYPE-A)	1					
	(TYPE-B)	2					
	3DK (TYPE-A)	1					
2F	(TYPE-B)	3					
	2DK (TYPE-A)	1					
	(TYPE-B)	2					
3F	3DK (TYPE-A)	1					
	(TYPE-B)	3					
	2DK (TYPE-A)	1					
4F	(TYPE-B)	2					
	3DK (TYPE-A)	1					
	(TYPE-B)	3					
5F	2DK (TYPE-A)	1					
	(TYPE-B)	2					
	3DK (TYPE-A)	1					
6F	(TYPE-B)	3					
	2DK (TYPE-A)	1					
	(TYPE-B)	2					
7F	3DK (TYPE-A)	1					
	(TYPE-B)	3					
	2DK (TYPE-A)	1					
8F	(TYPE-B)	2					
	3DK (TYPE-A)	0					
	(TYPE-B)	0					
9F	2DK (TYPE-A)	2					
	(TYPE-B)	1					
	3DK (TYPE-A)	0					
合計	(TYPE-B)	0					
	2DK (TYPE-A)	27					
	3DK (TYPE-A)	28					

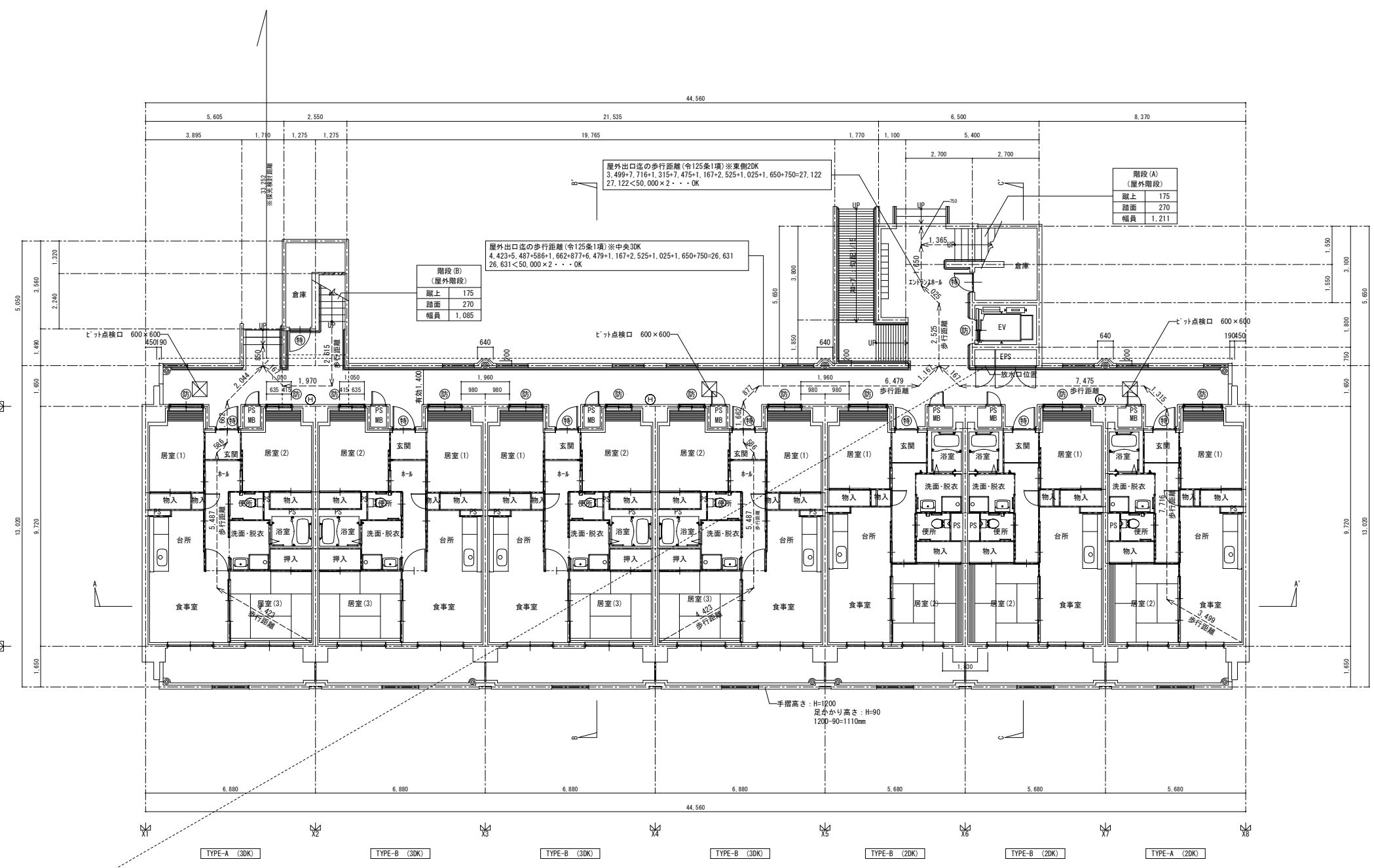
タイプ	戸数	専用面積			共用面積	合計
		住戸専用面積	n'k2-面積 (1/3)	計		
2DK	(TYPE-A)	11	52.5186	2.8475	55.3661	17.0079
	(TYPE-B)	16	52.5186	3.1027	55.6213	17.0079
3DK	(TYPE-A)	7	64.8756	3.5075	68.3831	21.0096
	(TYPE-B)	21	64.8756	3.7627	68.6383	21.0096
合計	55					



内部仕上げ表 (専用部分) 2DK (一般タイプ)													
室名	床	パネル厚	巾木	H	壁 (護壁含む)		柱 梁型	基準階天井		天井高	備考 < > 内装部品、() 別途工事を示す。		
					部位	パネル厚		パネル厚	パネル厚				
玄関	磁器質100角タイル		化粧巾木 木製(タモ材)	50 45	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ)	天井パネルA	20.5	2.425	室名札 <木製手摺1型 L=600> <壁点検口 600×600>	
ホール	床パネルA	12+20	化粧巾木	50	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ)	天井パネルA	20.5	2.425		
食事室	床パネルA	12+20	化粧巾木	50	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ) 妻側:一部天井パネルD	天井パネルA	20.5	2.425	<カーテンレール ステンレスC型 ダブル SUS430> <ダクト用スリーブ 150φ、(差圧ダンパー150φ)> <クーラー用スリーブ 75φ>	
台所	床パネルA	12+20	化粧巾木	50	壁パネルA・壁パネルE	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ) 妻側:一部天井パネルD	天井パネルA	20.5	2.425	《ステンレス水切棚 L=900 W=270 2段》コンロ側ステンレス貼 《レンジフード》《差圧ダンパー150φ》<壁点検口 150×200>《流し台 (BL-1型) L=1500 (トラップ付)》 《吊戸棚 (BL-1型) L=900+600》 《ガス台 (BL-1型) L=700 (バックガード付)》 ステンレス水切カバー L=2235 W=150 <水切カバー下地>	
居室(1) (洋室4.9帖)	床パネルA、床パネルF	12+20 25	化粧巾木	50	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ) 妻側:共用廊下側:一部天井パネルD	天井パネルA	20.5	2.425	クーラー用スリーブ 75φ (耐火スリーブ、屋外ステンレス製キャップ) 室内固定換気レジスター (100φ、ステンレス防虫網付、屋外ステンレス製) <家具転倒防止付輻照><カーテンレール ステンレスC型 ダブル SUS430>	
居室(2) (和室6帖)	床パネルB下地(畳敷)、床パネルA	12 25	畳寄せ(単一米揃)	35	壁パネルB	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ)	天井パネルA	20.5	2.422	天井換気孔塩ビ50φ(最上階)、室内固定換気レジスター (100φ、ステンレス防虫網付、屋外ステンレス製) <家具転倒防止付輻照><カーテンレール ステンレスC型 ダブル SUS430>	
洗面・脱衣室	床パネルC	12+20	化粧巾木	50	壁パネルC	RC躯体面 間仕切面	15 50	天井パネルB	天井パネルB	15	2.100	<棚取付用積木> <最上階のみ天井点検口 600×600> 《洗面ユニット》《化粧キャビネット》《洗濯機防水パン》 <タオル掛 L=430 (SUS304)> <木製手摺1型 L=600> <C型カーテンレール L=800 SUS430>	
便所	床パネルC	12+20	化粧巾木	50	壁パネルC	RC躯体面 間仕切面	15 50	天井パネルB	天井パネルB	15	2.100	《洋風便器》《ペーパーホルダー》<タオル掛 L=430 (SUS304)> <木製手摺1型 L=600、450> <壁点検口 200×150>	
押入	床パネルE、(下段D)	35	雑巾摺(単一米揃)		壁パネルD	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し	天井パネルC	15	2.422	<中段・天袋>	
物入	ホール:床パネルE、(下段D) 居室(1):床パネルG、(下段D)	35	雑巾摺(単一米揃)		壁パネルD	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 妻側:一部天井パネルE	天井パネルC	15	2.410	ホール:<中段・枕棚> 居室(1):<可動棚>	
浴室	ユニットバスBL1216長寿社会対応B型(別途工事)												
PS・MB	防水モルタル金コテ		合板型枠コンクリート打放し									1階のみピット換気口50φ	

内部仕上げ表 (専用部分) 3DK (一般タイプ)													
室名	床	パネル厚	巾木	H	壁 (護壁含む)		柱 梁型	基準階天井		天井高	備考 < > 内装部品、() 別途工事を示す。		
					部位	パネル厚		パネル厚	パネル厚				
玄関	防水モルタル金コテ		化粧巾木 木製(タモ材)	50 45	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ)	天井パネルA	20.5	2.425	室名札、<上り框> <木製手摺1型 L=600>	
ホール	床パネルA	12+20	化粧巾木	50	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ)	天井パネルA	20.5	2.425		
食事室	床パネルA	12+20	化粧巾木	50	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ) 妻側:一部天井パネルD	天井パネルA	20.5	2.425	《差圧ダンパー150φ》 クーラー用スリーブ 75φ、ダクト用スリーブ 150φ	
台所	床パネルA	12+20	化粧巾木	50	壁パネルA・壁パネルE	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ) 妻側:一部天井パネルD	天井パネルA	20.5	2.425	《ステンレス水切棚 L=900 W=270 2段》コンロ側ステンレス貼 <カーテンレール ステンレスC型 ダブル SUS430> 《レンジフード》<壁点検口 150×200> 《流し台 (BL-1型) L=1500 (トラップ付)》《吊戸棚 (BL-1型) L=900+600》 《ガス台 (BL-1型) L=700 (バックガード付)》 ステンレス水切カバー L=2235 W=150 <水切カバー下地>	
居室(1) (洋室4.5帖)	床パネルA・床パネルF	12+20 25	化粧巾木	50	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ) 妻側:廊下側:一部天井パネルD	天井パネルA	20.5	2.425	クーラー用スリーブ 75φ (耐火スリーブ、屋外ステンレス製キャップ) 室内固定換気レジスター (100φ、ステンレス防虫網付、屋外ステンレス製) <家具転倒防止付輻照><カーテンレール ステンレスC型 ダブル SUS430>	
居室(2) (洋室5.4帖)	床パネルA・床パネルF	12+20 25	化粧巾木	50	壁パネルA	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ) 廊下側:一部天井パネルD	天井パネルA	20.5	2.425	クーラー用スリーブ 75φ (耐火スリーブ、屋外ステンレス製キャップ) 室内固定換気レジスター (100φ、ステンレス防虫網付、屋外ステンレス製) <家具転倒防止付輻照><カーテンレール ステンレスC型 ダブル SUS430>	
居室(3) (和室6帖)	床パネルB下地(畳敷)、床パネルA	12 25	畳寄せ(単一米揃)	35	壁パネルB	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 珪藻土仕上塗材 (防カビ)	天井パネルA	20.5	2.422	天井換気孔塩ビ50φ(最上階)、室内固定換気レジスター (100φ、ステンレス防虫網付、屋外ステンレス製) <家具転倒防止付輻照><カーテンレール ステンレスC型 ダブル SUS430>	
洗面・脱衣室	床パネルC	12+20	化粧巾木	50	壁パネルC	RC躯体面 間仕切面	15 50	天井パネルB	天井パネルB	15	2.100	<棚取付用積木> <最上階のみ天井点検口 600×600> 《洗面ユニット》《化粧キャビネット》《洗濯機防水パン》 <タオル掛 L=430 (SUS304)> <木製手摺1型 L=600> <カーテンレール L=800 ステンレスC型 SUS430>	
便所	床パネルC	12+20	化粧巾木	50	壁パネルC	RC躯体面 間仕切面	15 50	天井パネルB	天井パネルB	15	2.100	《洋風便器》《ペーパーホルダー》<タオル掛 L=430 (SUS304)> <木製手摺1型 L=600、450> <壁点検口 200×150>	
押入	床パネルE、(下段床パネルD)	35	雑巾摺(単一米揃)		壁パネルD	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し	天井パネルC	15	2.422	<中段・天袋>	
物入	ホール:床パネルE、(下段D) 居室(1)、(2):床パネルG、(下段D)	35	雑巾摺(単一米揃)		壁パネルD	RC躯体面 間仕切面	15 50	合板型枠コンクリート打放し 妻側:一部天井パネルE	天井パネルC	15	2.410	ホール:<中段・枕棚> 居室(1)(2):<可動棚> 居室(2)のみ<壁点検口 600×600>	
浴室	ユニットバスBL1216長寿社会対応B型(別途工事)												
PS・MB	防水モルタル金コテ		合板型枠コンクリート打放し									2.425 1階のみピット換気口50φ	

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	仕上表2	縮尺 A-18
坂口 博文		
検 査 図 面	製 図 設 計	図 面 番 号
	H30年 3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課



1階平面図 1/100

凡例(共通)	
≡	RC壁
≡	LGS下地盤
⊕	粉末消火器 (ABC10型、ブラケット付、表示板付)
+	丸環 SUS製 100φ D-7
⊕	高低差を示す
Ⓜ	消火器設置箇所有効幅員 1250 (消火器寸法: 125mm プラケット: 25mm)
Ⓜ	有効幅員 900以上、踏面240以上、蹴上200以下 手摺 (H=750) を設置
PS・MB EPS	ハイシフト、メーキング内はコンクリート打とする

Ⓜ	特定防火設備 常時閉鎖
Ⓜ	防火設備 網入り鉄筋
⊗	床下点検口 600×600 D-1.9 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
⊗	地下ピット内Y2通 人通りφ600 D-1.6 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
⊗	避難ハッチ 消防検定品 D-1.8

部材	仕様
壁(雑壁)	鉄筋コンクリート造 (t=120以上)
柱	鉄筋コンクリート造
床	鉄筋コンクリート造 (t=150以上)
梁	鉄筋コンクリート造
屋根	鉄筋コンクリート造 (t=180以上)
階段	鉄筋コンクリート造
住戸間壁	鉄筋コンクリート造 (t=180以上) (妻面: t=200以上)

ガス工工事 56建告1099号に基づき施工する
 区画貫通 配管区画貫通部は平成12年建告1422号に基づき施工する
 ※各住戸において外部に面する居室には全て24時間換気用給気口を
 設置する。

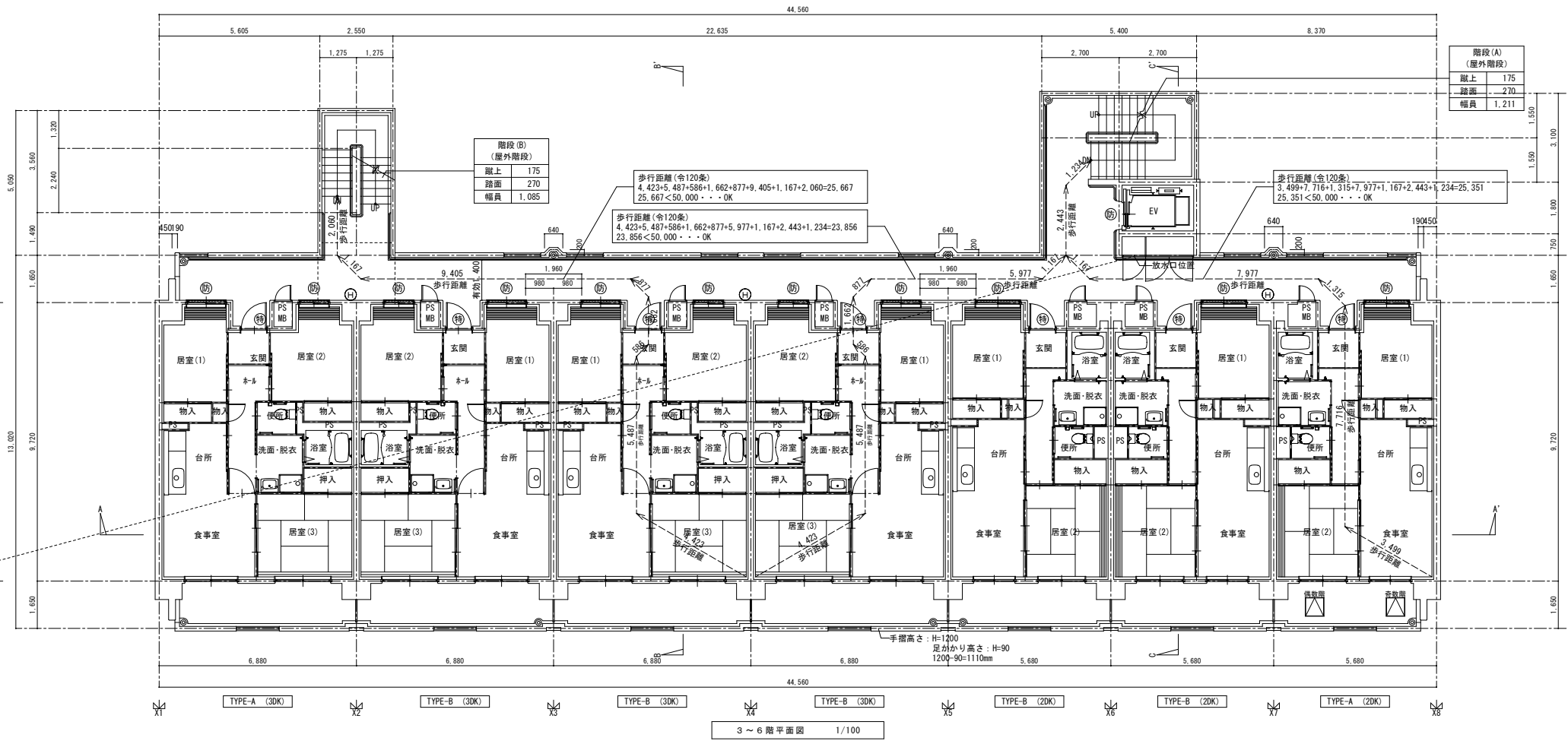
開放下の判定 (1階)
 廊下見付面積: 44.560 x 2.59 = 115.4104㎡
 115.4104 x 1/3 = 38.47㎡
 廊下開口部面積: (44.560 - 5.400 - 2.550) x 1.340 = 49.0574㎡
 49.0574 > 38.47 ∴ OK
 垂壁無し
 開口部高さ: 1.340m ≧ 1.000m

外気に面しない部分の判定
 外気に面しない部分の長さ: 5.400 ≦ 6.000
 外気に面しない部分の幅員: 5.650 ≦ 5.400 x 4 = 21.600

3DK居室(2)採光補正係数Aの検討
 $A = d/h \times \alpha - \beta$ より
 $d = 3.252$ $h = 18.260$
 $\alpha = 8$ $\beta = 1.4$
 $A = 33252 / 18260 \times 6 - 1.4$
 $= 9.5261 \dots$
 $\therefore A = 3$

階段(B)南側3DK居室(2)採光の検討
 床面積: 9.68㎡
 必要採光面積: 9.68 ÷ 7 = 1.382㎡
 開口部面積: 0.635 x 0.95 x 3 = 1.80975㎡
 1.80975 ≧ 1.382 ∴ OK

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	平面図 1	縮尺 A-19
坂口 博文		A1: 1/100 A3: 1/200
製 図	設計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課
図	H30年 3月	



凡例 (共通)	
	RC壁
	LGS下地盤
	粉末消火器 (ABC10型、ブラケット付、表示板付)
	丸型 SUS製 100φ D-7
	高低差を示す
廊下	消火器設置箇所有効幅員 1250 (消火器寸法: 125mm プラット: 25mm)
階段	有効幅員 900以上、踏面240以上、蹴上200以下 手摺 (H=750) を設置
PS・MB EPS	パイクソート、メーキングス内はコンクリート打とする

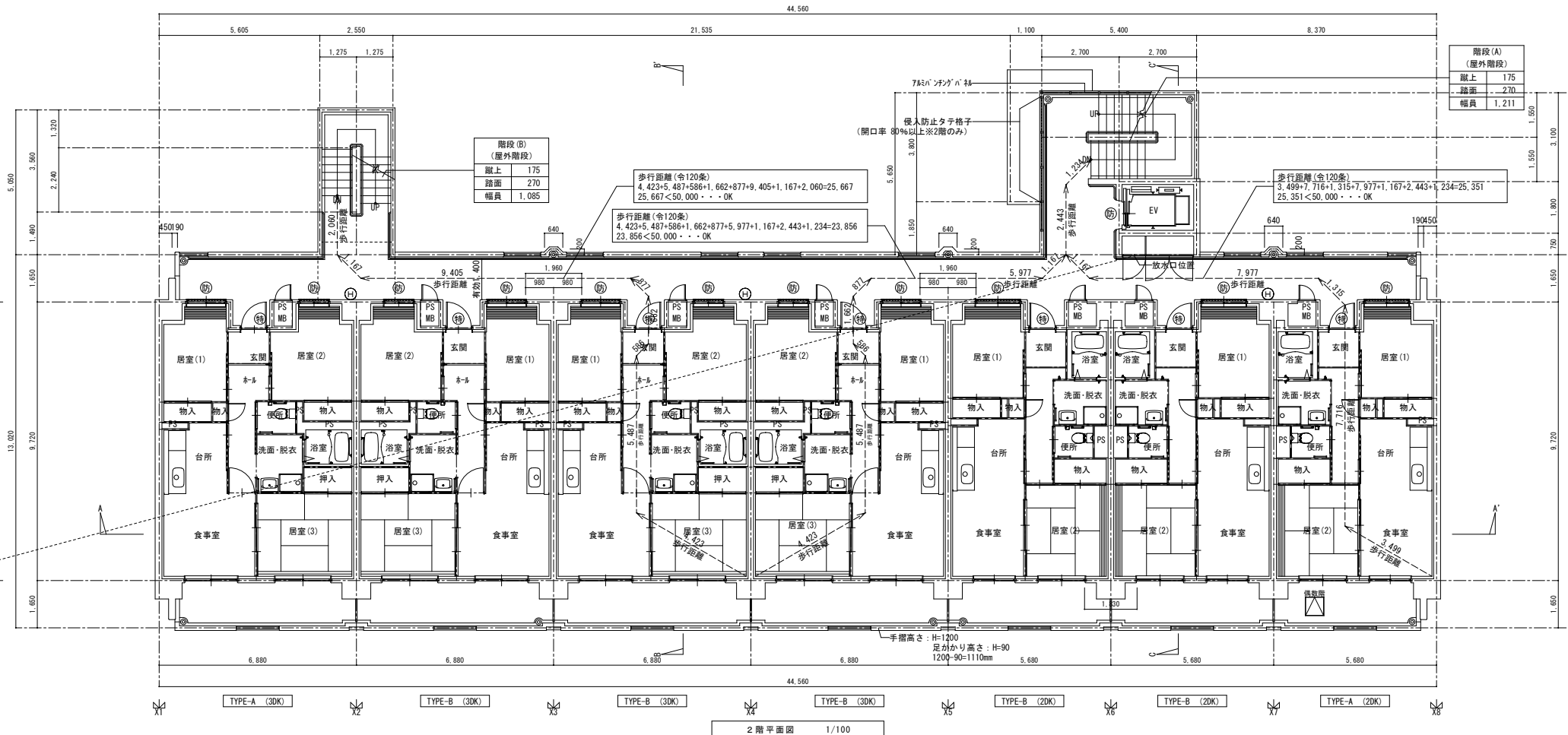
	特定防火設備 常時閉鎖
	防火設備 網入り鉄線
	床下点検口 600×600 D-1.5 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
	地下ピット内Y2通 人通りφ600 D-1.6 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
	避難ハッチ 消防検定品 D-1.8

部材	仕様
壁(雑壁)	鉄筋コンクリート造 (t=120以上)
柱	鉄筋コンクリート造
床	鉄筋コンクリート造 (t=150以上)
梁	鉄筋コンクリート造
屋根	鉄筋コンクリート造 (t=180以上)
階段	鉄筋コンクリート造
住戸間壁	鉄筋コンクリート造 (t=180以上) (妻面: t=200以上)

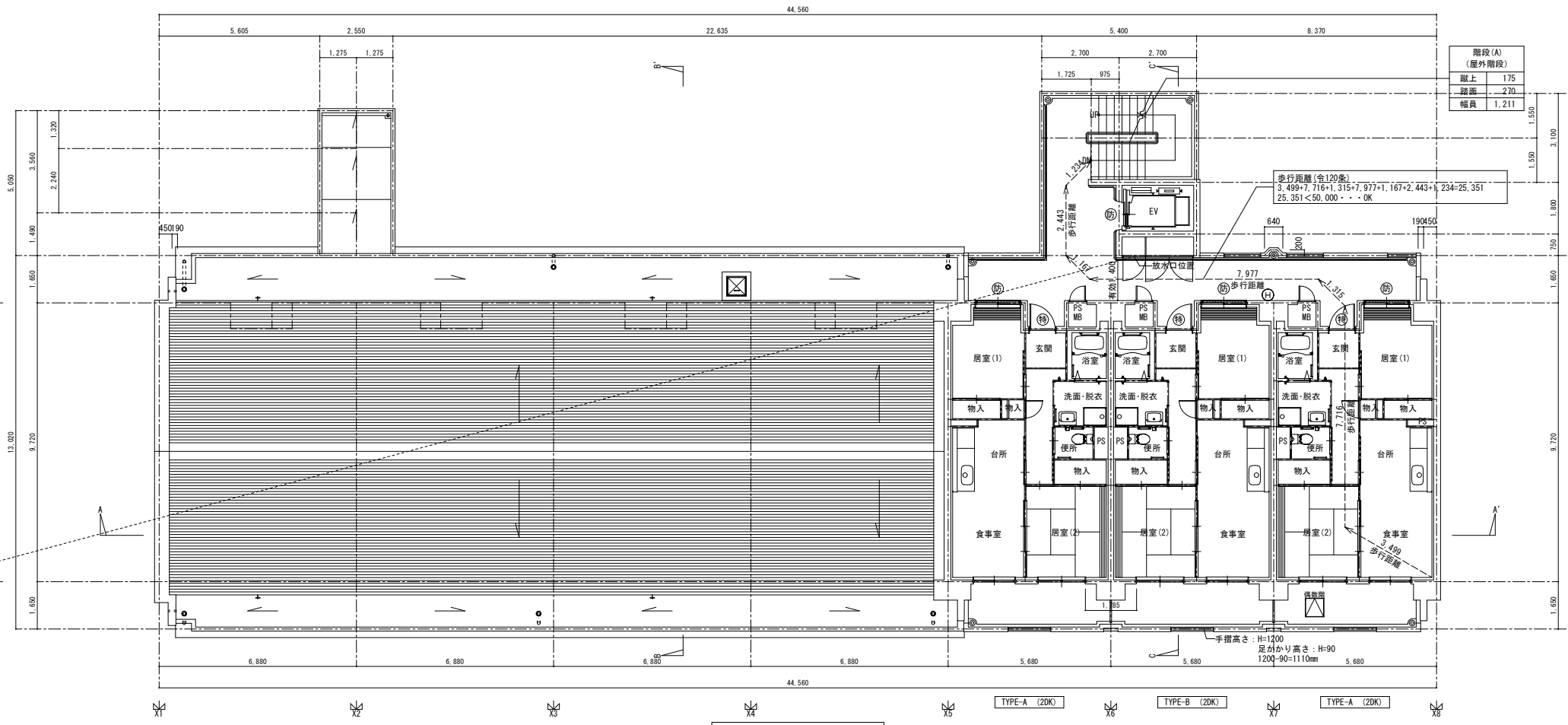
ガス工事 56建号109号に基づき施工する
 区画貫通 配管区画貫通部は平成12年建築142号に基づき施工する
 ※各住戸において外部に面する居室には全て24時間換気用給気口を設置する。

開放廊下の判定 (2~6階)
 廊下見付面積: 44.560 × 2.59 = 115.4104㎡
 115.4104 × 1/3 = 38.47㎡
 廊下開口部面積: (44.560 - 5.400 - 2.550) × 1.340 = 49.0574㎡
 49.0574 > 38.47㎡ ∴ OK
 垂壁無し
 開口部高さ: 1.340m ≥ 1.000m

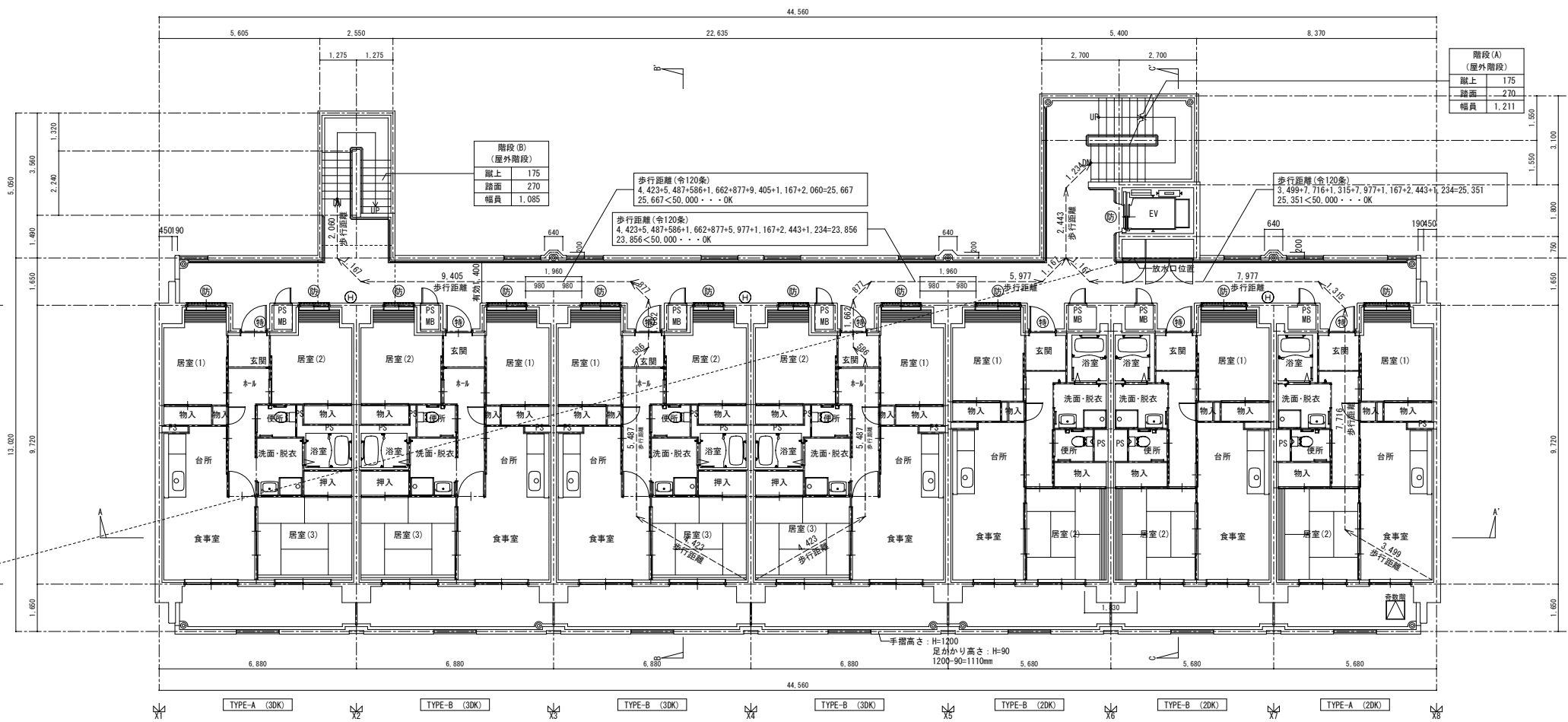
外気に面しない部分の判定
 外気に面しない部分の長さ: 5.400 ≤ 6.000
 外気に面しない部分の幅員: 5.650 ≤ 5.400 × 4 = 21.600



株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	平面図 2	縮尺 A-20
坂口 博文		A1: 1/100 A3: 1/200
製 図	設計	家知県建築局公共建築部公営住宅課
図	H30年 3月	



8階平面図 1/100



7階平面図 1/100

凡例(共通)	
—	RC壁
—	LGS下地盤
⊕	粉末消火器(ABC10型、ブラケット付、表示板付)
+	丸環 SUS製 100φ D-7
⊕	高低差を示す
廊下	消火器設置箇所有効幅員 1250 (消火器寸法: 125mm プラケット: 25mm)
階段	有効幅員 900以上、踏面240以上、蹴上200以下 手摺(H=750)を設置
PS・MB EPS	パイクソフ、メーキングス内はコンクリート打とする

⊕	特定防火設備 常時閉鎖
⊕	防火設備 網入梯子
⊗	床下点検口 600×600 D-1.9 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
⊕	地下ピット内Y2通 人通り口φ600 D-1.6 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
⊗	避難ハッチ 消防検定品 D-1.8

部材	仕様
壁(雑壁)	鉄筋コンクリート造 (t=120以上)
柱	鉄筋コンクリート造
床	鉄筋コンクリート造 (t=150以上)
梁	鉄筋コンクリート造
屋根	鉄筋コンクリート造 (t=180以上)
階段	鉄筋コンクリート造
住戸間隔壁	鉄筋コンクリート造 (t=180以上) (妻面: t=200以上)

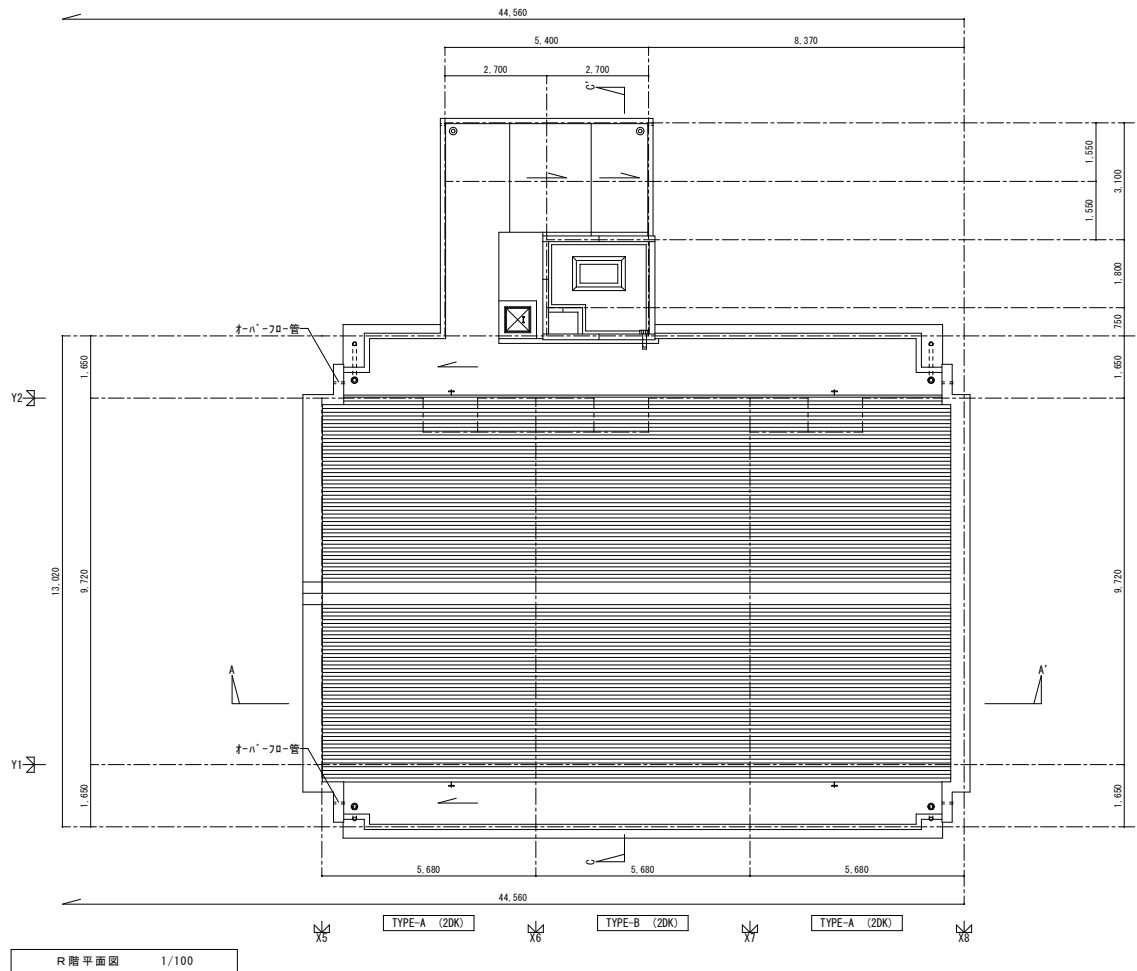
ガス管工事 56建号1099号に基づき施工する
 区画貫通 配管区画貫通部は平成12年建築1422号に基づき施工する
 ※各住戸において外部に面する居室には全て24時間換気用給気口を設置する。

開放廊下の判定 (2~7階)
 廊下見付面積: 44,560 × 2.59 = 115,410.4㎡
 115,410.4 × 1/3 = 38,470㎡
 廊下開口部面積: (44,560 - 5,400 - 2,550) × 1.340 = 49,057.4㎡
 49,057.4 ≥ 38,470...OK
 垂壁無し
 開口部高さ: 1,340mm ≥ 1,000mm

外気に面しない部分の判定
 外気に面しない部分の長さ: 5,400 ≤ 6,000
 外気に面しない部分の幅員: 5,650 ≤ 5,400 × 4 = 21,600

開放廊下の判定 (8階)
 廊下見付面積: 17,040 × 2.59 = 44,133.6㎡
 44,133.6 × 1/3 = 14,711.2㎡
 廊下開口部面積: (17,040 - 3,675) × 1.340 = 17,909.1㎡
 17,909.1 ≥ 14,711.2...OK
 垂壁無し
 開口部高さ: 1,340mm ≥ 1,000mm

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事(第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	平面図3	縮尺 A-21 A1: 1/100 A3: 1/200
坂口 博文	設計	
製 図	H30年 3月	家知県建築局公共建築部公営住宅課



凡例(共通)	
	RC壁
	LGS下地壁
	粉末消火器 (ABC10型、ブラケット付、表示板付)
	丸網 SUS製 100φ D-7
	高低差を示す
廊下	消火器設置箇所有効幅員 1250 (消火器寸法: 125mm プラケット: 25mm)
階段	有効幅員 900以上、踏面240以上、蹴上200以下 手摺 (H=750) を設置
PS・MB EPS	パイクソト、メーボックス内はコンクリート打とする

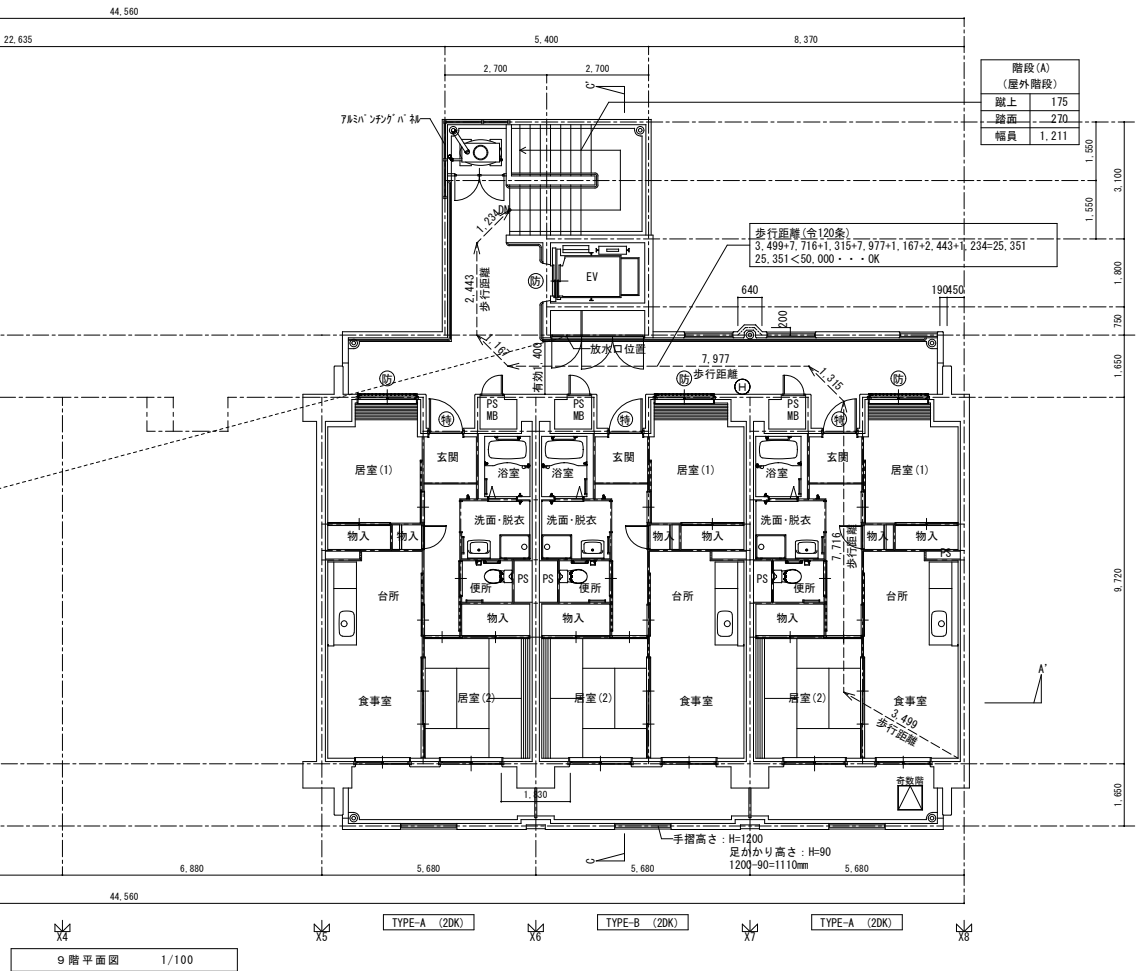
	特定防火設備 常時閉鎖
	防火設備 網入り
	床下点検口 600×600 D-1.5 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
	地下ピット内Y2通 人通りφ600 D-1.6 (設置位置については設備配管経路を考慮する事)
	避難ハッチ 消防検定品 D-1.8

壁(雑壁)	鉄筋コンクリート造 (t=120以上)
柱	鉄筋コンクリート造
床	鉄筋コンクリート造 (t=150以上)
梁	鉄筋コンクリート造
屋根	鉄筋コンクリート造 (t=180以上)
階段	鉄筋コンクリート造
住戸間壁	鉄筋コンクリート造 (t=180以上) (妻面: t=200以上)

ガス管工事 56建109号に基づき施工する
 区画貫通 配管区画貫通部は平成12年建築1422号に基づき施工する
 ※各住戸において外部に面する居室には全て24時間換気用給気口を
 設置する。

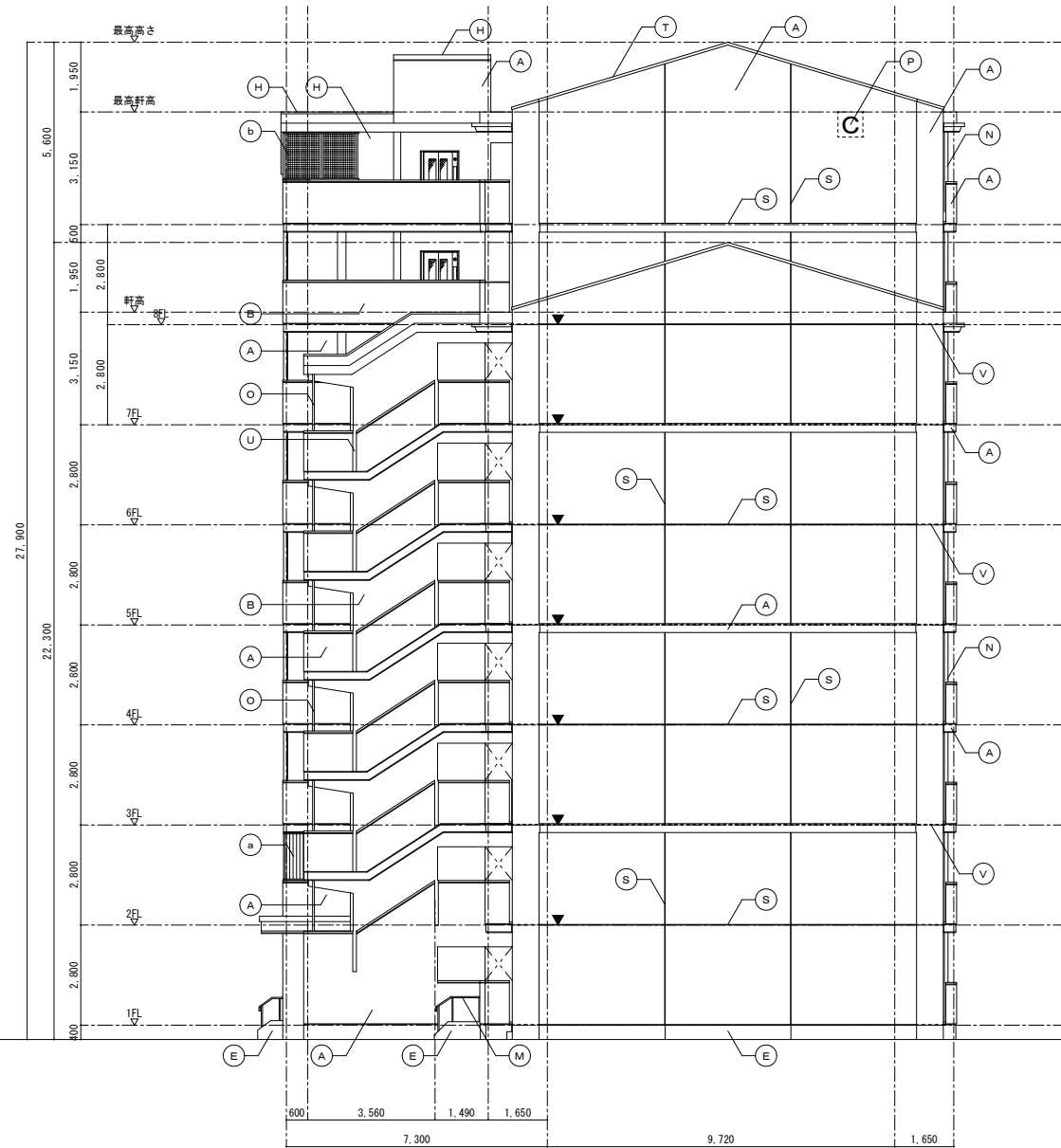
開放廊下の判定 (9階)
 廊下見付面積: 17,040 × 2.59 = 44,1336㎡
 44,1336 × 1/3 = 14,7112㎡
 廊下開口部面積: (17,040 - 5.4) × 1.340 = 15,5976㎡
 15,5976 ≥ 14,7112 ∴ OK
 垂壁無し
 開口部高さ: 1,340mm ≥ 1,000mm

外気に面しない部分の判定
 外気に面しない部分の長さ: 5,400 ≤ 6,000
 外気に面しない部分の幅員: 5,650 ≤ 5,400 × 4 = 21,600

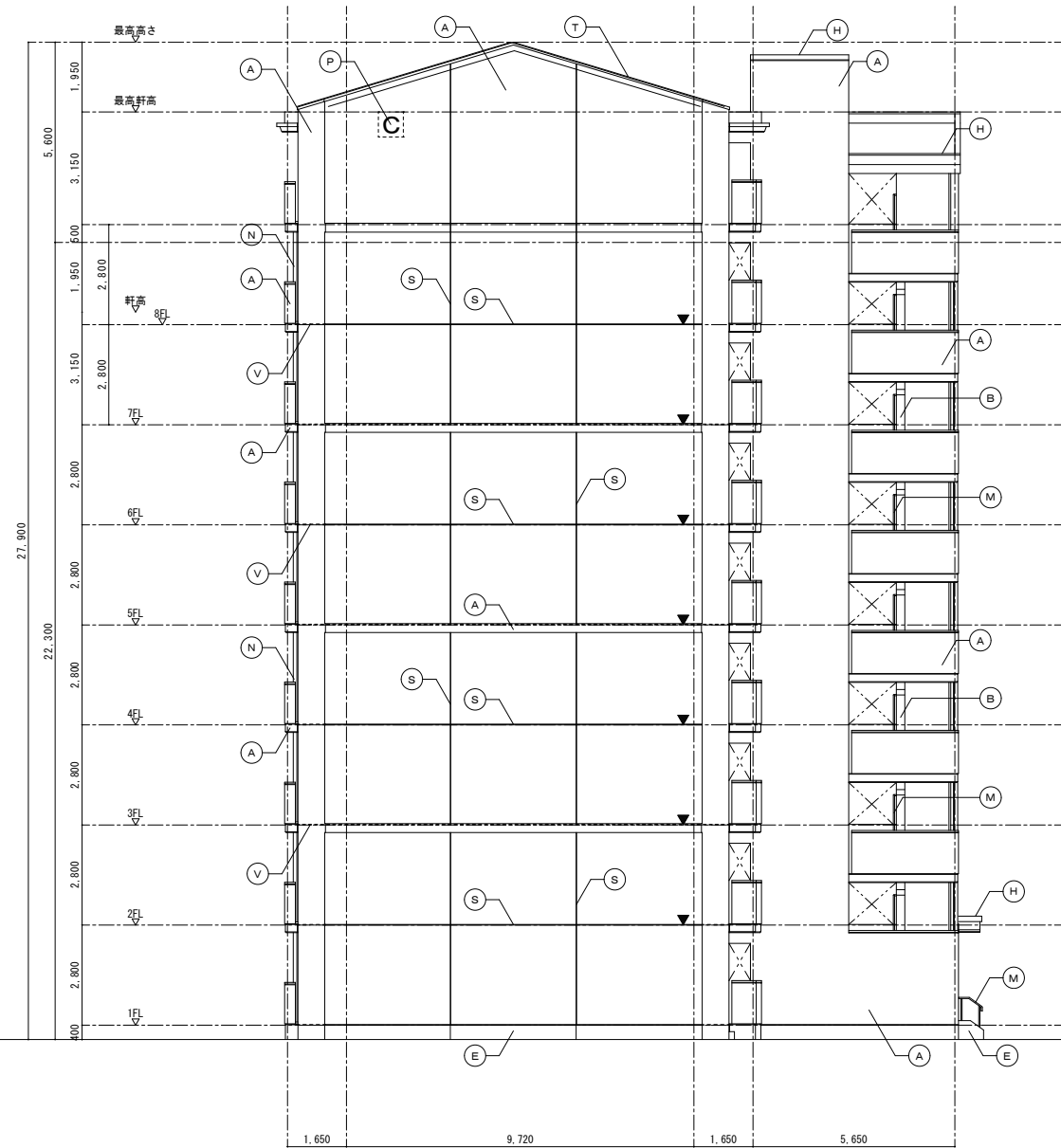


階段(A) (屋外階段)	
蹴上	175
踏面	270
幅員	1,211

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	平面図 4	縮尺 A-2.2
坂口 博文		A1: 1/100 A3: 1/200
検 製 図	設 計	2020年 3月
愛知県建築局公共建築部公営住宅課		



西立面図 1/100

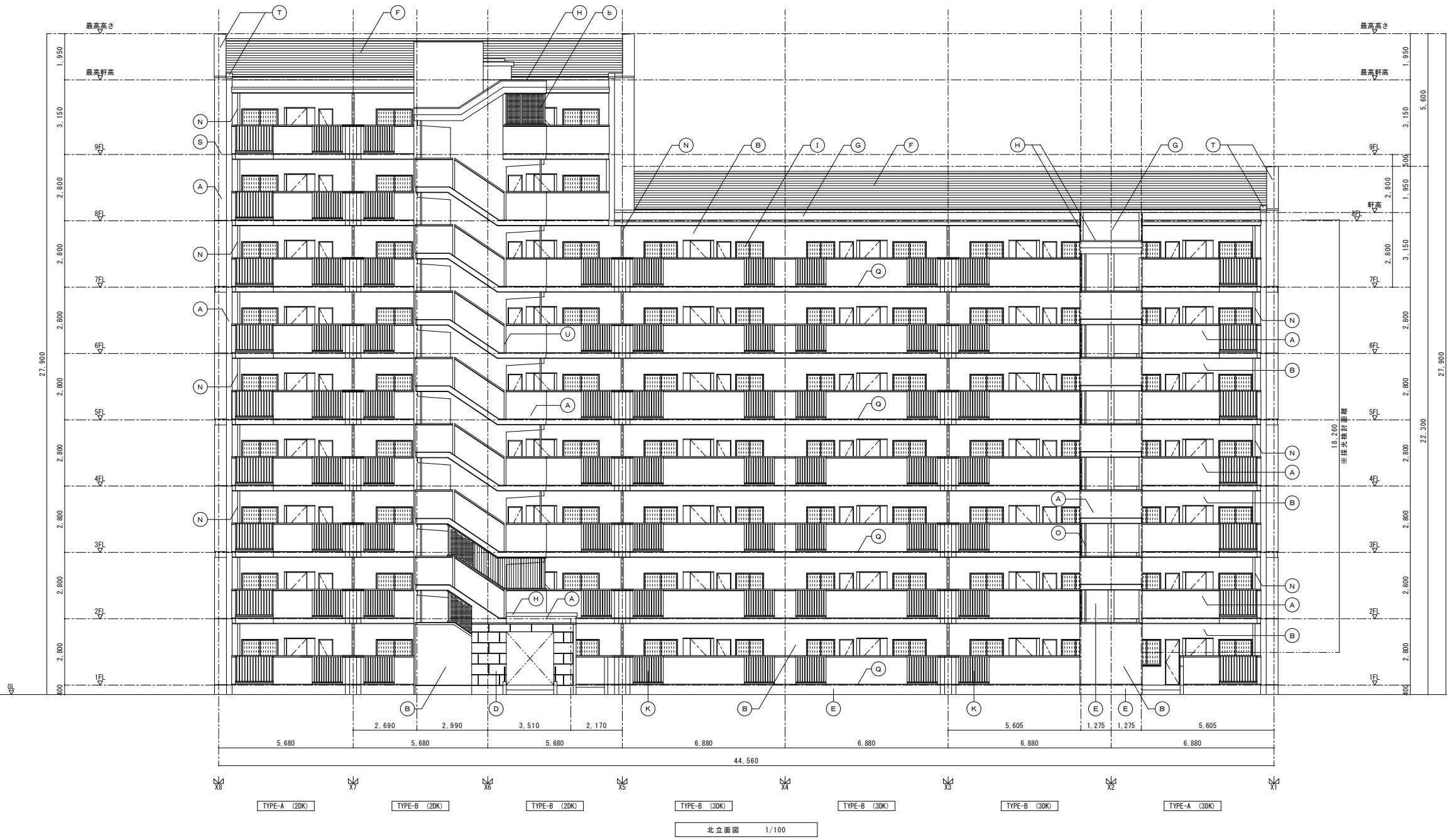


東立面図 1/100

記号	仕上り	記号	仕上り	記号	仕上り	記号	仕上り
(A)	合板型枠コンクリート打放し 複層塗材E	(I)	7&3製面格子 D-21	(Q)	打麗目地#20 D-28	(Y)	《換気扇7-ド》
(B)	合板型枠コンクリート打放し 複層塗材SI	(J)	7&3製手摺 (7&3格子 1階のみ7&3ハンダグ 9&3張)	(R)	ハ&2-隔壁板 D-13	(Z)	《差圧ハンダグ-φ150》
(C)	合板型枠コンクリート打放し 外装薄塗材E	(K)	7&3製廊下手摺 (好格子)	(S)	化粧目地#30 D-41	(a)	7&3製進入防止柵 D-22
(D)	合板型枠コンクリート打放し目地切 自然石頭吹付	(L)	7&3製物干金物 D-5	(T)	7&3製笠木 (避雷設備兼用) D-42	(b)	7&3製ハンダグ D-39
(E)	合板型枠コンクリート打放し目地切	(M)	ステン製手摺φ34 D-9	(U)	スリット#80	▼	打麗目地 (水平打麗ハンダグ)
(F)	7&3製ハンダグ&3葺	(N)	硬質塩化ビニル管 (VP管) 5&3-φ100 D-8	(V)	4&3目地 (ハンダグの上 各仕上材) D-41		
(G)	外装系塗膜防水	(O)	硬質塩化ビニル管 (VP管) 5&3-φ75 D-6	(W)	換気ハンダグφ100 D-11		
(H)	7&3製木 D-25	(P)	様番号札 D-6	(X)	ハンダグ用XV-φ75 D-12		

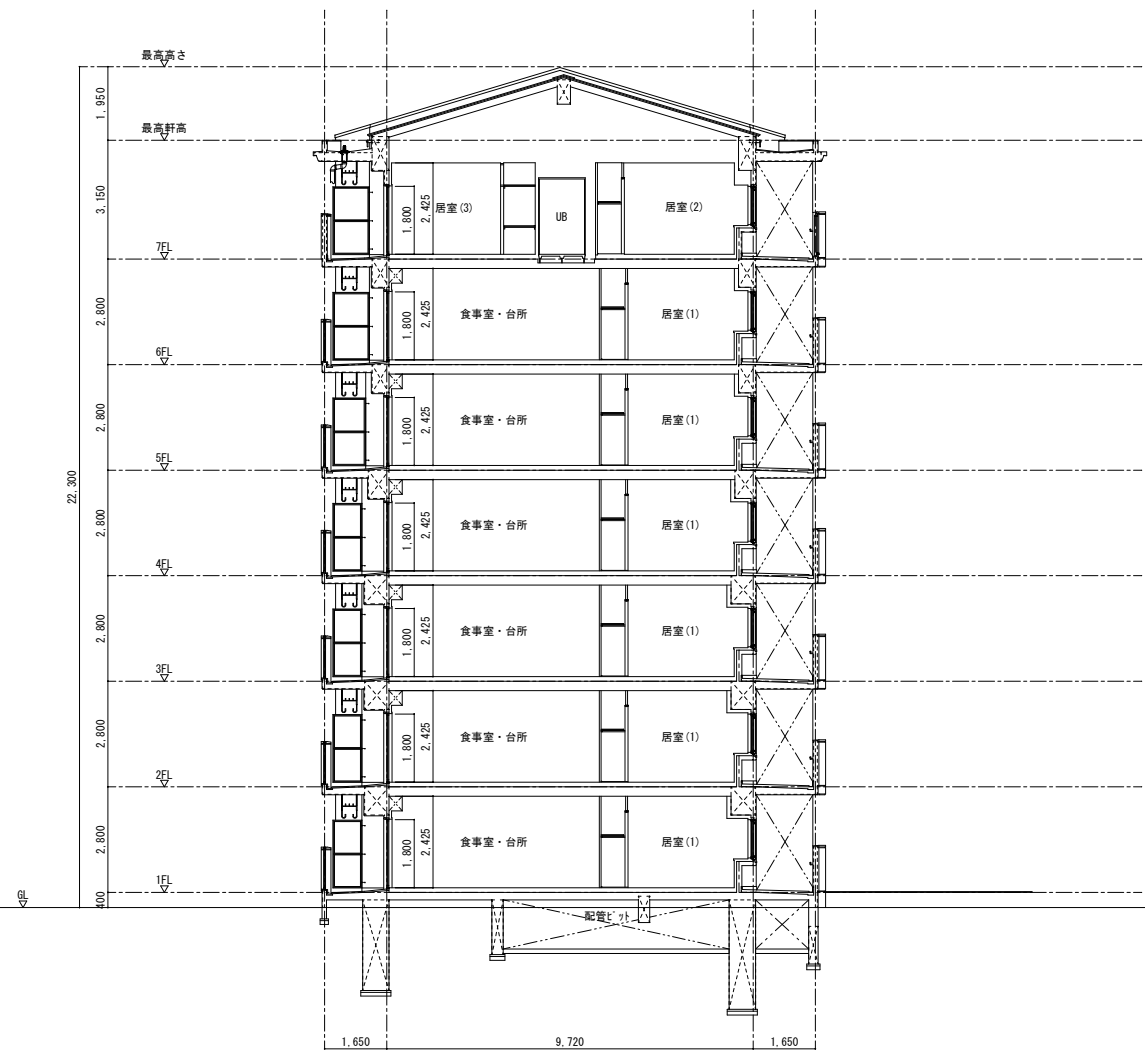
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	立面図 2	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
坂口 博文	設計 H30年 3月	A-24
愛知県建築局公共建築部公営住宅課		

() は別途工事を示す。

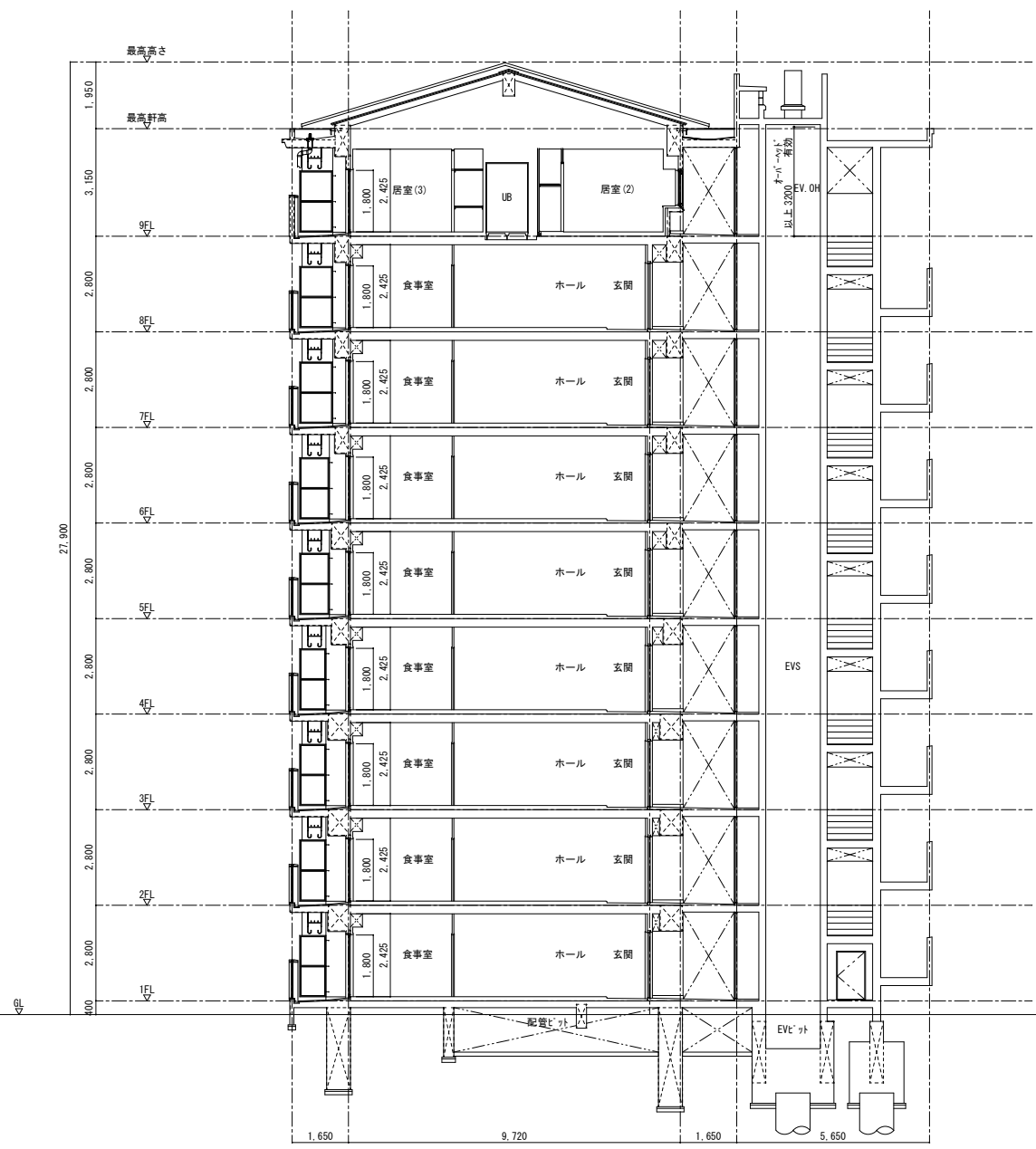


記号	仕上り	記号	仕上り	記号	仕上り	記号	仕上り
A	合板型枠コンクリート打放し 複層塗材E	I	7ö製面格子 D-21	Q	打腫目地#20 D-28	Y	《換気扇フット》
B	合板型枠コンクリート打放し 複層塗材Si	J	7ö製手摺 (7ö格子 1階のみ7öハンダグ 9ö張) D-16	R	ハö-隔壁板 D-13	Z	《差圧ハンダグ-φ150》
C	合板型枠コンクリート打放し 外装薄塗材E	K	7ö製廊下手摺 (9ö格子) D-18	S	化粧目地#30 D-41	a	7ö製進入防止柵 D-22
D	合板型枠コンクリート打放し目地切 自然石調吹付	L	7ö製物干金物 D-5	T	7ö製笠木 (避雷設備兼用) D-42	b	7ö製ハンダグ D-39
E	合板型枠コンクリート打放し目地切	M	ステンö製手摺φ34 D-9	U	スリット#80	▼	打腫目地 (水平打腫スリット)
F	7ö製ハンダグö葺	N	硬質塩化ビö管 (VP管) 9ö-φ100 D-8	V	スリ目地 (ハンダグの上 各仕上材) D-41		
G	外装系塗膜防水	O	硬質塩化ビö管 (VP管) 9ö-φ75	W	換気ダクトφ100 D-11		
H	7ö製木 D-25	P	複層号札 D-6	X	ハンダグ用スリットφ75 D-12		

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	立面図 3	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 A-25
坂口 博文		
検 製 設 計	昭和30年 3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課

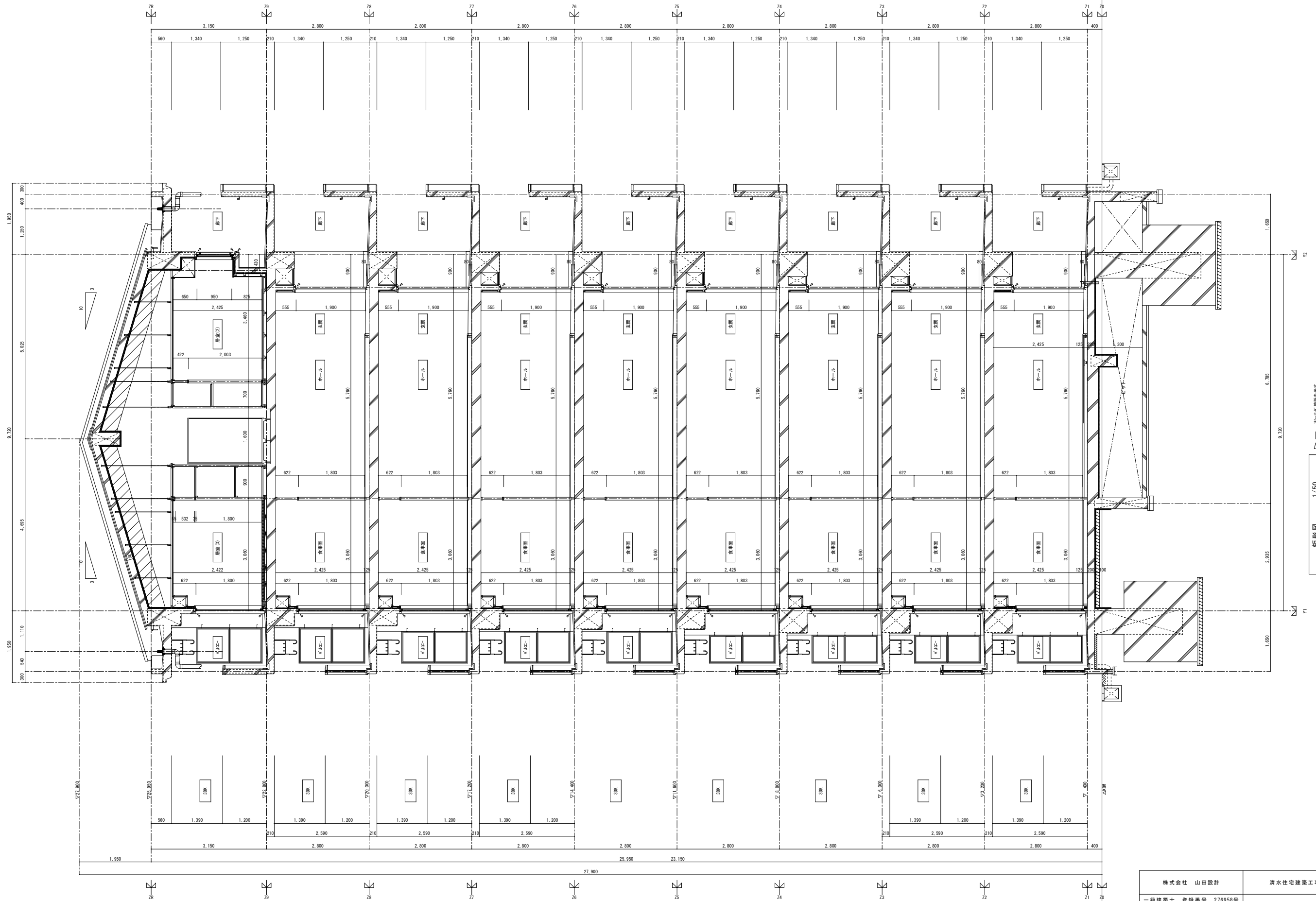


B-B' 断面図 1/100



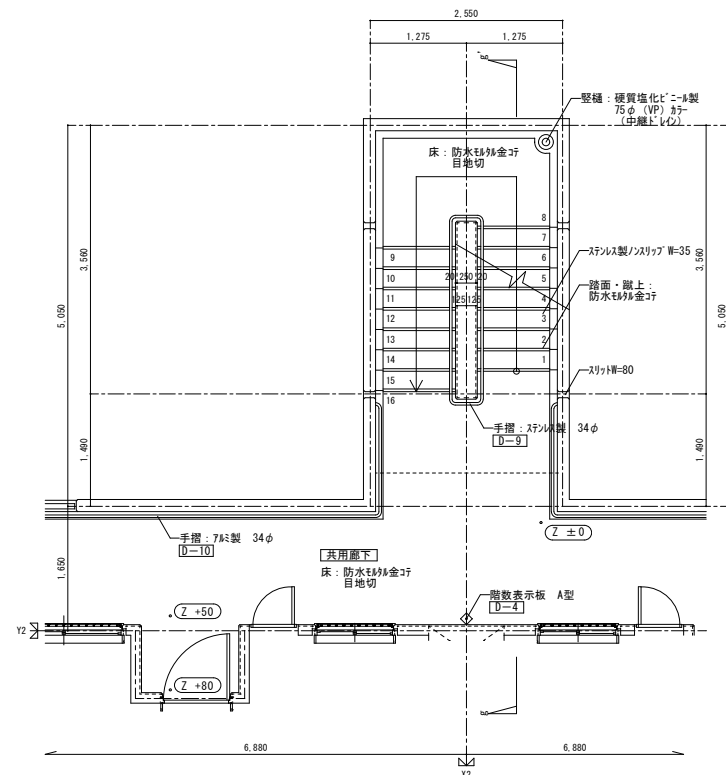
C-C' 断面図 1/100

株式会社 山田設計		清水住宅建築工事 (第6工区)		図面番号
一級建築士 登録番号 276958号		断面図 2		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
坂口 博文				
検 図	製 図	設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
		H30年 3月		

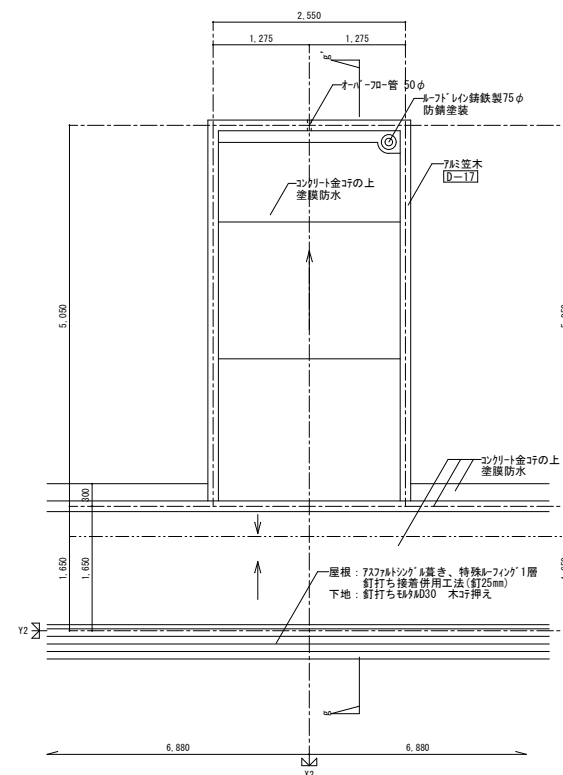


矩形図 1/50

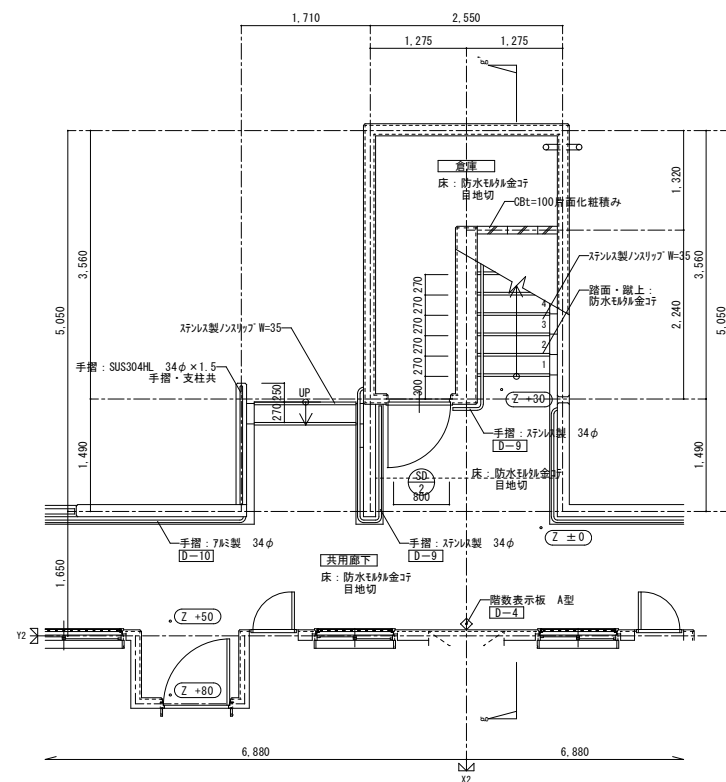
株式会社 山田設計		清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号		矩計図	A-28
坂口 博文		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	
検 図	製 図	設 計 H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課



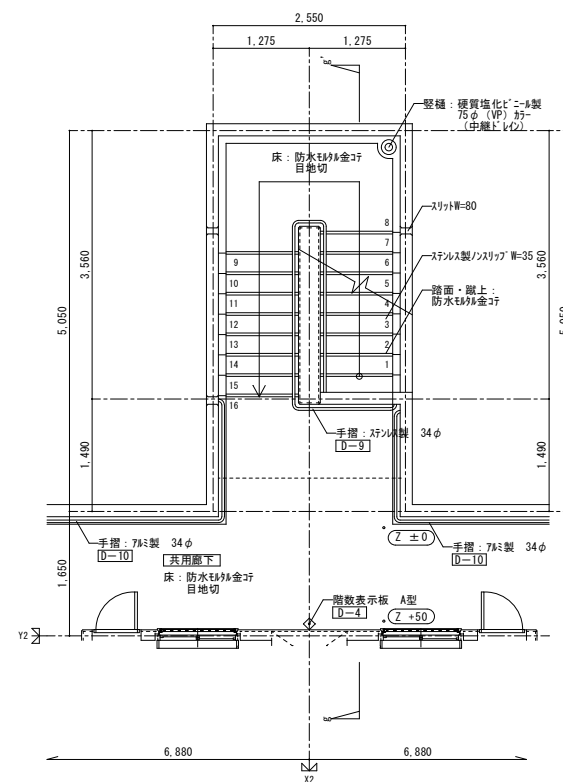
階段B 2~6階平面詳細図 1/50



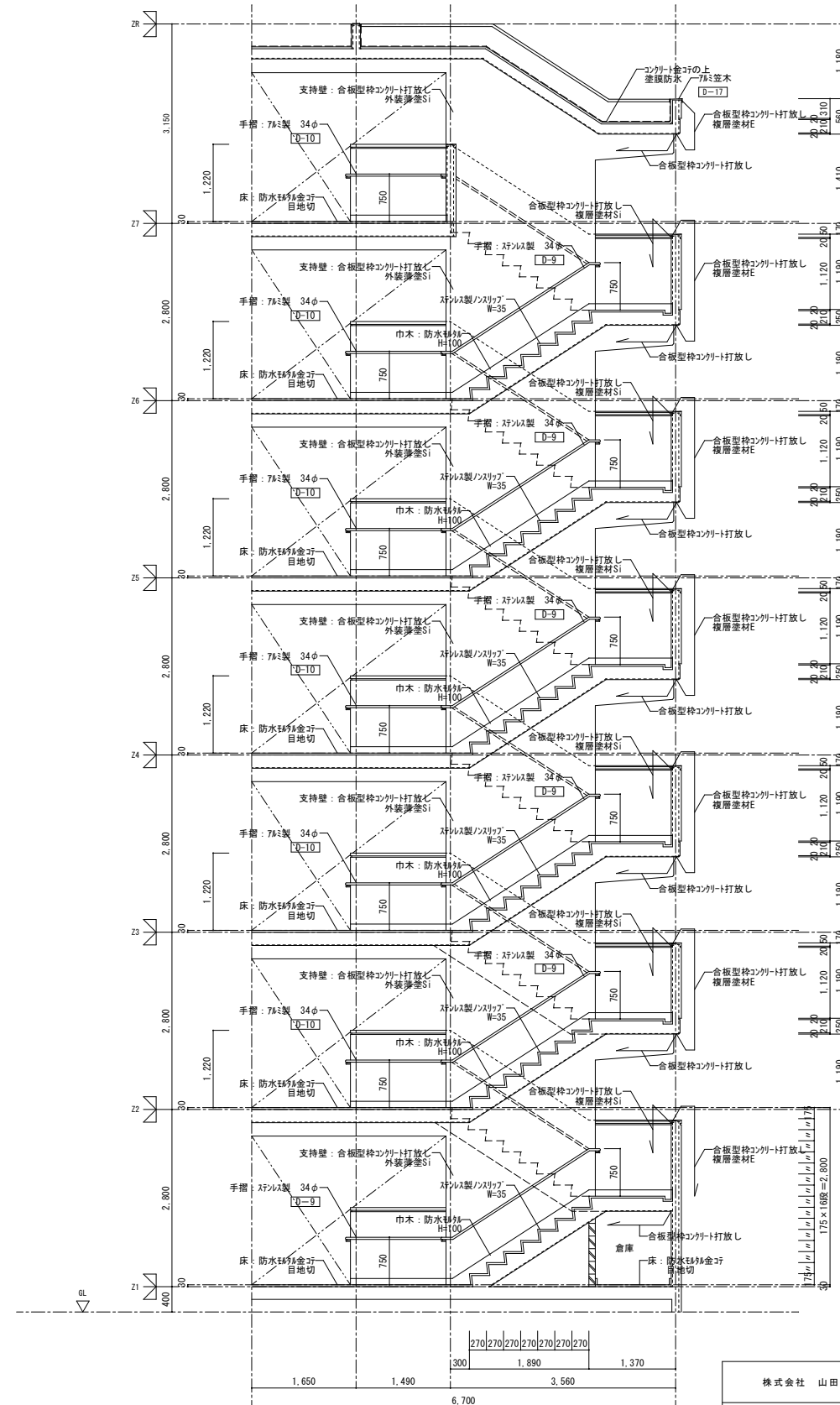
階段B 屋根伏図 1/50



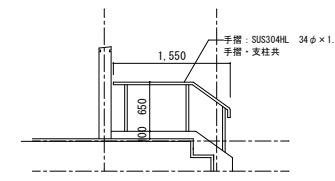
階段B 1階平面詳細図 1/50



階段B 7階平面詳細図 1/50

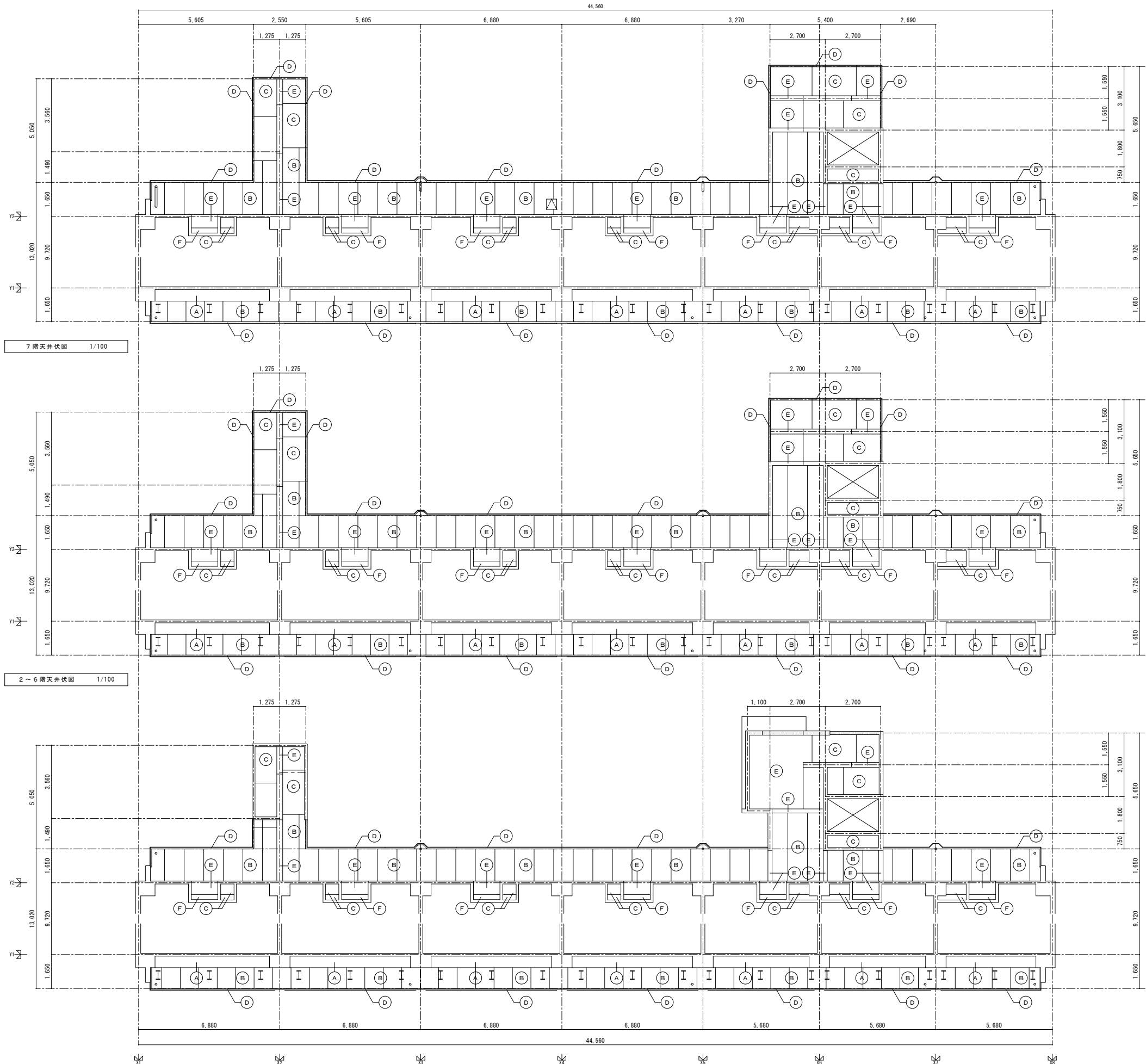


e-e' 断面詳細図 1/50



階段B エントランス断面詳細図 1/50

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	階段(B)平面・断面詳細図	A-32
坂口 博文	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100
検 製 設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
図 園 H	30年 3月	



7階天井伏図 1/100

2~6階天井伏図 1/100

1階天井伏図 1/100

符号	仕上
(A)	合板型枠コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E
(B)	合板型枠コンクリート打放し 目地切仕上
(C)	合板型枠コンクリート打放し仕上
(D)	合板型枠コンクリート打放しの上 複層塗材 E
(E)	合板型枠コンクリート打放しの上 複層塗材 S i
(F)	ケイカル板 t=6.0 目透かし貼 複層塗材 S i (LGS下地)

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	天井伏図 1	縮尺 A-33
坂口 博文		A1: 1/100 A3: 1/200
検 査	製 図	設 計
		H30年 3月
愛知県建築局公共建築部公営住宅課		

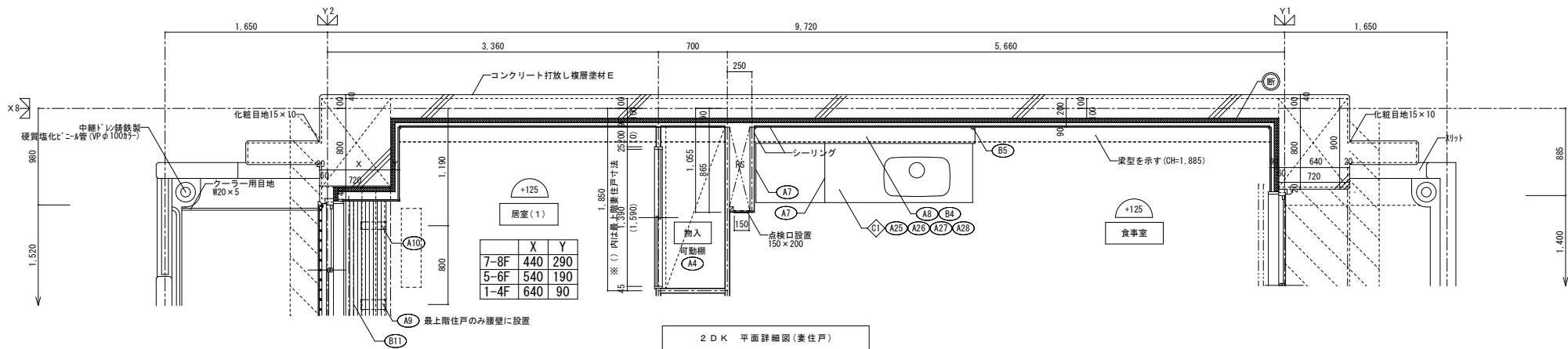


9階天井伏図 1/100

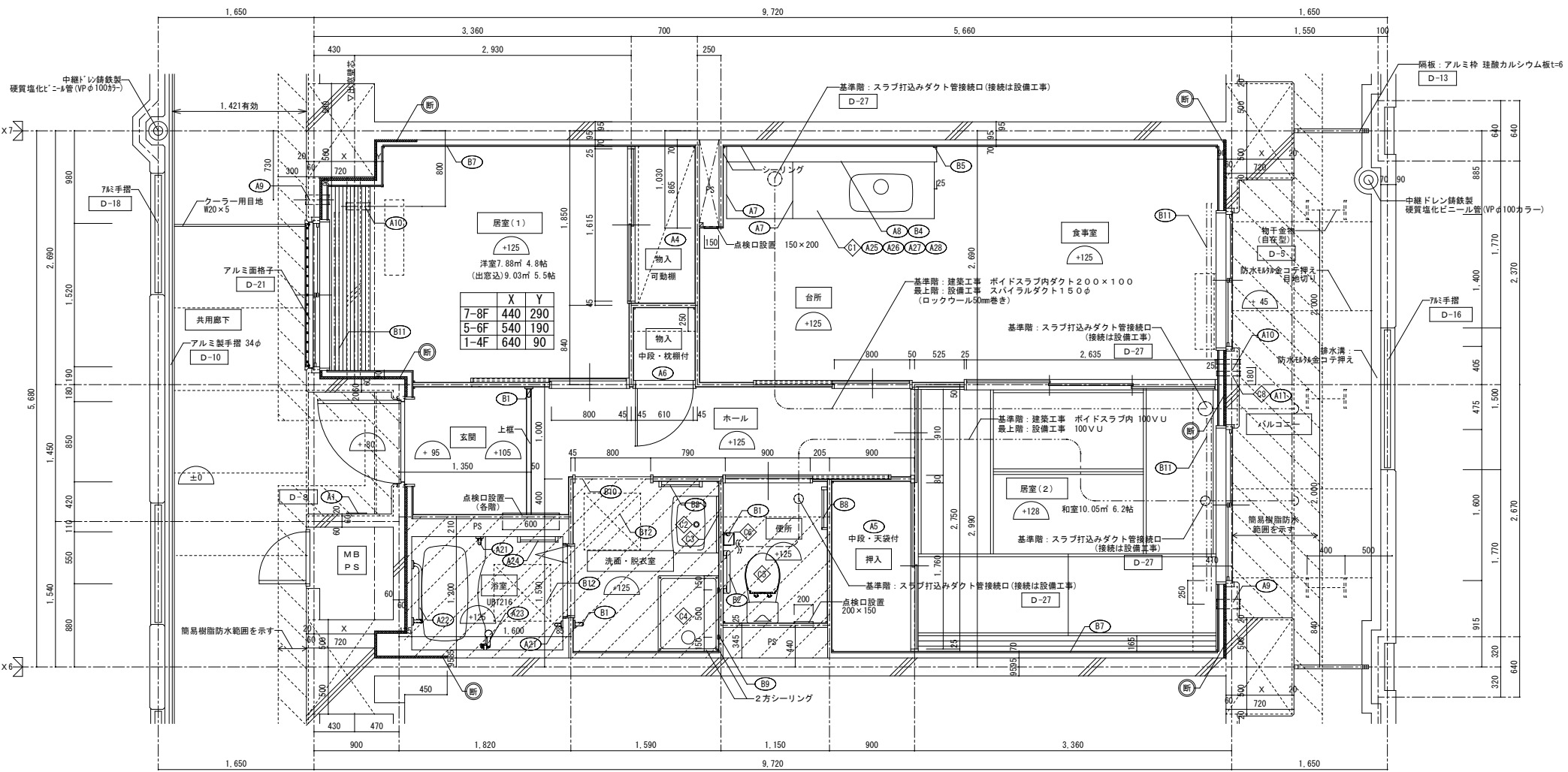
8階天井伏図 1/100

符号	仕上
(A)	合板型枠コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E
(B)	合板型枠コンクリート打放し 目地切仕上
(C)	合板型枠コンクリート打放し仕上
(D)	合板型枠コンクリート打放しの上 複層塗材 E
(E)	合板型枠コンクリート打放しの上 複層塗材 S i
(F)	ケイカル板 t=6.0 目透かし貼 複層塗材 S i (LGS下地)

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	天井伏図 2	縮尺 A-34
坂口 博文		A1: 1/100 A3: 1/200
検 査	製 図	設 計
		H30年 3月
愛知県建築局公共建築部公営住宅課		



2DK 平面詳細図 (妻住戸)

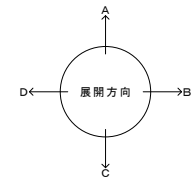


2DK 平面詳細図 (中住戸)

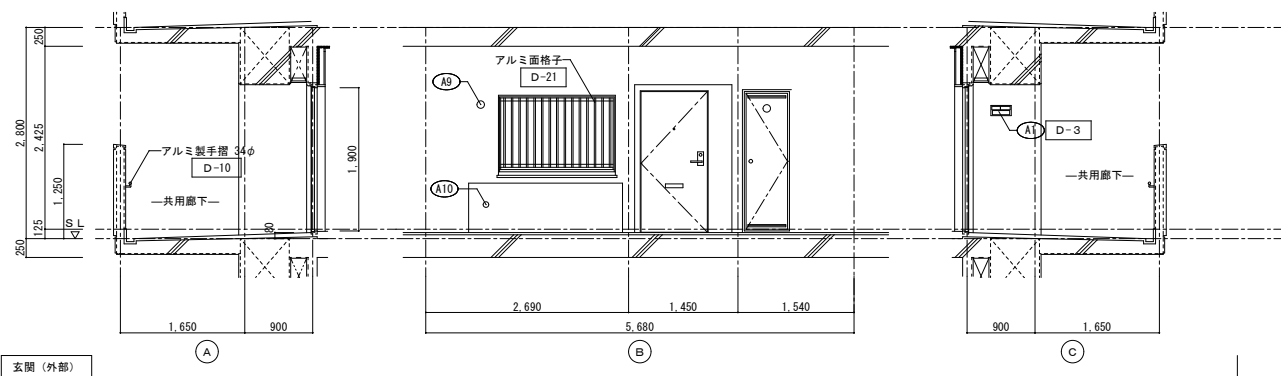
仕上凡例					
部位	仕上	2DK	2DKS	3DK	4DK
壁	硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=25 (下記以外)				
	硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=45 (妻住戸の2F~最上階 最下階中住戸)				
	硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=35 (最上階中住戸)				
	硬質ウレタンフォーム吹付現場発泡 (A種1H) t=50 (妻住戸最下階)				
内装部材	B1 (木製手摺 L=600 1型 35φ)				
	B2 (木製手摺 L=450 1型 35φ)				
	B3 (木製ベンチ 600x360 t=30 CL)				
	B4 (水切下地)	D-35			
	B5 (木見切 15x35)				
	B6				
	B7 (転倒防止付輪縁 20x65)				
	B8 (タオル掛 L=430 SUS304)				
	B9 (欄取付用桝木 20x40)				
	B10 (カーテンレール L=800 ステンレスC型 SUS430)				
	B11 (カーテンレール ステンレスC型ダブル SUS430)				
	B12 (天井点検口 アルミ枠600角 (最上階のみ設置))				
	B13 (トイレ用手摺 はね上げ式 (青もたれ付))				
	B14 (補助木製手摺 1型 35φ)				
備考	A1 室名札 アルミ製	D-3			
	A2 ステンレス製手摺 L=600 1型 34φ				
	A3 新開窓 W150xH200 SUS304	D-5			
	A4 (可動欄)				
	A5 (中段 天袋)				
	A6 (中段 枕欄)				
	A7 コンロ台側面 t=0.6 SUS304	D-34			
	A8 水切カバー t=0.6 W=150 SUS304	D-33			
	A9 換気用レジスター 100φ (ステンレス防虫網付)	D-11			
	A10 クーラー用スリーブ 75φ	D-12			
	A11 換気用スリーブ 150φ (差圧用)				
	A12 (ライニング・枕欄)				
別添工事	◇1 レンジ用フードファン (浅型)				
	◇2 洗面器ユニット				
	◇3 化粧キャビネット				
	◇4 洗濯機防水パン				
	◇5 洋風便器				
	◇6 ペーパーホルダー SUS304				
	◇7 洗面器ユニット (オープンタイプ)				
	◇8 差圧ダンパー 150φ A11	D-27			
その他	A21 握りバー L=500 1型 28φ 樹脂コーティング				
	A22 握りバー L=600x700 L型 28φ 樹脂コーティング				
	A23 スライドバー (手摺兼用無段階シャワーフック付)				
	A24 タオル掛け L=400 SUS304				
	A25 流し台 (BL・1型) L=1500 トラップ付	D-34			
	A26 コンロ台 (BL・1型) L=700 バックガード付	D-34			
	A27 吊戸棚 (BL・1型) L=900+600	D-34			
	A28 水切欄 L=900 W=270 SUS304 2段	D-34			
<p>の部分はスラブ、SL-100下げの部分を示す。</p> <p>※点検口設置 F.Lより+1.200 (便所)、+700 (台所) に点検口設置</p> <p>< > は内装部品を示す</p> <p>◁ 打ち継ぎ部シール</p> <p>D- 部分詳細仕上記号を示す。図面番号に合う。</p>					

室名	床面積	必要面積	有効面積	判定
食事室・台所	5.66 x 2.69 = 15.225	採光 1/7 2.139	1.40 x 1.80 = 2.520	OK
	▲0.25 x 1.030 = ▲0.257	換気 1/20 0.749	1.40 x 1.80 x 1/2 = 1.260	OK
居室(1)	3.36 x 2.69 = 9.038	採光 1/7 1.29	1.52 x 0.95 = 1.444	OK
	計 9.03	換気 1/20 0.451	1.52 x 0.95 x 1/2 = 0.722	OK
居室(2)	3.36 x 2.99 = 10.046	採光 1/7 1.436	1.60 x 1.80 = 2.880	OK
	計 10.05	換気 1/20 0.503	1.60 x 1.80 x 1/2 = 1.440	OK

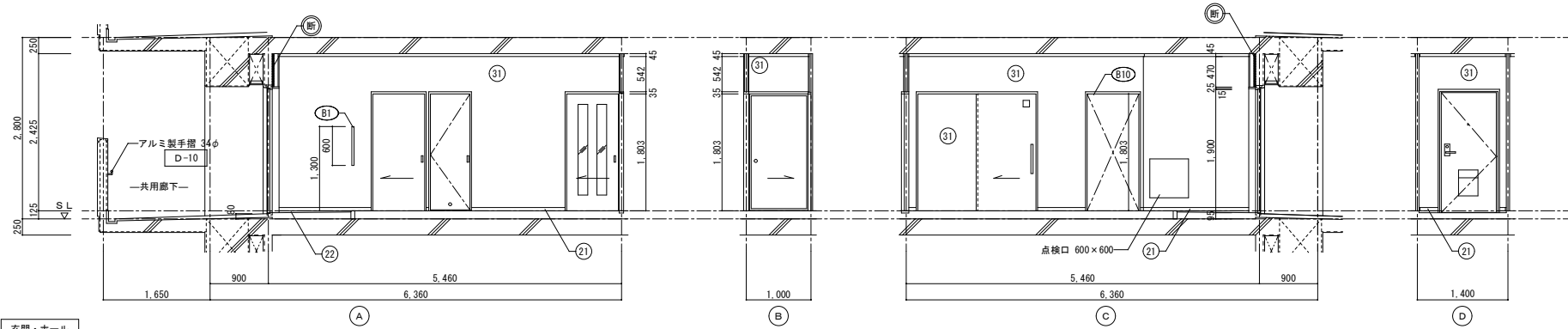
※排煙設備は、令第126条の2第1項一号により不要。
 ※廊下側：クーラー用スリーブ用キャップ (耐火キャップマンションタイプ (耐火シール同梱))



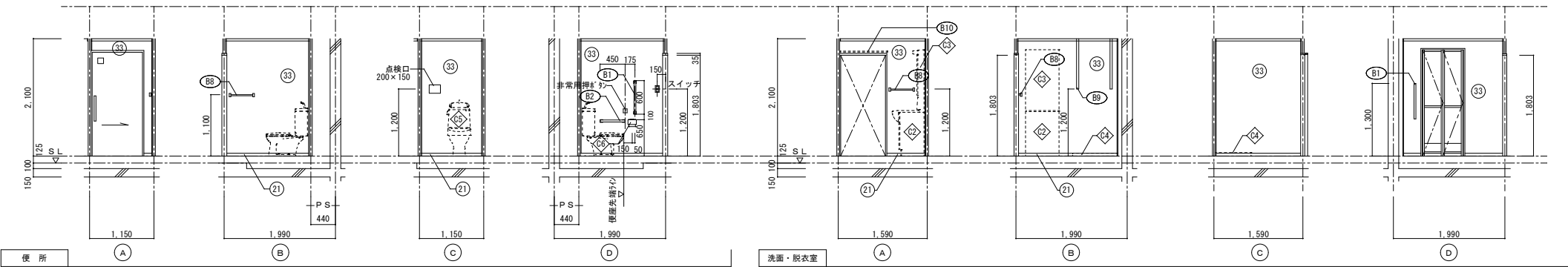
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	2DKタイプ 平面詳細図	A-35
坂口 博文	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	
検 製 設計	昭和30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課



玄関 (外部)

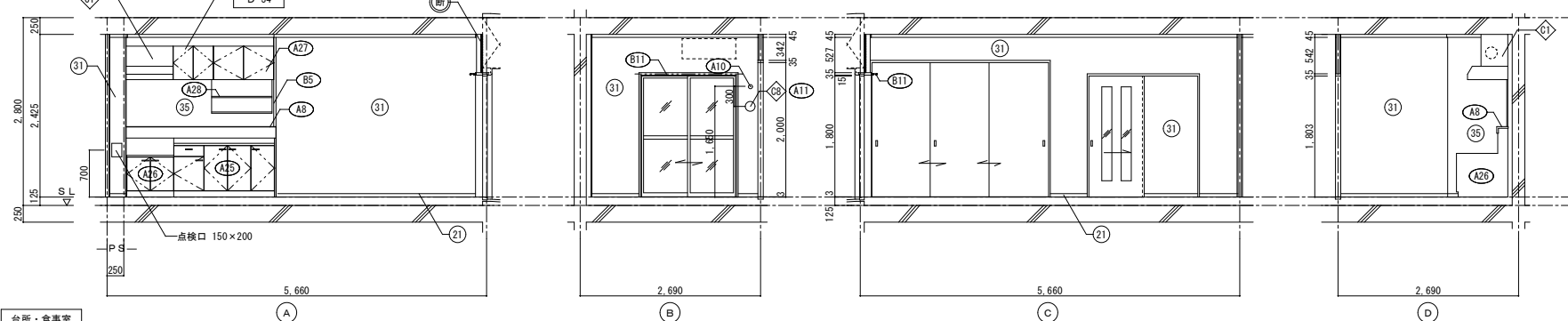


玄関・ホール

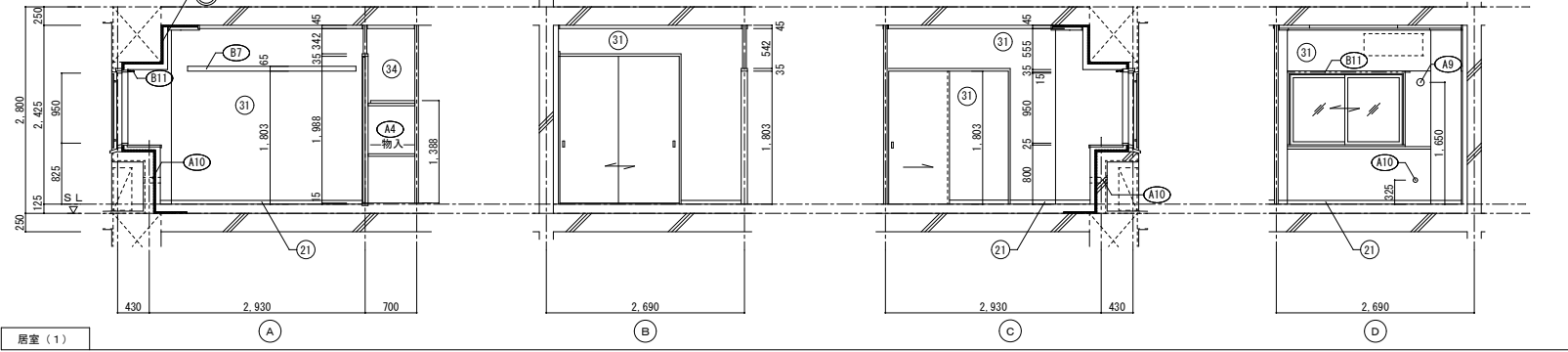


便所

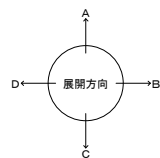
洗面・脱衣室



台所・食事室



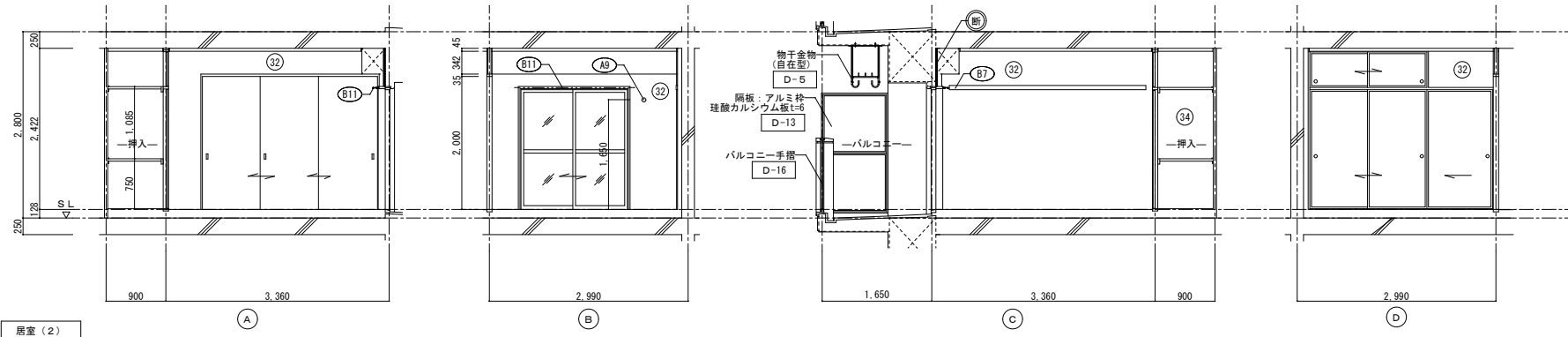
居室 (1)



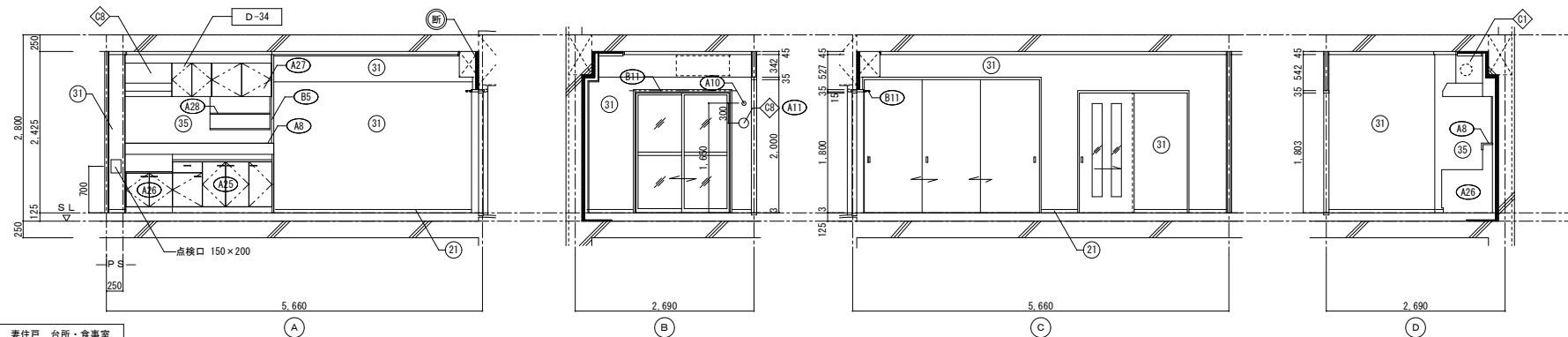
仕上凡例					
部位	仕上	2DK	2DKS	3DK	4DK
巾木	(21) H=50 化粧巾木	○			
	(22) H=45 木製 (タモ材)	○			
	(23) 畳寄せ	○			
	(24) 雑巾摺 (米織)	○			
	(25) 合板コンクリート打放し				
	(26) H=100 防水モルタル塗コテ押え				
壁	(31) 壁パネル A 【プリント合板 (洋風) t=4 タイプII】	○			
	(32) 壁パネル B 【プリント合板 (和風) t=4 タイプII】	○			
	(33) 壁パネル C 【塩ビ合板 t=4 タイプI】	○			
	(34) 壁パネル D 【プリント合板 (押入) t=4 タイプII】	○			
	(35) 壁パネル E [t=4 (正面)ラワン合板タイプIの上 (側面)素地フレキシブル板の上化粧ケイカル板貼 t=6]	○			
	(36) 合板型枠コンクリート打放し				
内装部材	(37) 合板型枠コンクリート打放しの上、外装薄塗材E				
	(38) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=25 (下記以外)				
	(39) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=45 (妻住戸の2F~最上階 最下階中住戸)	○			
	(40) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=35 (最上階中住戸)				
	(41) 硬質ウレタンフォーム吹付現場発泡 (A種1H) t=50 (妻住戸最下階)				
	(42) 硬質ウレタンフォーム吹付現場発泡 (B種1H) t=50 (妻住戸最下階)				
備考	(B1) <木製手摺 L=600 I型 35φ>	○			
	(B2) <木製手摺 L=450 I型 35φ>	○			
	(B3) <木製ベンチ 600x360 t=30 CL>	○			
	(B4) <水切下地>	○			
	(B5) <木見切 15x35>	○			
	(B6) <多目的スリーブ VE16 (キャップ付)>	○			
	(B7) <転倒防止付鴨居 20x65>	○			
	(B8) <タオル掛 L=430 ステンレス製>	○			
	(B9) <棚取付用桝木 20x40>	○			
	(B10) <カーテンレール L=800 ステンレスC型 SUS430>	○			
	(B11) <カーテンレール ステンレスC型ダブル SUS430>	○			
	(B12) <天井点検口 アルミ枠600角 (最上階のみ設置)>	○			
	(B13) <トイレ用手摺 はね上げ式 (背もたれ付)>	○			
	(B14) <補助木製手摺 I型 35φ>	○			
別注工事	(A1) 室名札 アルミ製	○			
	(A2) ステンレス製手摺 L=600 I型 34φ	○			
	(A3) 新聞受 W150xH200 SUS304	○			
	(A4) <可動棚>	○			
	(A5) <中段 天袋>	○			
	(A6) <中段 杖欄>	○			
	(A7) コンロ台側面 t=0.6 ステンレス貼	○			
	(A8) 水切カバー t=0.6 W=150 SUS304	○			
	(A9) 換気用レジスター 100φ (ステンレス防虫網付) D-11	○			
	(A10) クーラー用スリーブ 75φ D-12	○			
	(A11) 換気用スリーブ 150φ (差圧用)	○			
	(A12) <ライニング・杖欄>	○			
その他	(D1) レンジ用フードファン (洗製)	○			
	(D2) 洗面器ユニット	○			
	(D3) 化粧キャビネット	○			
	(D4) 洗濯機防水パン	○			
	(D5) 洋風便器	○			
	(D6) ペーパーホルダー	○			
	(D7) 洗面器ユニット (オープンタイプ)	○			
	(D8) 差圧ダンパー 150φ (A11)	○			
	(A21) 握りバー L=500 I型 28φ 樹脂コーティング	○			
	(A22) 握りバー L=600x700 L型 28φ 樹脂コーティング	○			
	(A23) スライドバー (手摺兼用無段階シャワーフック付)	○			
	(A24) タオル掛け L=400 SUS304	○			
(A25) 流し台 (BL・1型) L=1500 トラップ付	○				
(A26) コンロ台 (BL・1型) L=700 バックガード付	○				
(A27) 吊戸棚 (BL・1型) L=900+600	○				
(A28) 水切棚 L=900 W=270 SUS304 2段	○				

D- 部分詳細仕上記号を示す。
 図面番号 ~ に依り。
 < > は内装部材を示す

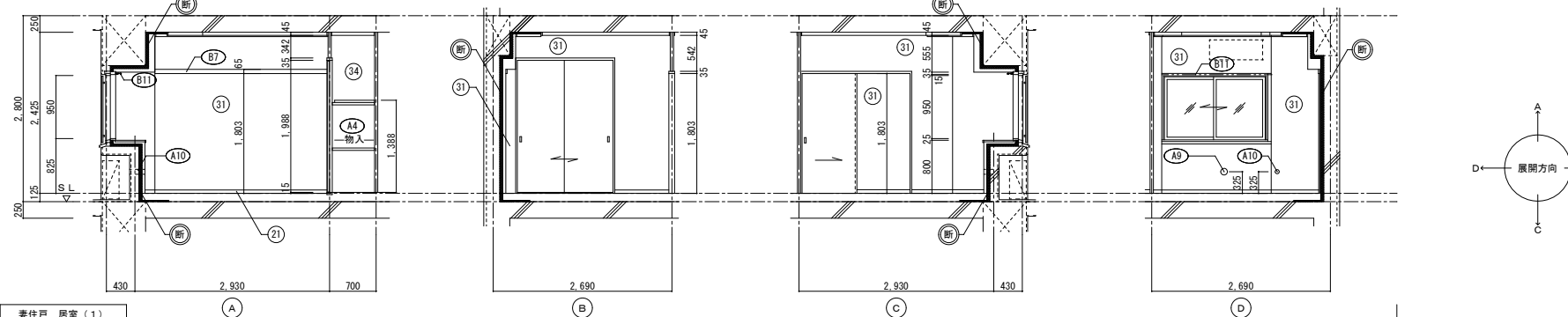
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	2DKタイプ 展開図1	縮尺 A-36 A1: 1/50 A3: 1/100
坂口 博文	設計	
図	H30年 3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課



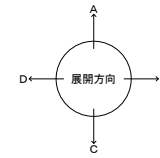
居室 (2)



妻住戸 台所・食卓



妻住戸 居室 (1)

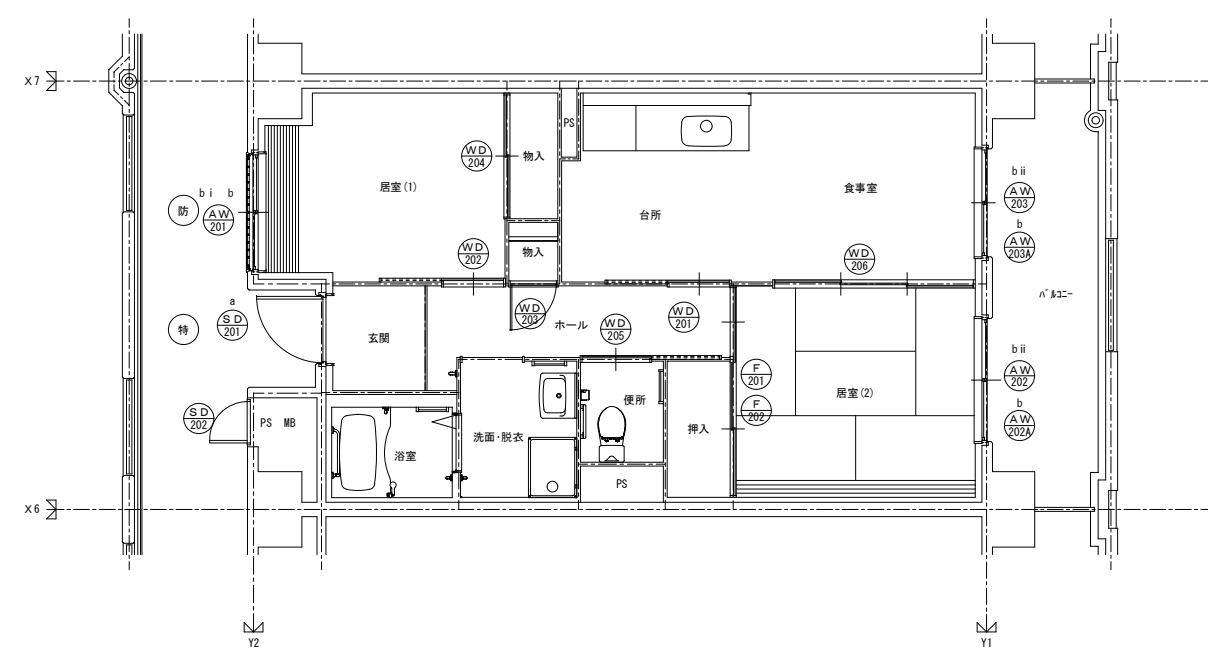


仕上凡例						
部位	仕上	2DK	2DKS	3DK	4DK	
巾木	(21) H=50 化粧巾木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(22) H=45 木製 (タモ材)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(23) 畳寄せ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(24) 雑巾摺 (米摺)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(25) 合板コンクリート打放し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(26) H=100 防水モルタル塗コテ押え	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
壁	(31) 壁パネル A 【プリント合板 (洋風) t=4 タイプII】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(32) 壁パネル B 【プリント合板 (和風) t=4 タイプII】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(33) 壁パネル C 【塩ビ合板 t=4 タイプI】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(34) 壁パネル D 【プリント合板 (押入) t=4 タイプII】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(35) 壁パネル E 【t=4 (正面)ラワン合板タイプIの上 (側面)素地フレキシブル板上化粧ケイカル板貼 t=6】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(36) 合板型枠コンクリート打放し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(37) 合板型枠コンクリート打放しの上、外装薄塗材E	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(38) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=25 (下記以外)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(39) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=45 (妻住戸の2F~最上階 最下階中住戸)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(40) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=35 (最上階中住戸)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(41) 硬質ウレタンフォーム吹付現場発泡 (A種1H) t=50 (妻住戸最下階)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
内装部材	(B1) <木製手摺 L=600 I型 35φ>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B2) <木製手摺 L=450 I型 35φ>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B3) <木製ベンチ 600x360 t=30 CL>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B4) <水切下地>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B5) <木見切 15x35>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B6) <多目的スリーブ VE16 (キャップ付)>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B7) <転倒防止付鴨居 20x65>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B8) <タオル掛け L=430 ステンレス製>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B9) <棚取付用横木 20x40>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B10) <カーテンレール L=800 ステンレスC型 SUS430>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B11) <カーテンレール ステンレスC型ダブル SUS430>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B12) <天井点検口 アルミ枠600角 (最上階のみ設置)>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B13) <トイレ用手摺 はね上げ式 (背もたれ付)>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(B14) <補助木製手摺 I型 35φ>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
備考	(A1) 室名札 アルミ製	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A2) ステンレス製手摺 L=600 I型 34φ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A3) 新聞受 W150xH200 SUS304	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A4) <可動棚>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A5) <中段 天袋>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A6) <中段 杖棚>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A7) コンロ台側面 t=0.6 ステンレス貼	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A8) 水切カバー t=0.6 W=150 SUS304	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A9) 換気用レジスター 100φ (ステンレス防虫網付) D-11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A10) クーラー用スリーブ 75φ D-12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A11) 換気用スリーブ 150φ (差圧用)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	(A12) <ライニング・杖棚>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	別途工事	(C1) レンジ用フードファン (洗型)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		(C2) 洗面器ユニット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(C3) 化粧キャビネット		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(C4) 洗濯機防水パン		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(C5) 洋風便器		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(C6) ペーパーホルダー		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(C7) 洗面器ユニット (オープンタイプ)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(C8) 差圧ダンパー 150φ (A11)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(A21) 握りバー L=500 I型 28φ 樹脂コーティング		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(A22) 握りバー L=600x700 L型 28φ 樹脂コーティング		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(A23) スライドバー (手摺兼用無段階シャワーフック付)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(A24) タオル掛け L=400 SUS304	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(A25) 流し台 (BL・1型) L=1500 トラップ付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(A26) コンロ台 (BL・1型) L=700 バックガード付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(A27) 吊戸棚 (BL・1型) L=900+600	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(A28) 水切棚 L=900 W=270 SUS304 2段	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
その他	D- 部分詳細仕上記号を示す。 図面番号 ~ に使う。 < > は内装部材を示す					

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	2DKタイプ 展開図2	A-37
坂口 博文	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	
検 製 設 計	2023年 3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課

建具表

符号・形式	(S.D. 201)	スチール製片開き両面フラッシュドア	(S.D. 202)	スチール製片開き片面フラッシュドア	(A.W. 201)	アルミ製引違いサッシ	(A.W. 202)	アルミ製引違いサッシ	(A.W. 202A)	アルミ製引違いサッシ	(A.W. 203)	アルミ製引違いサッシ	(A.W. 203A)	アルミ製引違いサッシ				
性能	特定防火設備				防火設備 (EB-9102)													
寸法	数量	850 x 1,900	1	550 x 1,800	1	1,520 x 950	1	1,600 x 1,800	1	1,600 x 1,800	1	1,400 x 1,800	1	1,400 x 1,800	1			
使用箇所	玄関		PS・MB		居室(1)		居室(2)		居室(2) (1階のみ)		台所・食事室		台所・食事室 (1階のみ)					
断面																		
枠・見込	枠: 80 扉: 36		枠: 42 扉: 35		枠: 70		枠: 70		枠: 70		枠: 70		枠: 70					
仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板 (両面t=0.5貼以上) SOP (特共)		溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP		アルマイト (シルバー) の上、クリアー塗装		アルマイト (シルバー) の上、クリアー塗装		アルマイト (シルバー) の上、クリアー塗装		アルマイト (シルバー) の上、クリアー塗装		アルマイト (シルバー) の上、クリアー塗装					
ガラス					網入り型ガラス t=6.8		上段: 透明板ガラス t=5.0 下段: 型板ガラス t=6.0		透明板ガラスt=3.0+中間膜30mil+透明板ガラスt=3.0		上段: 透明板ガラス t=5.0 下段: 型板ガラス t=6.0		透明板ガラスt=3.0+中間膜30mil+透明板ガラスt=3.0					
金物	丁番、シリコンダワー箱錠 (耐ピッキング性能5分以上) 気密用ガスケット、ドアガード、扉端、ドアアイ、アングルピース、 レバーハンドル、SUS11型、戸当り、ドアクローザー (B-II型)		ステンレス丁番、ケースハンドル、あおり止めチェーン 付高金物一式		ロック付クレセント、アングルピース、二重水切		ロック付クレセント×2、振込引手、アングルピース		ロック付クレセント×2、振込引手、アングルピース		ロック付クレセント×2、振込引手、アングルピース		ロック付クレセント×2、振込引手、アングルピース					
備考	防火建物部品対応、受け口 W250以上		前方排気		BL-B型サッシに準ずる。アルミ面格子		BL-B型サッシに準ずる。		防火建物部品対応 BL-B型サッシに準ずる。		BL-B型サッシに準ずる。		防火建物部品対応 BL-B型サッシに準ずる。					
符号・形式	(W.D. 201)	片引き挿入りフラッシュ戸	(W.D. 202)	片引き軽量戸機	(W.D. 203)	片開き軽量戸機	(W.D. 204)	引違い軽量戸機	(W.D. 205)	片引き挿入りフラッシュ戸	(W.D. 206)	3本引違い軽量戸機	(F. 201)	3本引違い機戸	(F. 202)	2本引違い機戸 (天袋)		
性能																		
寸法	数量	800 x 1,803	1	800 x 1,803	1	610 x 1,788	1	1,615 x 1,988	1	800 x 1,803	1	2,635 x 2,000	1	2,750 x 1,800	1	1,760 x 532	1	
使用箇所	台所		居室(1)		ホール 物入		居室(1) 物入		便所		居室(2)		居室(2) 押入		居室(2) 押入			
断面																		
枠・見込	扉: 30		扉: 21		扉: 21		扉: 21		扉: 30		扉: 21		扉: 21		扉: 21			
仕上	両面プリント合板 t=2.5 小口貼 (米梅) t=8		両面: ビニール系機紙 枠: スプルス		ホール側: ビニール系機紙 物入側: 雲花紙 枠: スプルス		居室(1)側: ビニール系機紙 物入側: 雲花紙 枠: スプルス		ホール側: プリント合板 t=2.5 便所側: 塩ビ合板 t=2.5 小口貼 (米梅) t=8		両面: ビニール系機紙 枠: スプルス		居室(2)側: 新鳥の子紙 押入側: 雲花紙、ホール側: ビニール系機紙		居室(2)側: 新鳥の子紙 押入側: 雲花紙		居室(2)側: 新鳥の子紙 押入側: 雲花紙	
ガラス	樹脂ガラス t=2.5 シリコンシーリング留め								樹脂ガラス t=2.5 シリコンシーリング留め									
金物	テーパー付戸車 (2ヶ所)、アルミ台付レール (S) 内丸引手 (2ヶ所)、ゴム戸当りt=15 (1ヶ所)		内丸引手 (2ヶ所) ゴム戸当りt=10 (1ヶ所)		ステンレス丁番 2ヶ所、ステンレス製取手 ローラーキャッチ、通気孔4.5φ (表裏共・SUS430)		内丸引手 (2ヶ所)		握棒、非常解錠装置付機錠 (表示付)、ゴム戸当りt=15 (1ヶ所)、 テーパー付戸車 (2ヶ所)、アルミ台付レール (S)		内丸引手 (6ヶ所)		引手 (金属製)		引手 (金属製)			
備考	<内装部品>		<組子ペーパーハニカム戸機>		<組子ペーパーハニカム戸機>		<組子ペーパーハニカム戸機>		<内装部品>		<組子ペーパーハニカム戸機>		<組子ペーパーハニカム戸機>		<組子ペーパーハニカム戸機>			



建具キープラン

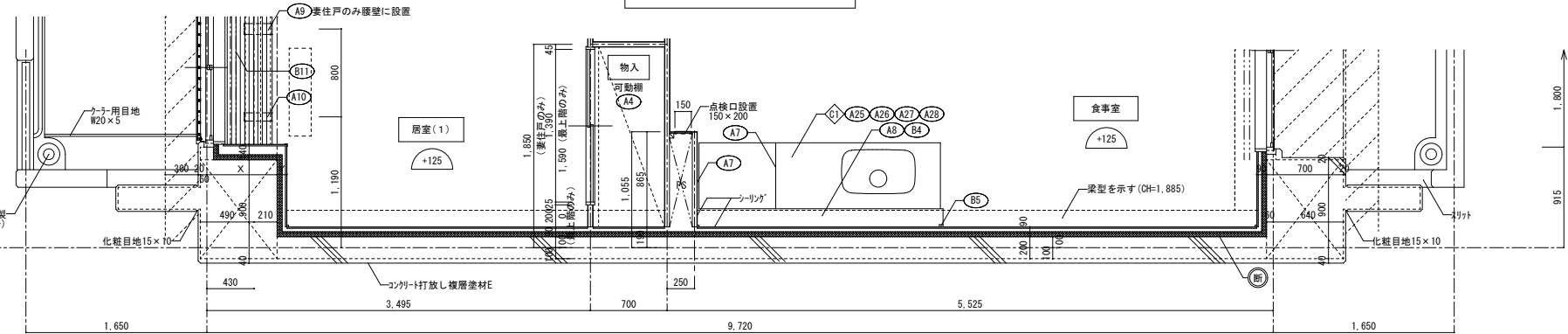
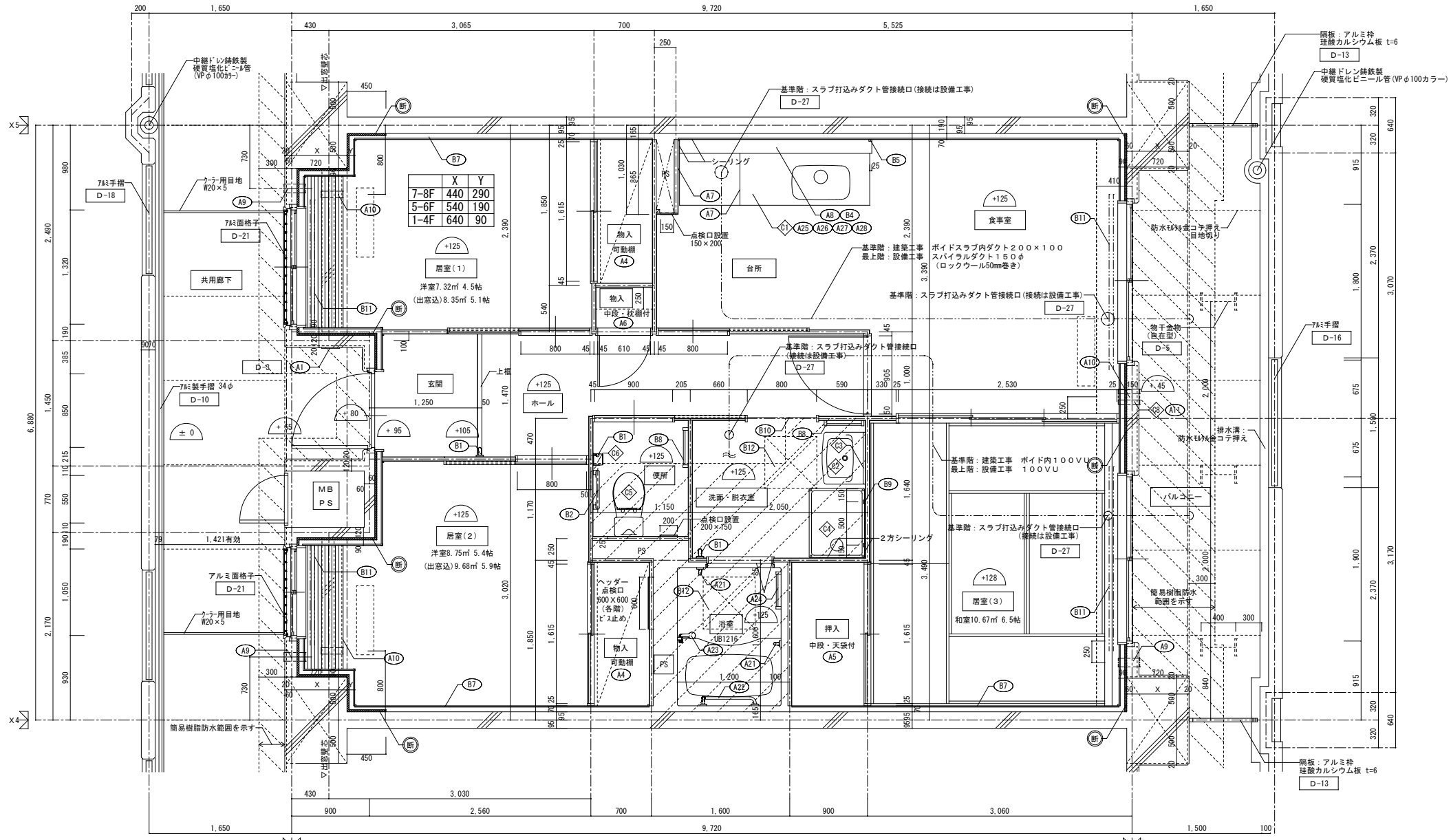
特 記	① 建具寸法 (W x H) は、開口内法有効寸法とする。	④ WD- のシリコンシーリング留めは、A型シリコンシーリング材 (1成分形、高モジュラス形) 9030Gとする。
	② 備考欄にある > は、内装部品とする。	⑤ 耐風圧性は、4階以下: 200 (S-4)、6階以上: 280 (S-6) とする。(耐風圧強度計算書を提出すること)
	③ 網入りガラスは、シリコンシーリング留めとする。	⑥ BL-B型サッシは、日本工業規格に規定する試験方法により透過損失の平均値が、20db以上であること。
		⑦ 有効開口幅は建具の厚み、引き残しを考慮した幅とする。

※T-1以上を使用する。(共通)

区分記号	防火対策区分内容	設置階
a	住戸の出入口	すべての階
b	地面から開口部の下端までの高さが2m以下、又はn' #2-等から開口部の下端までの高さが2m以下であつて、かつ、n #2-等から当該開口部までの水平距離が0.3m以下であるもの (a. に該当するものを除く)	1階
c	その他の開口部	該当なし
b i	区分b. のうち共用廊下または共用階段等の近傍にあるもの	2階以上
b ii	区分b. のうちn' #2-等の近傍にあるもの	2階以上

※防火建物部品対応 (区分a. b. のn' #2-側に該当する) 開口部は侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部とする。

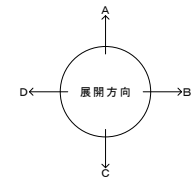
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	2DKタイプ	A-38
坂口 博文	編尺 A1: 1/50 A3: 1/100	
製 図	設計	
	H30年 3月	
愛知県建築局公共建築部公営住宅課		



採光・換気・排煙のチェック

室名	床面積	必要面積	有効面積	判定
食事室・台所	5.525 × 2.39 = 13.204	採光 1/7 2.286	1.80 × 1.80 = 3.240	○K
	3.06 × 1.00 = 3.060	換気 1/20 0.800	1.80 × 1.80 × 1/2 = 1.620	○K
	▲0.25 × 1.030 = ▲0.257	計 16.01		
居室(1)	2.39 × 3.495 = 8.353	採光 1/7 1.192	1.32 × 0.95 = 1.254	○K
	計 8.35	換気 1/20 0.417	1.32 × 0.95 × 1/2 = 0.627	○K
居室(2)	2.17 × 0.9 = 1.953	採光 1/7 1.382	1.05 × 0.95 × 3 = 2.992	○K
	3.02 × 2.56 = 7.7312	換気 1/20 0.484	1.05 × 0.95 × 1/2 = 0.498	○K
居室(3)	3.06 × 3.49 = 10.679	採光 1/7 1.525	1.90 × 1.80 = 3.420	○K
	計 10.68	換気 1/20 0.534	1.90 × 1.80 × 1/2 = 1.710	○K

※排煙設備は、令第126条の2第1項一号により不要。
 ※図下側：クーラー用スリーブ用キャップ (耐火キャップマンションタイプ (耐熱シール同梱))



仕上凡例

部位	仕上	2DK	2DKS	3DK	4DK
壁	硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=25				
	硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=45 (妻住戸の2F~最上階 最下階中住戸)				
	硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=35 (最上階中住戸)				
	硬質ウレタンフォーム吹付現場発泡 (A種1H) t=50 (妻住戸最下階)				
内装部材	B1 (木製手摺 L=600 1型 35φ)				
	B2 (木製手摺 L=450 1型 35φ)				
	B3 (木製ベンチ 600×360 t=30 CL)				
	B4 (水切下地)				
	B5 (木見切 15×35)				
	B6				
	B7 (転倒防止付輪縁 20×65)				
	B8 (タオル掛 L=430 SUS304)				
	B9 (欄取付用積木 20×40)				
	B10 (カーテンレール L=800 ステンレスC型 SUS430)				
	B11 (カーテンレール ステンレスC型ダブル SUS430)				
	B12 (天井点検口 アルミ枠600角 (最上階のみ設置))				
	B13 (トイレ用手摺 はね上げ式 (青もたれ付))				
	B14 (補助木製手摺 1型 35φ)				
備考	A1 室名札 アルミ製				
	A2 ステンレス製手摺 L=600 1型 34φ				
	A3 新聞受 W150×H200 SUS304				
	A4 <可動欄>				
	A5 <中段 天袋>				
	A6 <中段 杖欄>				
	A7 コンロ台側面 t=0.6 SUS304				
	A8 水切カバー t=0.6 W=150 SUS304				
	A9 換気用レジスター 100φ (ステンレス防虫網付)				
	A10 クーラー用スリーブ 75φ				
	A11 換気用スリーブ 150φ (差圧用)				
	A12 <ライニング・杖欄>				
別注工事	D1 レンジ用フードファン (浅型)				
	D2 洗面器ユニット				
	D3 化粧キャビネット				
	D4 洗濯機防水パン				
	D5 洋風便器				
	D6 ペーパーホルダー SUS304				
	D7 洗面器ユニット (オープンタイプ)				
	D8 差圧ダンパー 150φ A11				
その他	A21 握りバー L=500 1型 28φ 樹脂コーティング				
	A22 握りバー L=600×700 L型 28φ 樹脂コーティング				
	A23 スライドバー (手摺兼用無段階シャワーフック付)				
	A24 タオル掛け L=400 SUS304				
	A25 流し台 (BL・1型) L=1500 トラップ付				
	A26 コンロ台 (BL・1型) L=700 バックガード付				
	A27 吊戸棚 (BL・1型) L=900+600				
	A28 水切欄 L=900 W=270 SUS304 2段				
<p>斜線部分の部分はスラブ、SL-100下げの部分を示す。</p> <p>※点検口設置 F.L.より+1.200 (便所)、+700 (台所) に点検口設置</p> <p>< > は内装部品を示す</p> <p>◁▷ 打ち継ぎ部シール</p> <p>D- 部材詳細仕上記号を示す。図面番号に添う。</p>					

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	3DKタイプ 平面詳細図	A-39
坂口 博文	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	
検 製 設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
図 図 H30年3月		

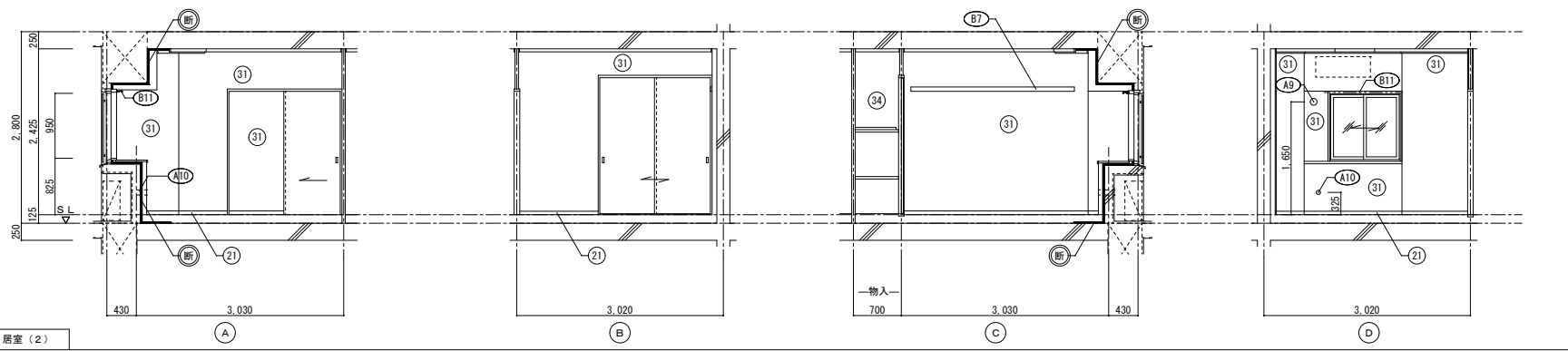


仕上凡例						
部位	仕上	2DK	2DKS	3DK	4DK	
巾木	(21) H=50 化粧巾木			○		
	(22) H=45 木製(タモ材)			○		
	(23) 畳寄せ			○		
	(24) 雑巾摺(米摺)			○		
	(25) 合板コンクリート打放し			○		
	(26) H=100 防水モルタル塗コテ押え			○		
壁	(31) 壁パネル A 【プリント合板(洋風) t=4 タイプII】			○		
	(32) 壁パネル B 【プリント合板(和風) t=4 タイプII】			○		
	(33) 壁パネル C 【塩ビ合板 t=4 タイプI】			○		
	(34) 壁パネル D 【プリント合板(押入) t=4 タイプII】			○		
	(35) (正面)ラワン合板タイプIの上 (側面)素地フレキシブル板の上化粧ケイカル板貼 t=6			○		
	(36) 合板型枠コンクリート打放し			○		
	(37) 合板型枠コンクリート打放しの上、外装薄塗材E			○		
	(38) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=25 (下記以外)			○		
	(39) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=45 (妻住戸の2F~最上階 最下階中住戸)			○		
	(40) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=35 (最上階中住戸)			○		
	(41) 硬質ウレタンフォーム吹付現場発泡 (A種1H) t=50 (妻住戸最下階)			○		
	(B1) (木製手摺 L=600 I型 35φ)			○		
	(B2) (木製手摺 L=450 I型 35φ)			○		
	(B3) (木製ベンチ 600x360 t=30 CL)			○		
(B4) (水切下地)			○			
(B5) (木見切 15x35)			○			
(B6) (多目的スリーブ VE16 (キャップ付))			○			
(B7) (転倒防止付軌輪 20x65)			○			
(B8) (タオル掛 L=430 ステンレス製)			○			
(B9) (棚取付用横木 20x40)			○			
(B10) (カーテンレール L=800 ステンレスC型 SUS430)			○			
(B11) (カーテンレール ステンレスC型ダブル SUS430)			○			
(B12) (天井点検口 アルミ枠600角 (最上階のみ設置))			○			
(B13) (トイレ用手摺 はね上げ式 (背もたれ付))			○			
(B14) (補助木製手摺 I型 35φ)			○			
備考	(A1) 室名札 アルミ製			○		
	(A2) ステンレス製手摺 L=600 I型 34φ			○		
	(A3) 新聞受 W150xH200 SUS304			○		
	(A4) <可動棚>			○		
	(A5) <中段 天袋>			○		
	(A6) <中段 枕棚>			○		
	(A7) コンロ台側面 t=0.6 ステンレス貼			○		
	(A8) 水切カバー t=0.6 W=150 SUS304			○		
	(A9) 換気用レジスター 100φ (ステンレス防虫網付)	D-11		○		
	(A10) クーラー用スリーブ 75φ	D-12		○		
	(A11) 換気用スリーブ 150φ (差圧用)			○		
	(A12) <ライニング・枕棚>			○		
	別途工事	(C1) レンジ用フードファン (洗製)			○	
		(C2) 洗面器ユニット			○	
(C3) 化粧キャビネット				○		
(C4) 洗濯機防水パン				○		
(C5) 洋風便器				○		
(C6) ペーパーホルダー				○		
(C7) 洗面器ユニット (オープンタイプ)				○		
(C8) 差圧ダンパー 150φ (A11)				○		
(A21) 握りバー L=500 I型 28φ 樹脂コーティング				○		
(A22) 握りバー L=600x700 L型 28φ 樹脂コーティング				○		
(A23) スライドバー (手摺兼用無段階シャワーフック付)				○		
(A24) タオル掛け L=400 SUS304				○		
(A25) 流し台 (BL・1型) L=1500 トラップ付				○		
(A26) コンロ台 (BL・1型) L=700 バックガード付				○		
(A27) 吊戸棚 (BL・1型) L=900+600			○			
(A28) 水切棚 L=900 W=270 SUS304 2段			○			

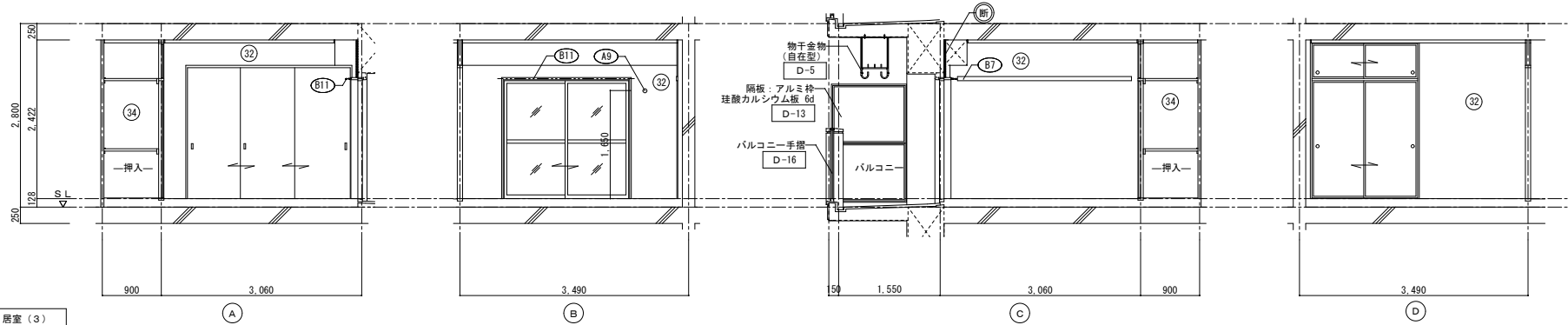
その他

D- 部分詳細仕上記号を示す。
 図面番号 ~ に依り。
 < > は内装部品を示す

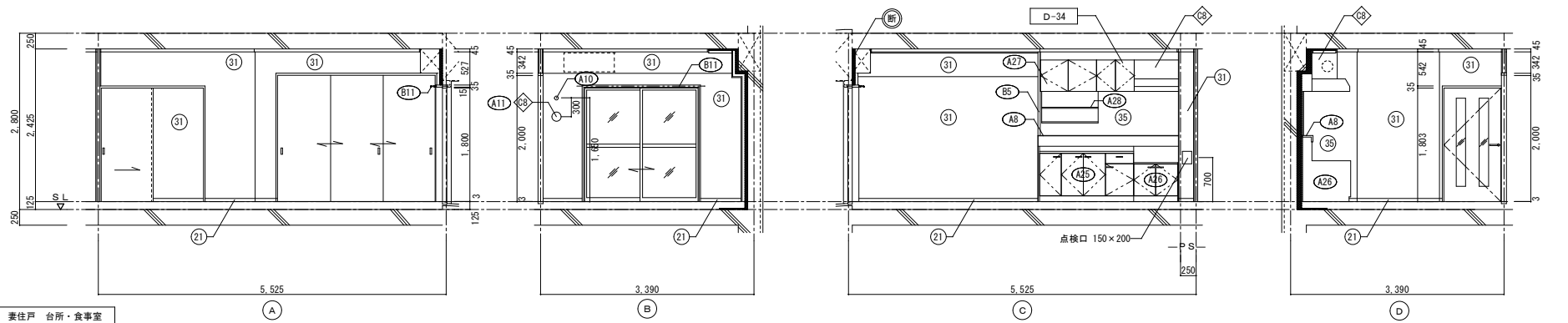
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	3DKタイプ 展開図1	縮尺 A-40 A1: 1/50 A3: 1/100
坂口 博文	製 製 設 計	図 図 図
H30年 3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	



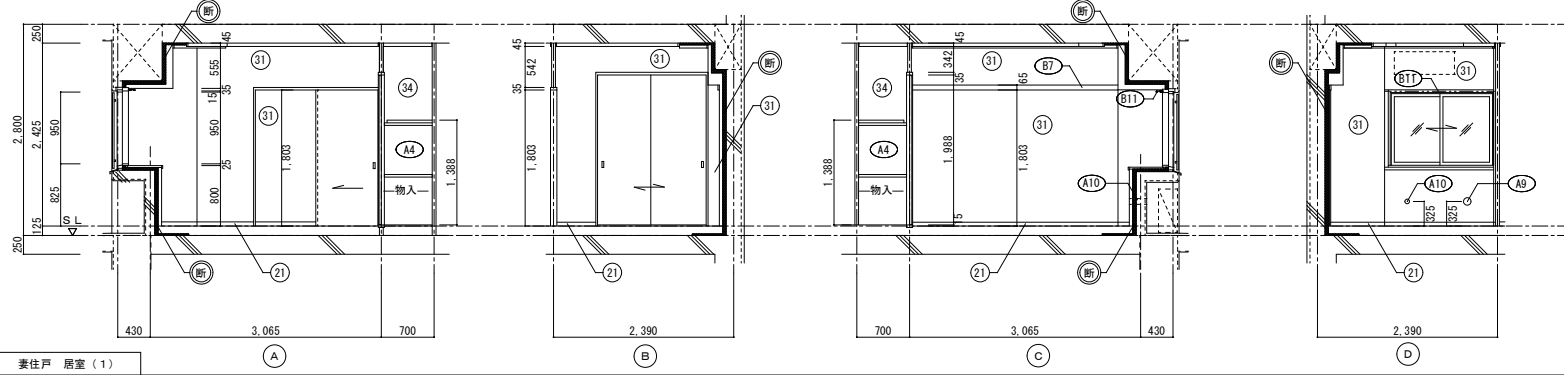
居室(2)



居室(3)

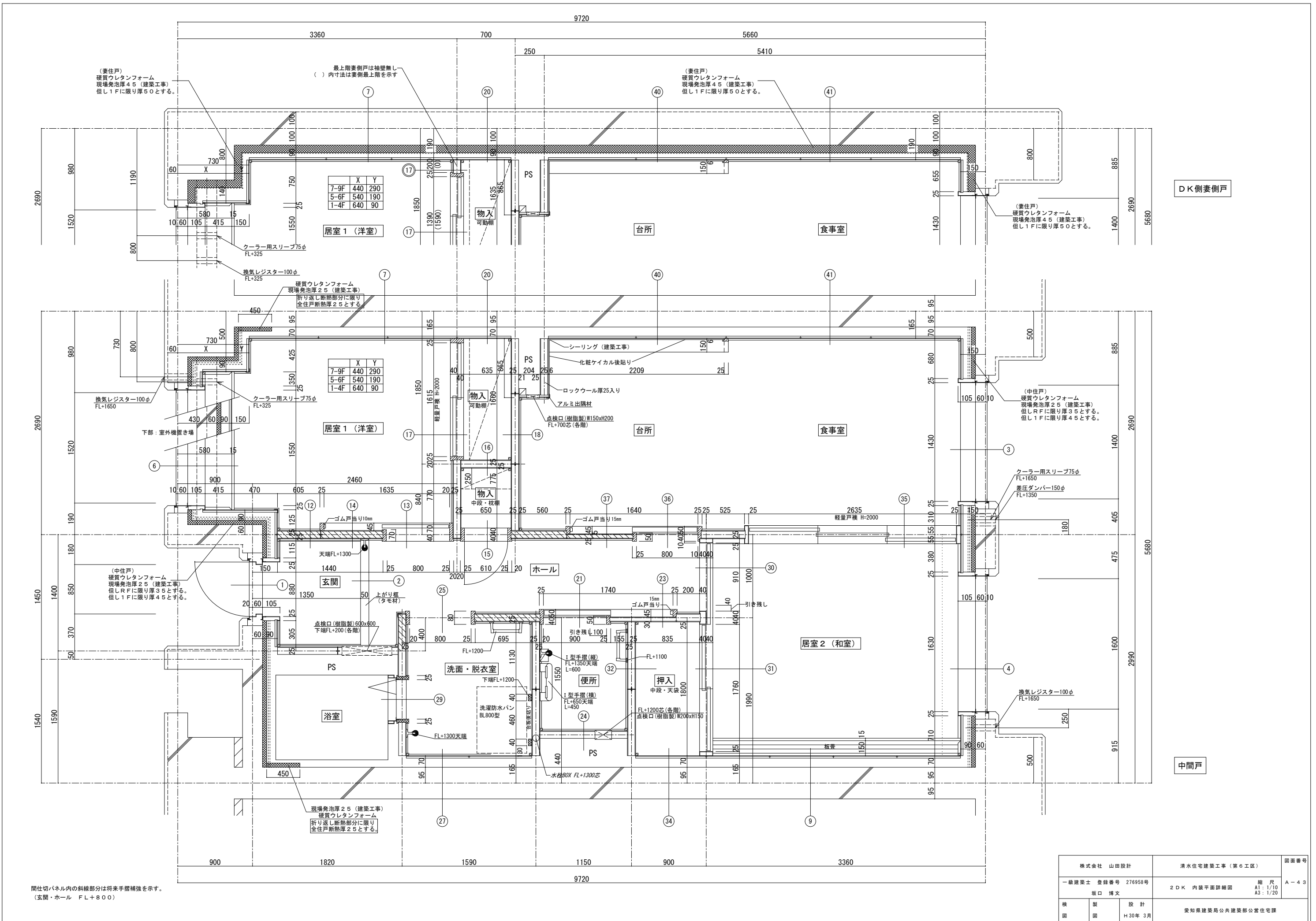


妻住戸 台所・食卓



妻住戸 居室(1)

仕上凡例						
部位	仕上	2DK	2DKS	3DK	4DK	
巾木	(21) H=50 化粧巾木					
	(22) H=45 木製(タモ材)					
	(23) 畳寄せ					
	(24) 雑巾摺(米摺)					
	(25) 合板コンクリート打放し					
	(26) H=100 防水モルタル塗コテ押え					
壁	(31) 壁パネル A 【プリント合板(洋風) t=4 タイプII】					
	(32) 壁パネル B 【プリント合板(和風) t=4 タイプII】					
	(33) 壁パネル C 【塩ビ合板 t=4 タイプI】					
	(34) 壁パネル D 【プリント合板(押入) t=4 タイプII】					
	(35) 壁パネル E 【t=4 (正面)ラワン合板タイプIの上 (側面)素地フレキシブル板の上化粧ケイカル板貼 t=6】					
	(36) 合板型枠コンクリート打放し					
	(37) 合板型枠コンクリート打放しの上、外装薄塗材E					
	(38) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=25 (下記以外)					
	(39) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=45 (妻住戸の2F~最上階 最下階中住戸)					
	(40) 硬質ウレタンフォーム現場発泡 t=35 (最上階中住戸)					
内装部材	(B1) (木製手摺 L=600 I型 35φ)					
	(B2) (木製手摺 L=450 I型 35φ)					
	(B3) (木製ベンチ 600x360 t=30 CL)					
	(B4) (水切下地)					
	(B5) (木見切 15x35)					
	(B6) (多目的スリーブ VE16 (キャップ付))					
	(B7) (転倒防止付軌座 20x65)					
	(B8) (タオル掛 L=430 ステンレス製)					
	(B9) (棚取付用横木 20x40)					
	(B10) (カーテンレール L=800 ステンレスC型 SUS430)					
	(B11) (カーテンレール ステンレスC型ダブル SUS430)					
	(B12) (天井点検口 アルミ枠600角 (最上階のみ設置))					
	(B13) (トイレ用手摺 はね上げ式 (背もたれ付))					
	(B14) (補助木製手摺 I型 35φ)					
備考	(A1) 室名札 アルミ製					
	(A2) ステンレス製手摺 L=600 I型 34φ					
	(A3) 新聞受 W150xH200 SUS304					
	(A4) <可動棚>					
	(A5) <中段 天袋>					
	(A6) <中段 枕棚>					
	(A7) コントラ側面 t=0.6 ステンレス貼					
	(A8) 水切カバー t=0.6 W=150 SUS304					
	(A9) 換気用レジスター 100φ (ステンレス防虫網付) D-11					
	(A10) クラウ用スリーブ 75φ D-12					
	(A11) 換気用スリーブ 150φ (差圧用)					
	(A12) <ライニング・枕棚>					
別途工事	(A21) レンジ用フードファン (洗製)					
	(A22) 洗面器ユニット					
	(A23) 化粧キャビネット					
	(A24) 洗濯機防水パン					
	(A25) 洋風便器					
	(A26) ペーパーホルダー					
	(A27) 洗面器ユニット (オープンタイプ)					
	(A28) 差圧ダンパー 150φ (A11)					
	(A29) 握りバー L=500 I型 28φ 樹脂コーティング					
	(A30) 握りバー L=600x700 L型 28φ 樹脂コーティング					
その他	(A31) スライドバー (手摺兼用無段階シャワーフック付)					
	(A32) タオル掛け L=400 SUS304					
	(A33) 流し台 (BL・1型) L=1500 トラップ付					
	(A34) コンロ台 (BL・1型) L=700 バックガード付					
	(A35) 吊戸棚 (BL・1型) L=900+600					
	(A36) 水切棚 L=900 W=270 SUS304 2段					
	D-1	部分詳細仕上記号を示す。 図面番号 ~ に依う。 < >は内装部材を示す				

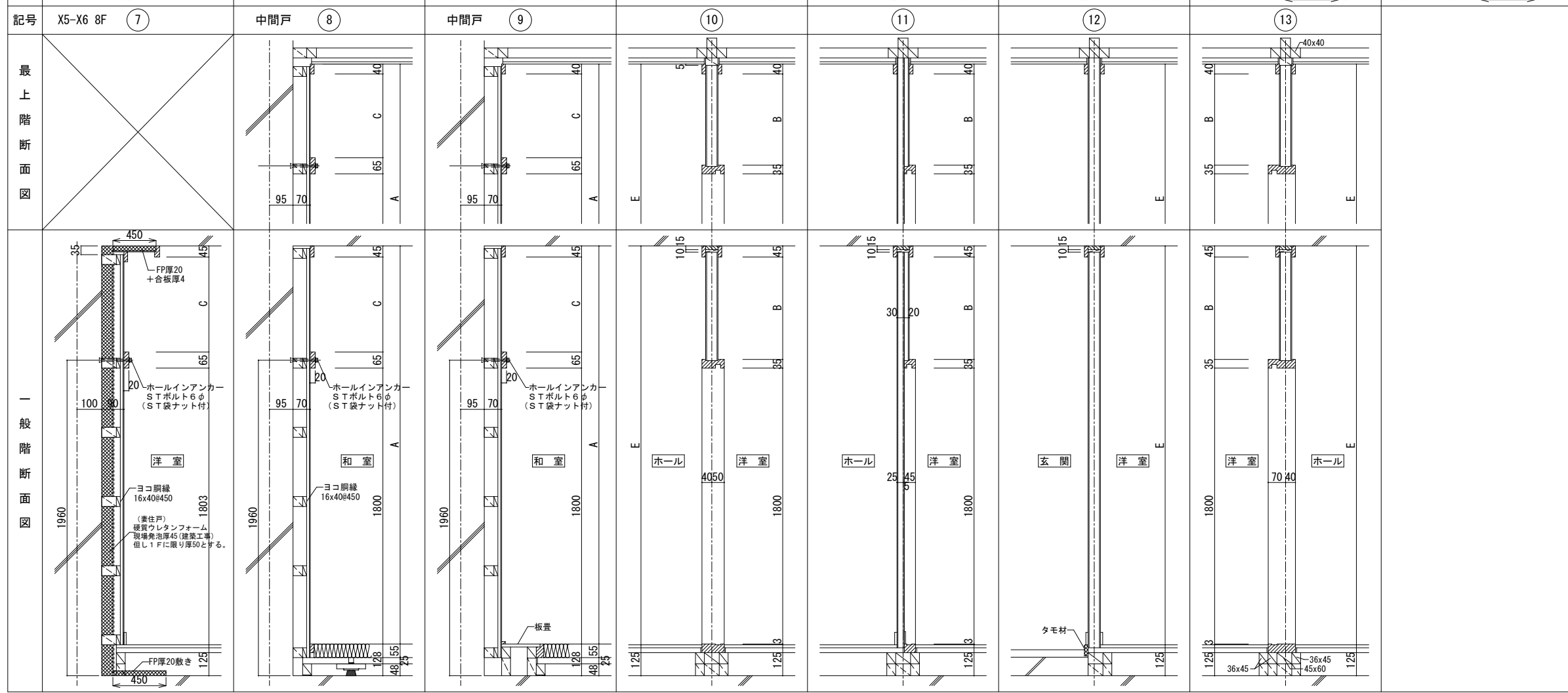
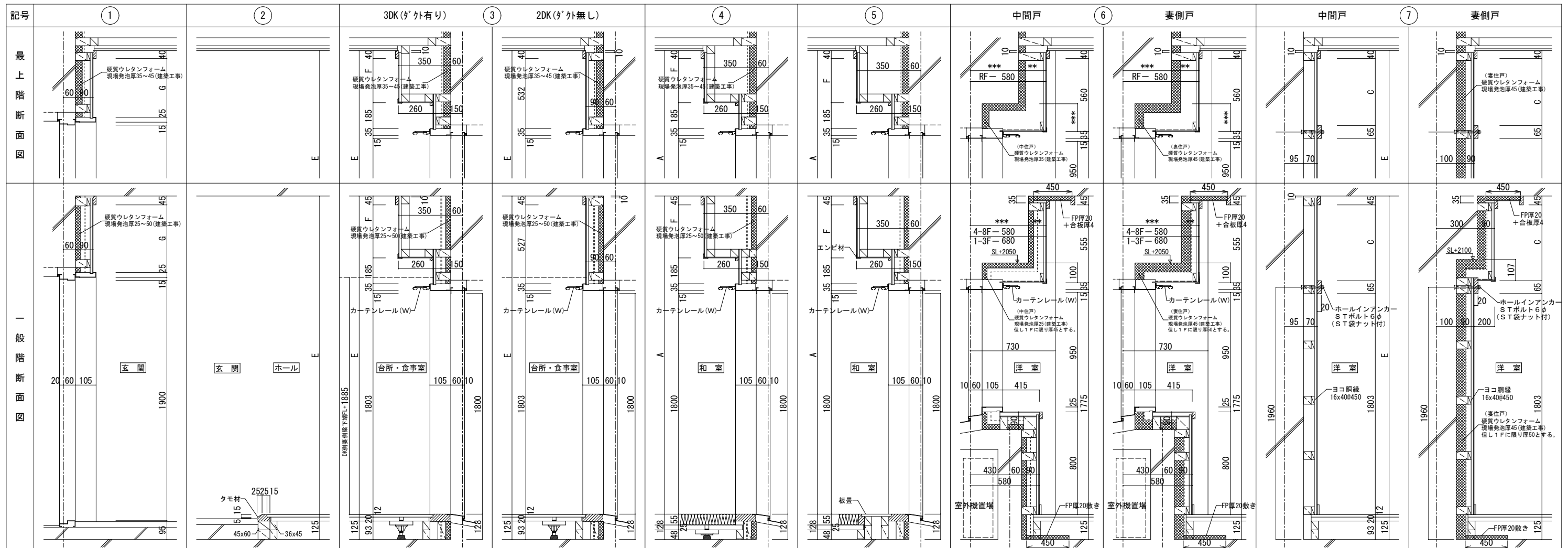


DK側妻側戸

中間戸

間仕切パネル内の斜線部分は将来手摺補強を示す。
(玄関・ホール FL+800)

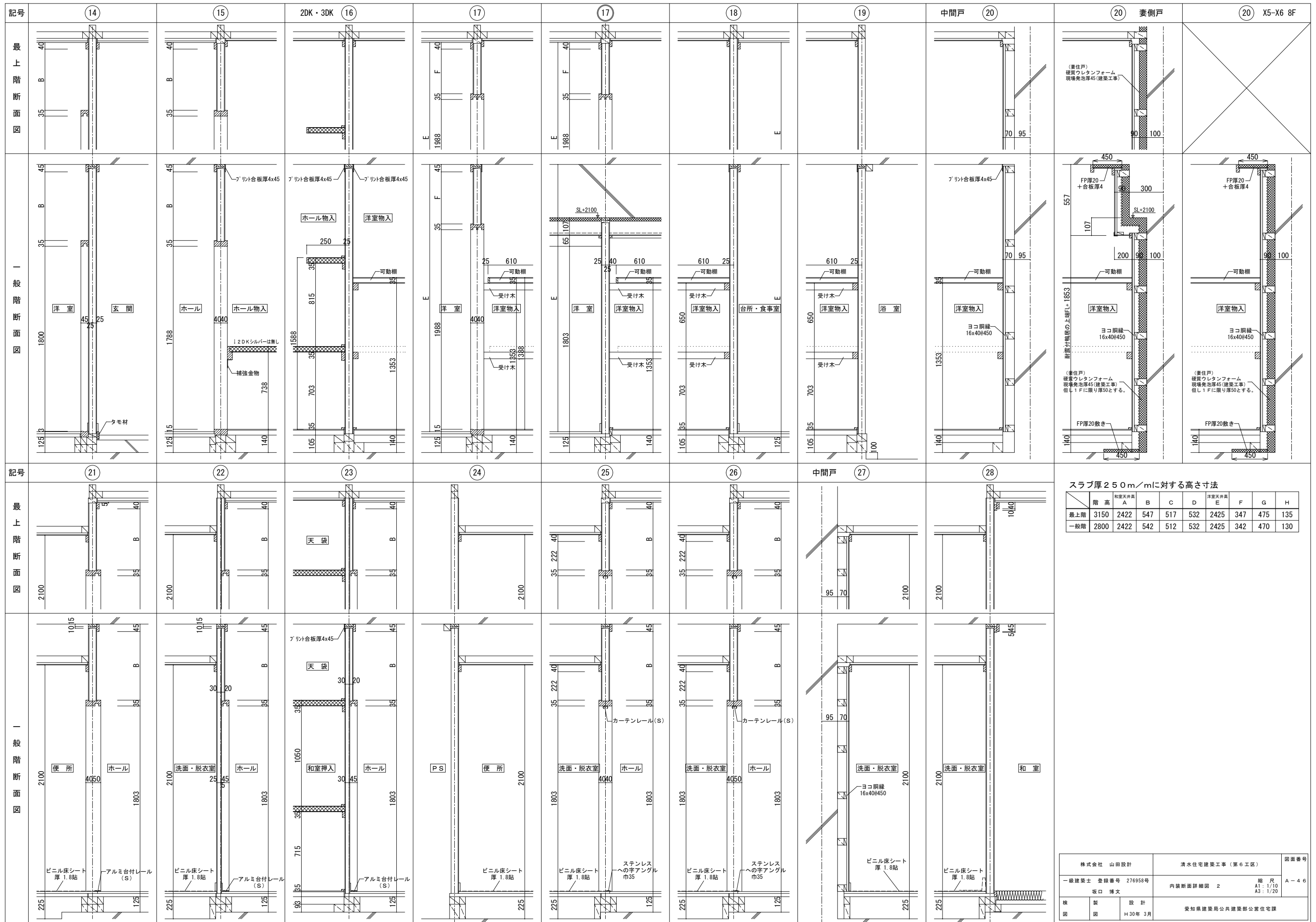
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	2DK 内装平面詳細図	縮尺 A-43
坂口 博文		A1: 1/10 A3: 1/20
検 製 設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
図 図 図	H30年3月	



スラブ厚250mm/mに対する高さ寸法

階高	A	B	C	D	E	F	G	H	
最上階	3150	2422	547	517	532	2425	347	475	135
一般階	2800	2422	542	512	532	2425	342	470	130

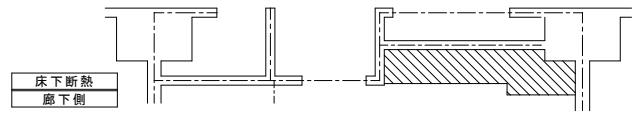
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	内装断面詳細図 1	縮尺 A-45
坂口 博文		A1: 1/10 A3: 1/20
製 図	設 計	
図 園	H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課



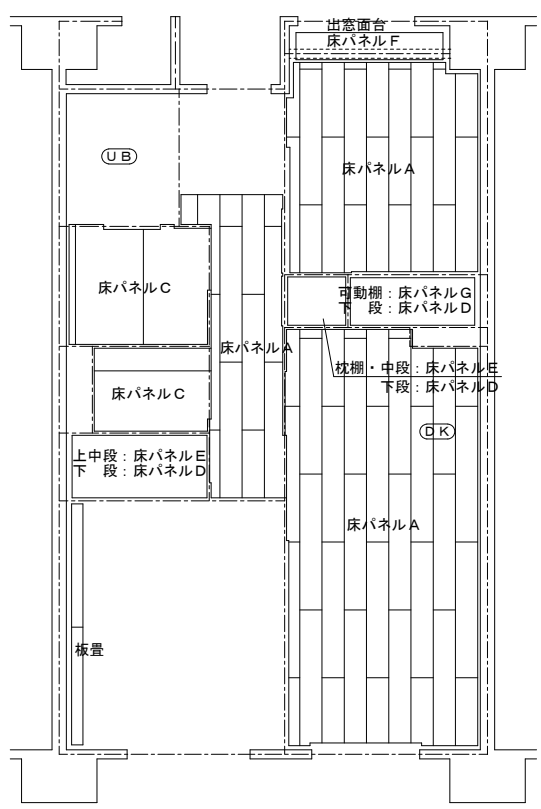
スラブ厚250mm/mに対する高さ寸法

階高	和室天井高	A	B	C	D	洋室天井高	E	F	G	H
最上階	3150	2422	547	517	532	2425	347	475	135	
一般階	2800	2422	542	512	532	2425	342	470	130	

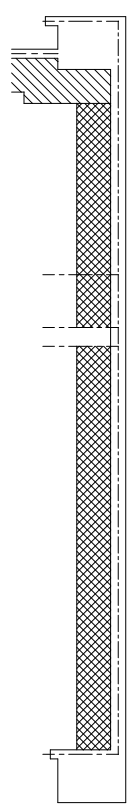
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	内装断面詳細図 2	縮尺 A-46 A1: 1/10 A3: 1/20
坂口 博文	設計	
図	H30年3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課



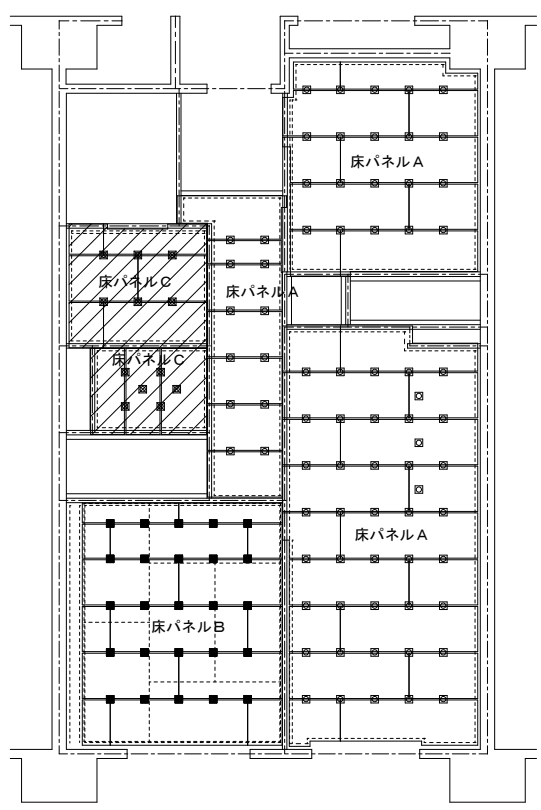
床下断熱
廊下側



床伏図
2DKタイプ



床下断熱
DK側妻



床下地伏図
2DKタイプ

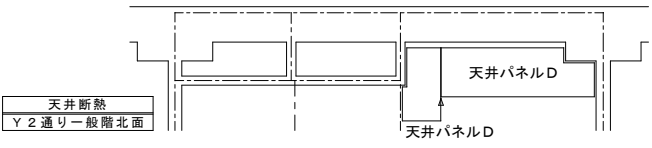
- 支持脚 (30-85) を示す。
- 支持脚 (50-185) を示す。
- 支持脚 (5-48) を示す。
- 流し台下のみ支持脚 (30-73) を3ヶ補強として拾う。
便所床のみ支持脚 (50-148) を2ヶ補強として拾う。
際根太 36×45を示す。
- 敷居下・パネル受け・パネル掛け 45×60を示す。

の斜線は共用廊下側の居室・DK・物入類のみ
FP厚20 (保温板3種b) 敷き込み範囲を示す。
断熱範囲は壁断熱吹き付け面より450mmとする。

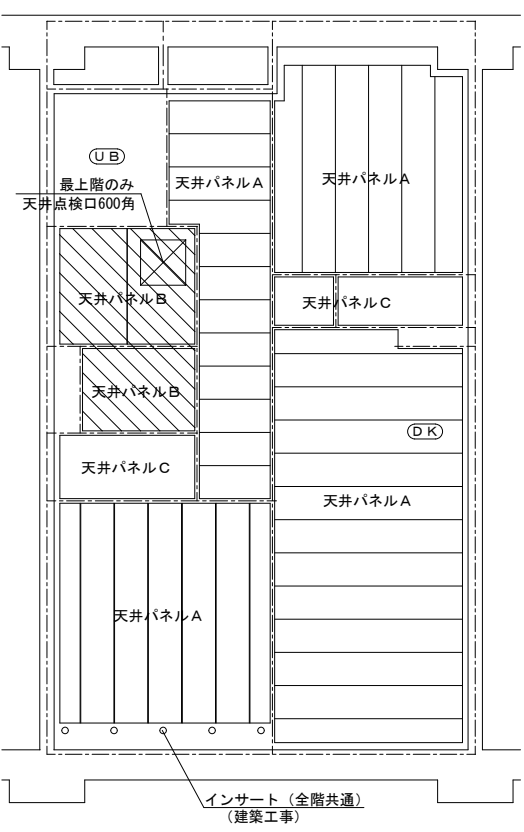
は妻側の居室・DK・物入類のみ
FP厚20 (保温板3種b) 敷き込み範囲を示す。
断熱範囲は壁断熱吹き付け面より450mmとする。

の斜線はパーチクルボードパラフィン処理範囲を示す。
パラフィン処理は洗面・便所のみを範囲とする。

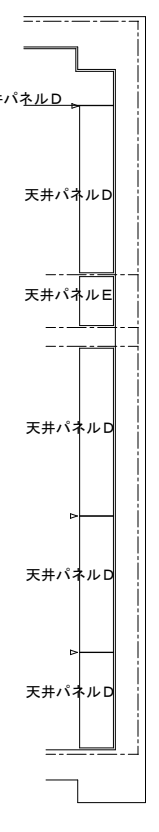
表面材		
床パネルA	複合フローリング (ナラ・タモ化粧)	712.0
	パーチクルボード	720.0
床パネルB	パーチクルボード	725.0
	ビニル床シート	71.8
床パネルC	防虫合板	712.0(T1)
	パーチクルボード (パラフィン処理)	720.0
床パネルD	ラワン合板	75.5(T2)
床パネルE	MDF	72.7
床パネルF	ポリエステル化粧合板	74.0(T1)
床パネルG	MDF	74.0



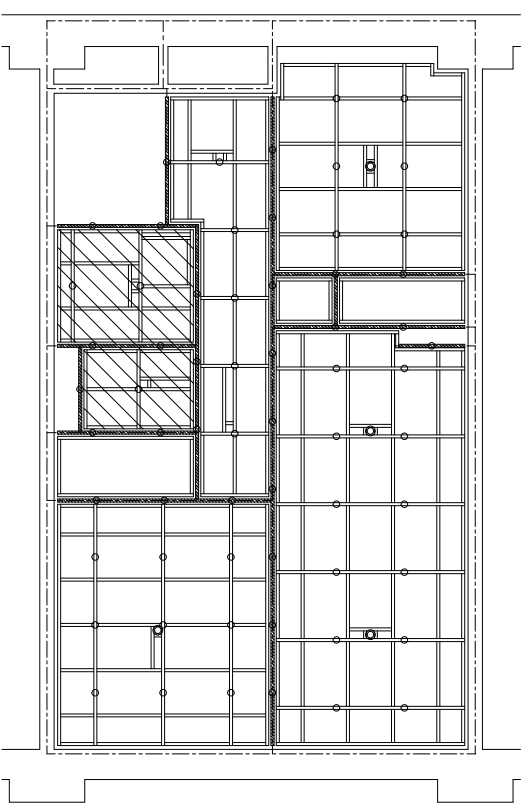
天井断熱
Y2通り一般階北面



天井伏図 (最上階)
2DKタイプ



天井断熱
一般階DK側妻



天井下地伏図 (最上階)
2DKタイプ



- 野縁、野縁受40×40
- 頭つなぎ40×40
- 吊りボルト9φ及びインサート (建築工事)
- ◎ 照明器具用吊りボルト9φ及びインサート (電気工事)
- 斜線範囲は各階共通を示す。

表面材		
天井パネルA	化粧石膏ボード	79.5
天井パネルB	塩ビ合板	74.0(T2)
天井パネルC	プリント合板 (押入)	74.0(T2)
天井パネルD	押出法ポリスチレンフォーム20dの上 ラワン合板 (T1) 4d 防湿シート貼り	724.0
天井パネルE	押出法ポリスチレンフォーム20dの上 プリント合板 (押入) (T2) 4d	724.0

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	2DK 内装床・床下地伏図	縮尺 A-48
坂口 博文	2DK 内装天井・天井下地伏図	A1: 1/50 A3: 1/100
検 製 設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
図 図 図	H30年3月	

基本パネル標準図

名称	押入・物入 (床パネル・可動棚パネル)	押入・物入棚パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切小壁パネル	天井パネル (合板)	天井パネル (断熱入り)	天井パネル (石膏ボード)
厚さ	35	35	15・46・50	15・46・50	15	20+4	20.5
仕様	中棧はピッチ225mm以内とする	ペーパーハニカムコア充填	中棧はピッチ450mm以内とする	中棧はピッチ450mm以内とする	中棧はピッチ450mm以内とする	中棧はピッチ450mm以内とする	中棧はピッチ600mm以内とする
基本棧組図							

分類	タオル掛け・紙巻き器補強	L型手摺補強	洗面化粧台・キャビネット補強	棚受け桎木補強	押入棚受け補強	縦I型手摺補強	将来対応手摺補強	吊り戸棚・水切下地補強	耐震付鴨居補強	PB入りパネル	炭化防止パネル	炭化防止パネル	クーラー補強
パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切パネル	間仕切パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切パネル	間仕切パネル	壁パネル	間仕切パネル	壁パネル
基本補強図													

分類	差圧ダンパー補強 分電盤・ガスコック補強	スイッチ・コンセント補強 クーラースリプ補強	換気スリプ補強	電気BOX内蔵パネル	点検口付パネル	点検口付パネル	乾式二重床
パネル	壁パネル	壁パネル	壁パネル	間仕切パネル	天井パネル	壁・間仕切パネル	壁・間仕切パネル
基本補強図				<p>電気ボックス：合成樹脂 JIS製品 VE管：硬質塩化ビニル JIS製品 PF管：難燃PE JIS製品</p>			

分類	アルミコーナー材	間仕切パネル雇い実	タオル掛け	押入補強金物	水切下地受金物	アルミ台付レール (S)	への字アングル
付属部品細図							

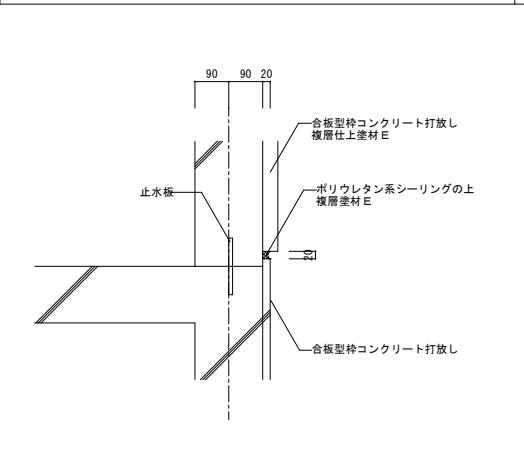
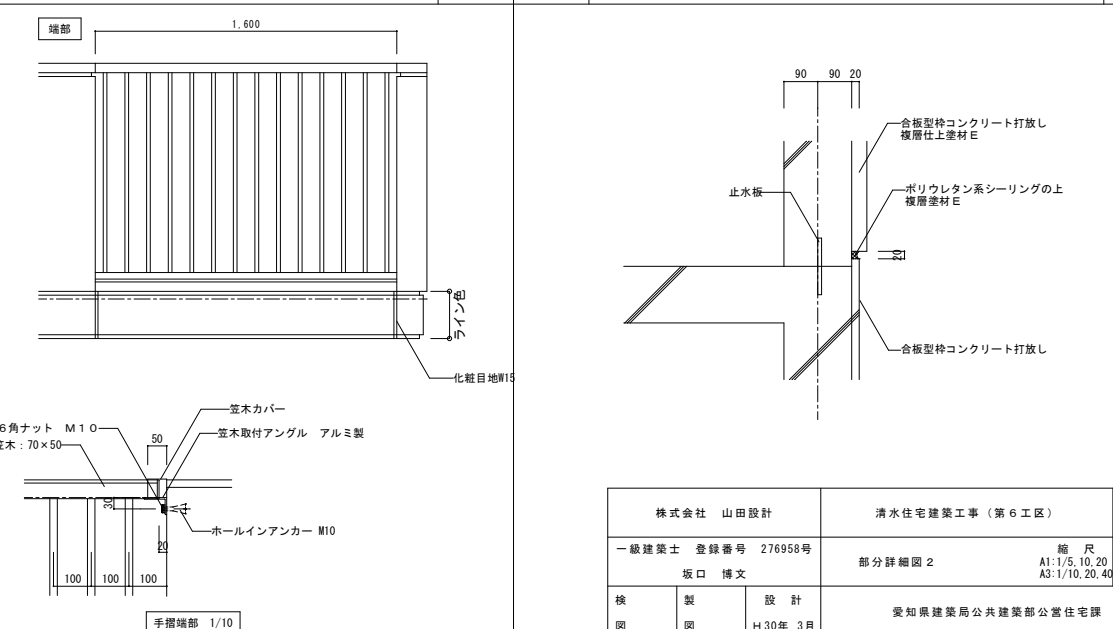
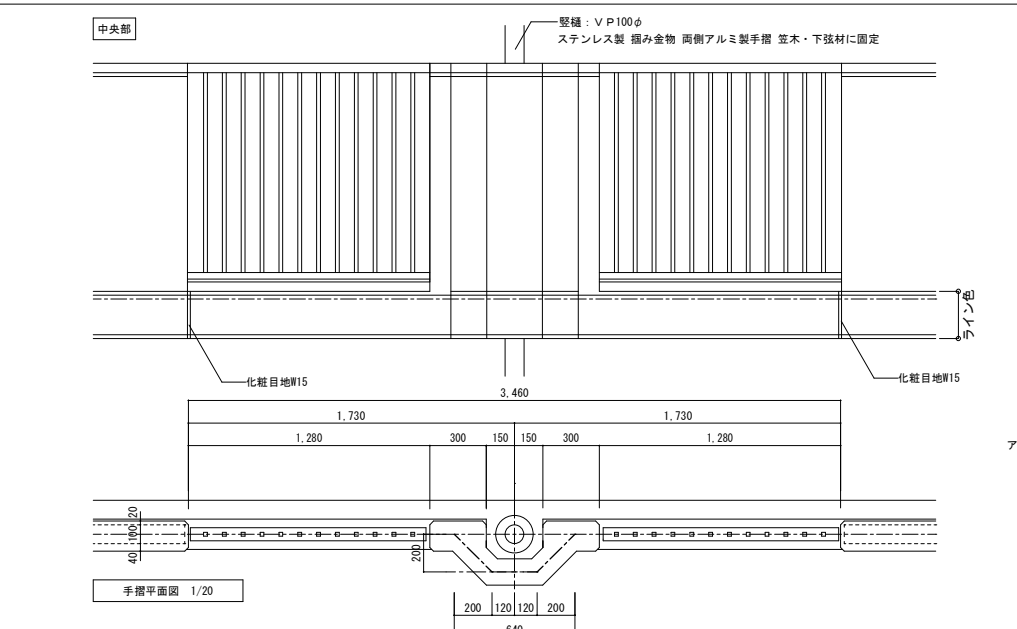
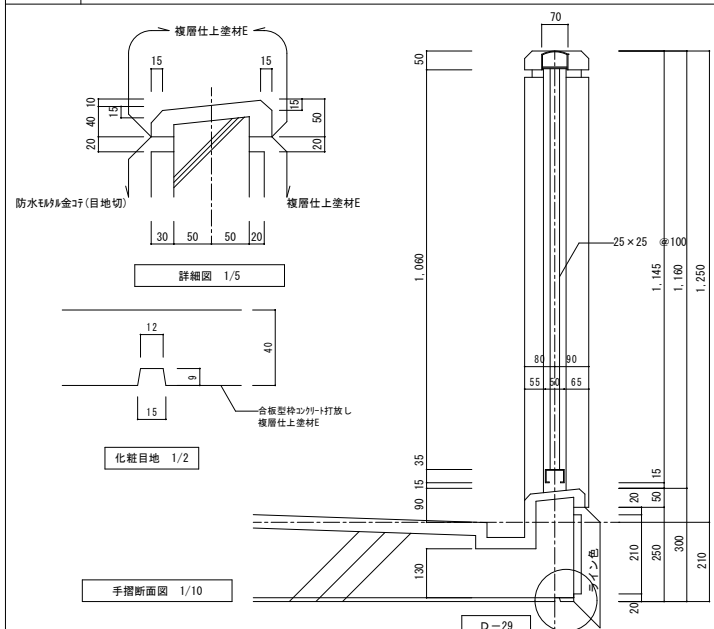
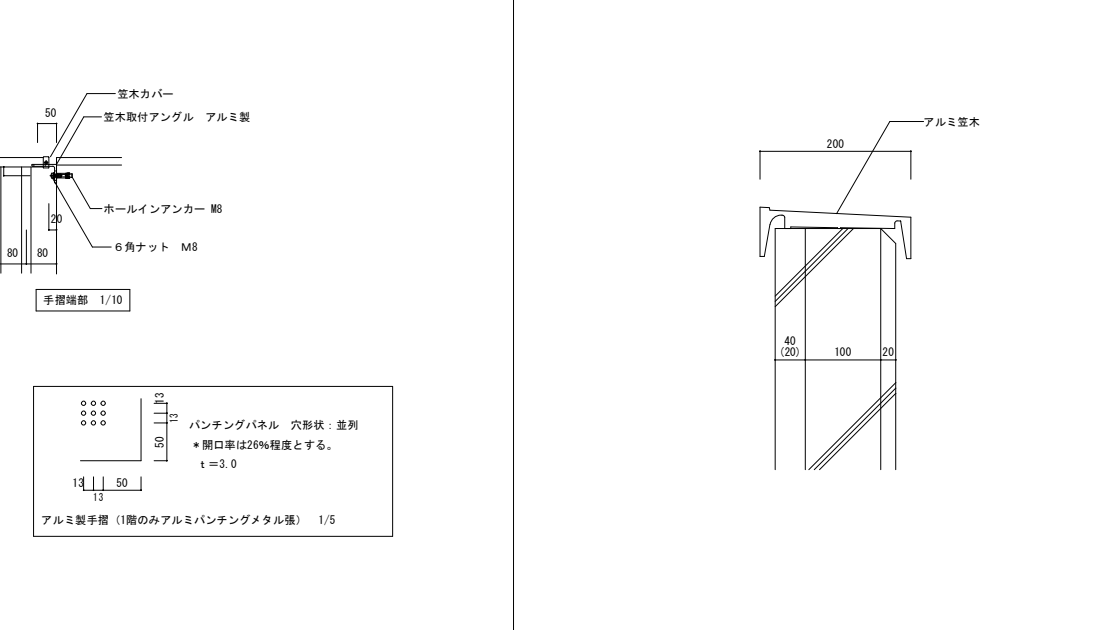
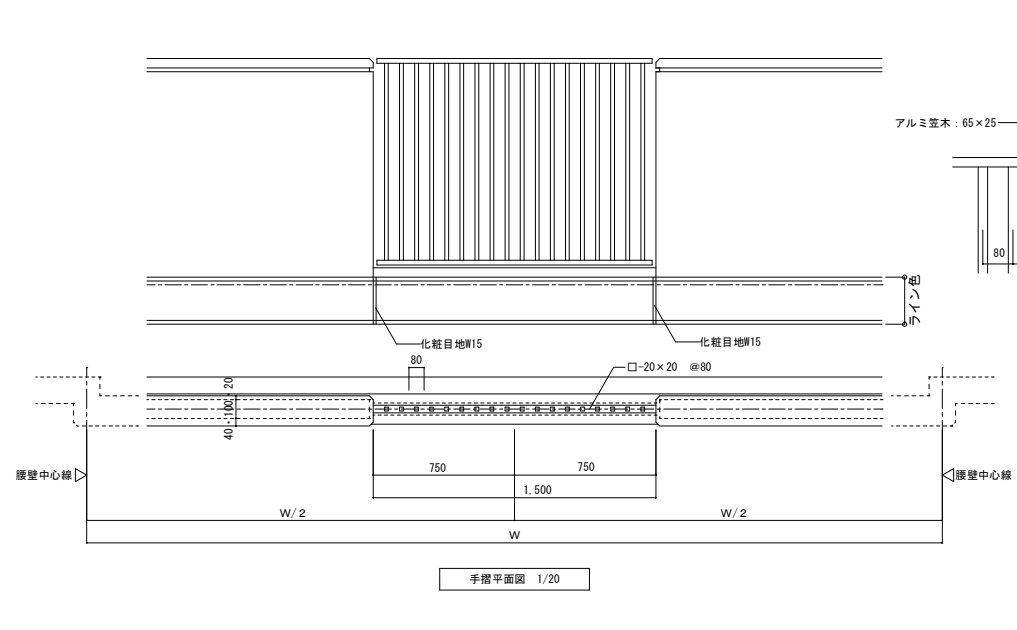
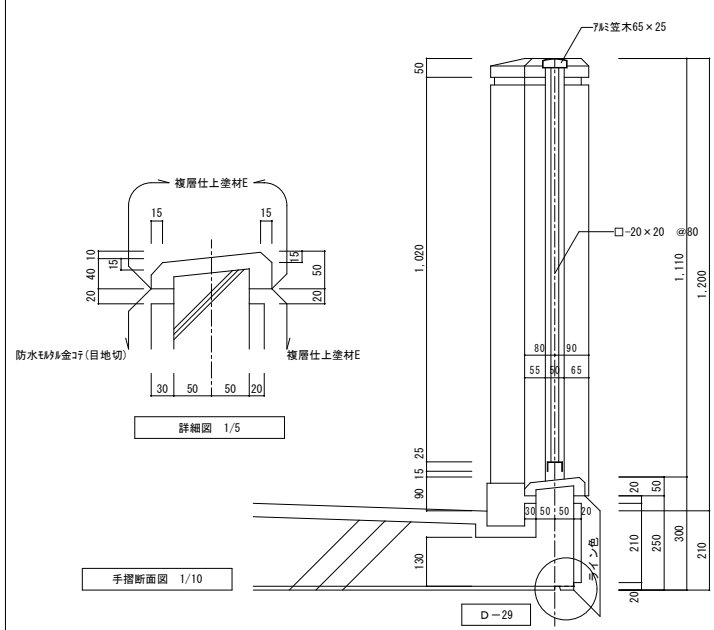
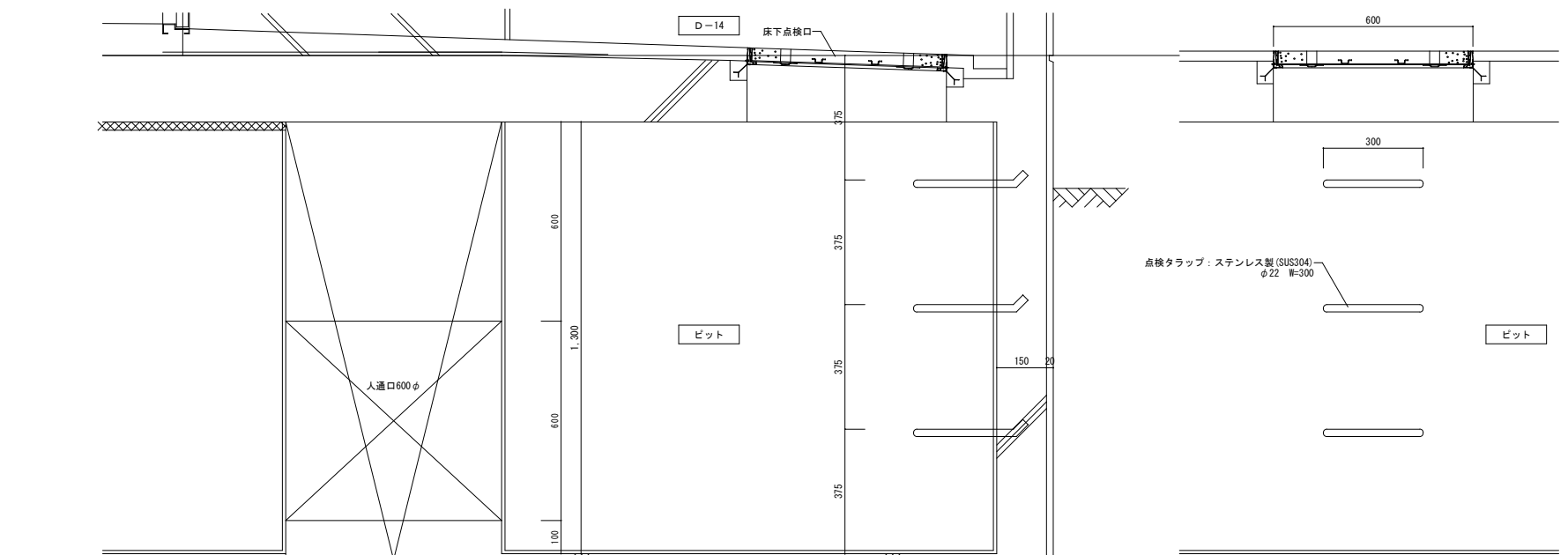
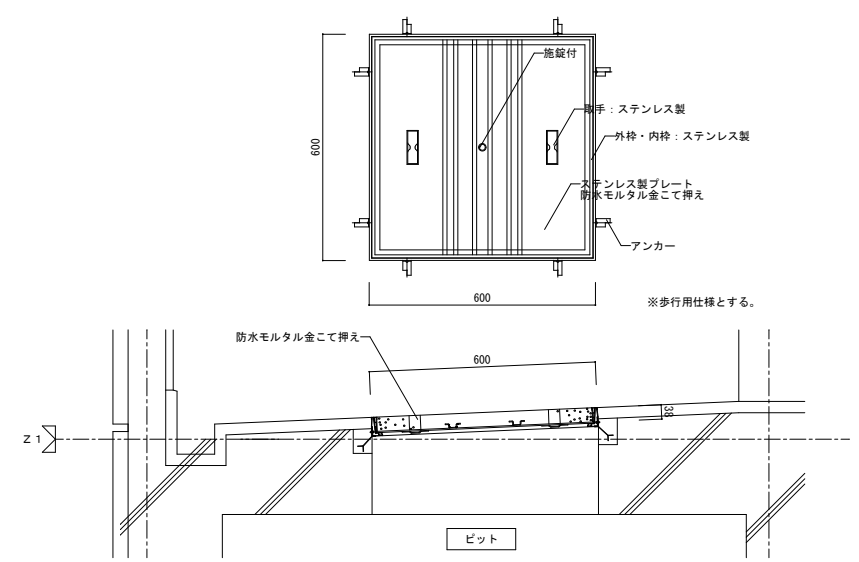
分類	塩ビコーナー材	C型カーテンレール	鴨居受金物	パネル止め金物	アルミ台付レール (W)	C型カーテンレール (W)
付属部品細図						

床・棚・壁・間仕切・天井パネルはF☆☆☆☆
住宅部品表示ガイドラインに基づく「内装パネルのホルムアルデヒド発散区分表示」を示す。

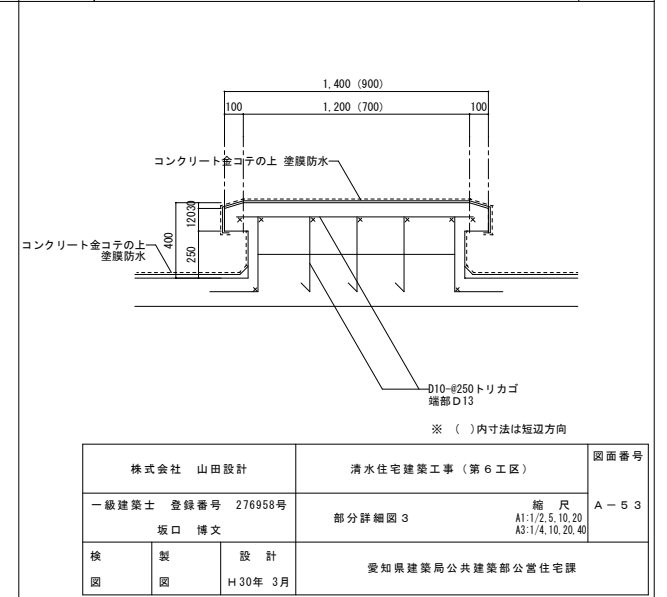
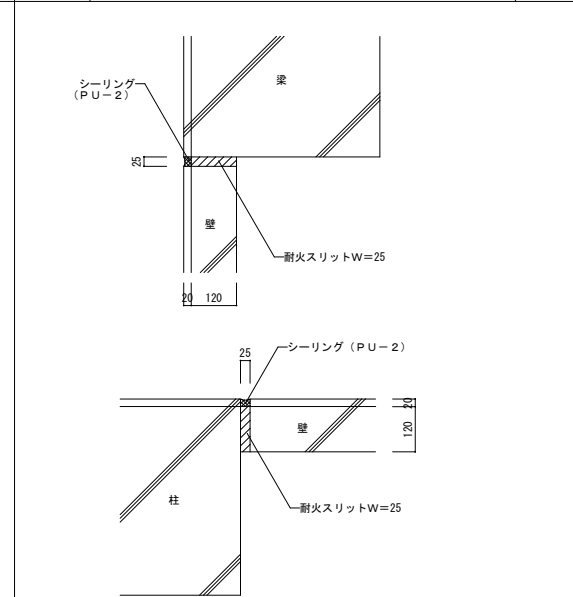
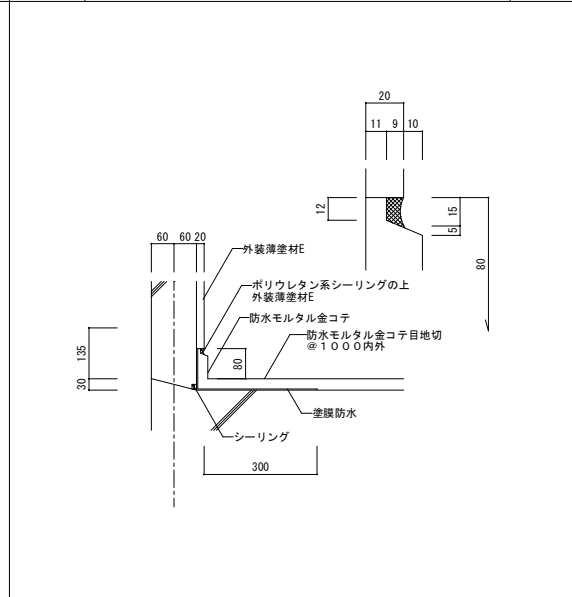
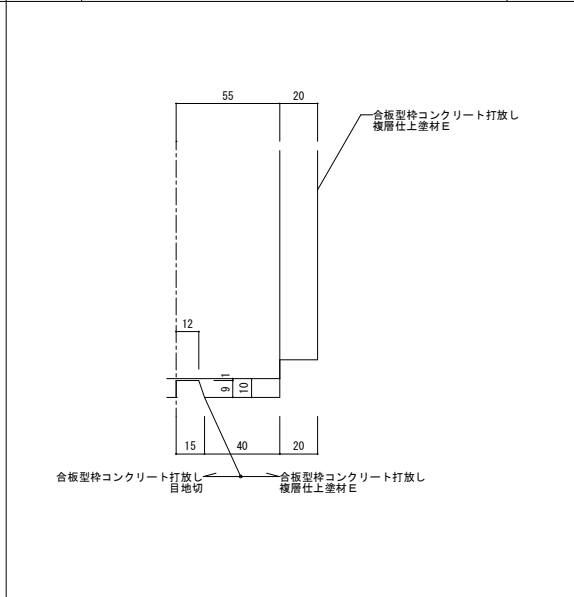
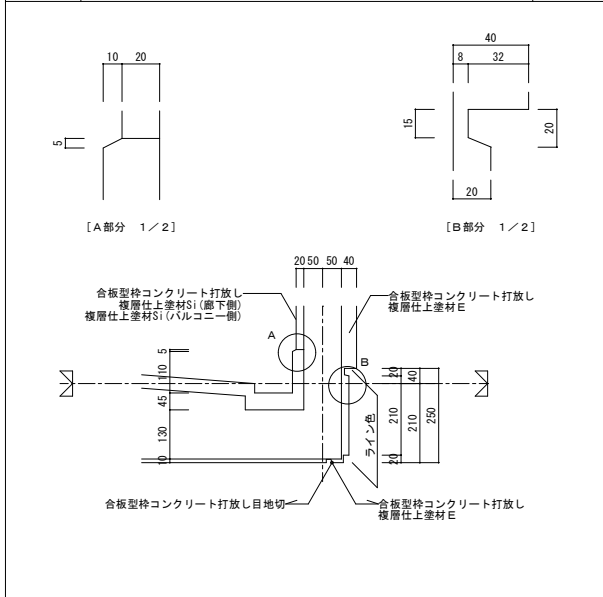
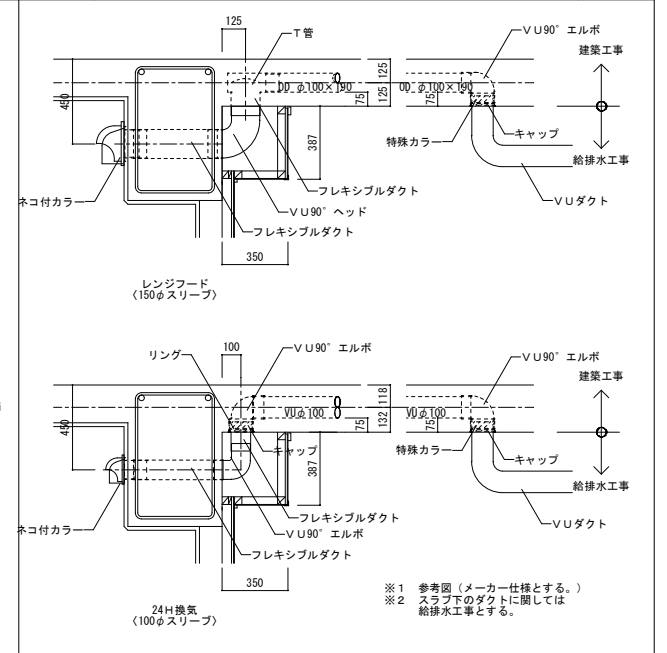
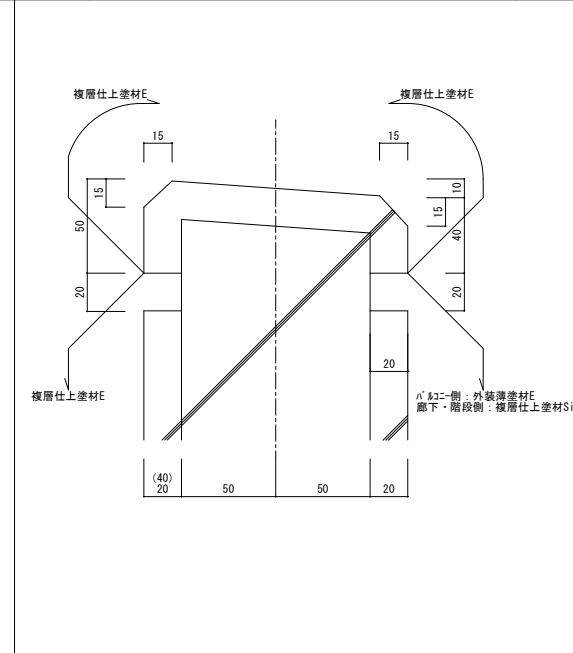
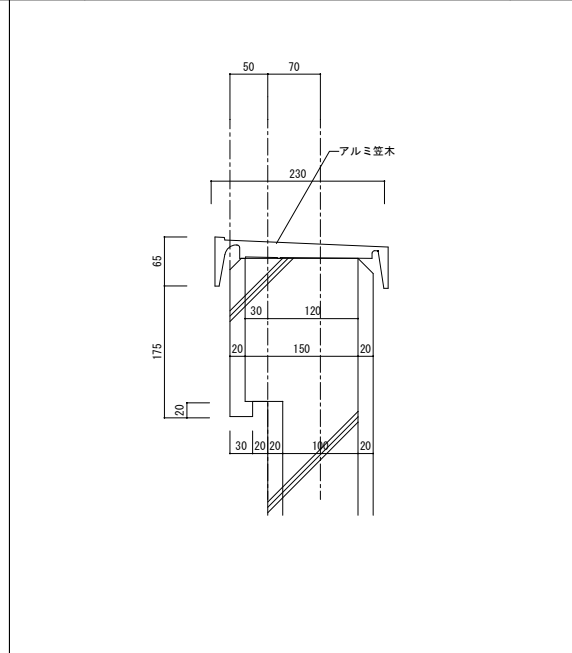
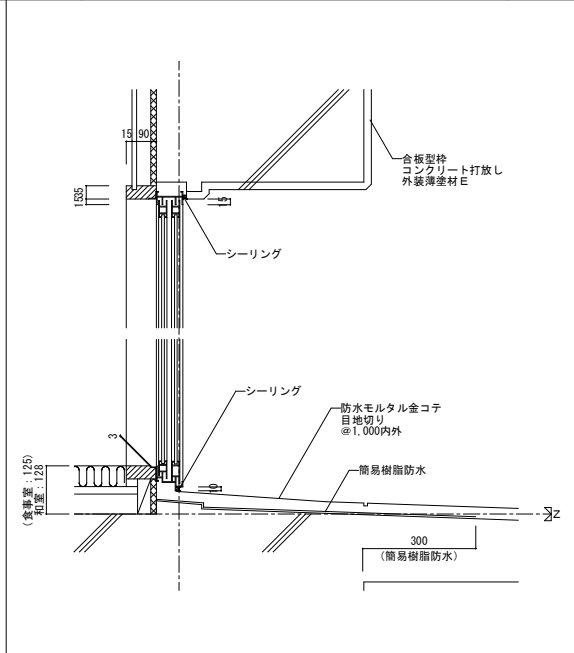
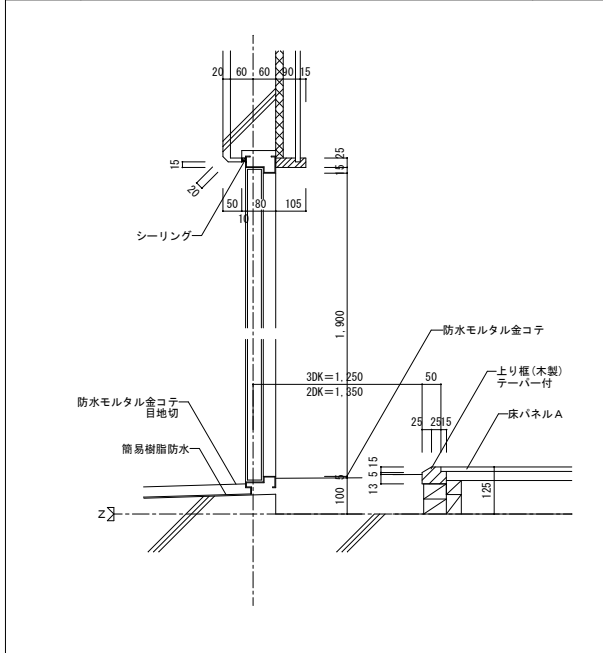
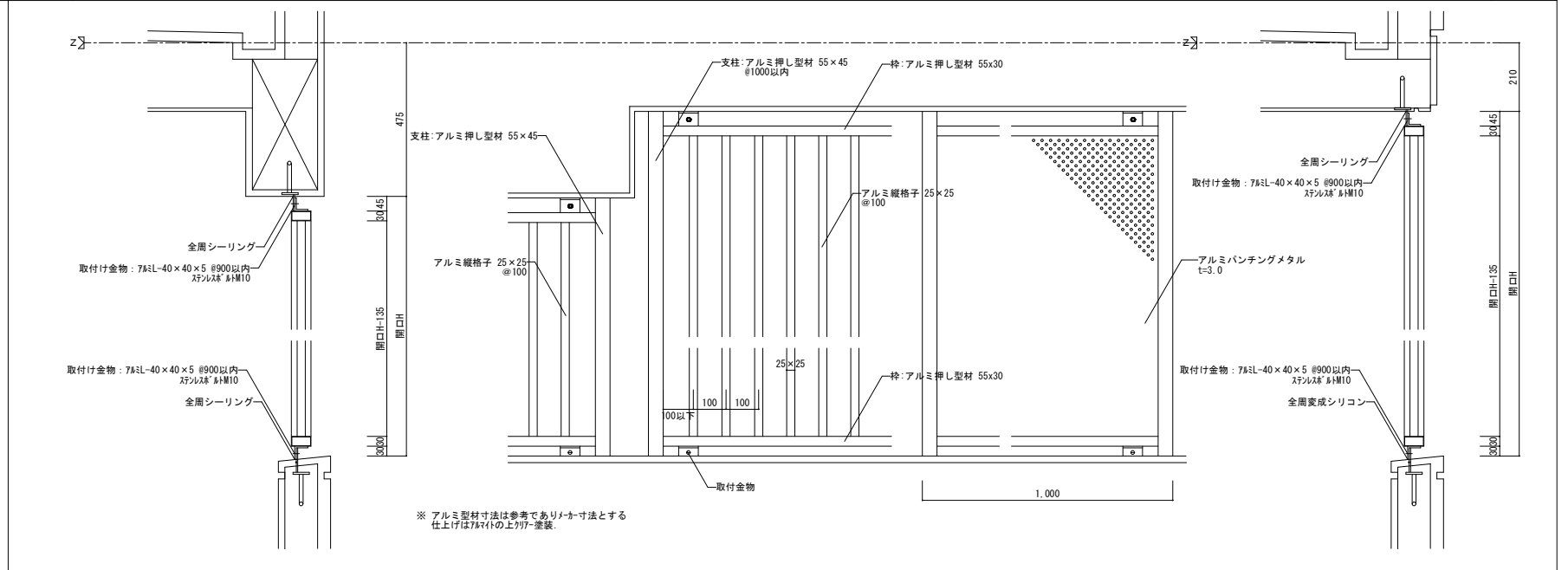
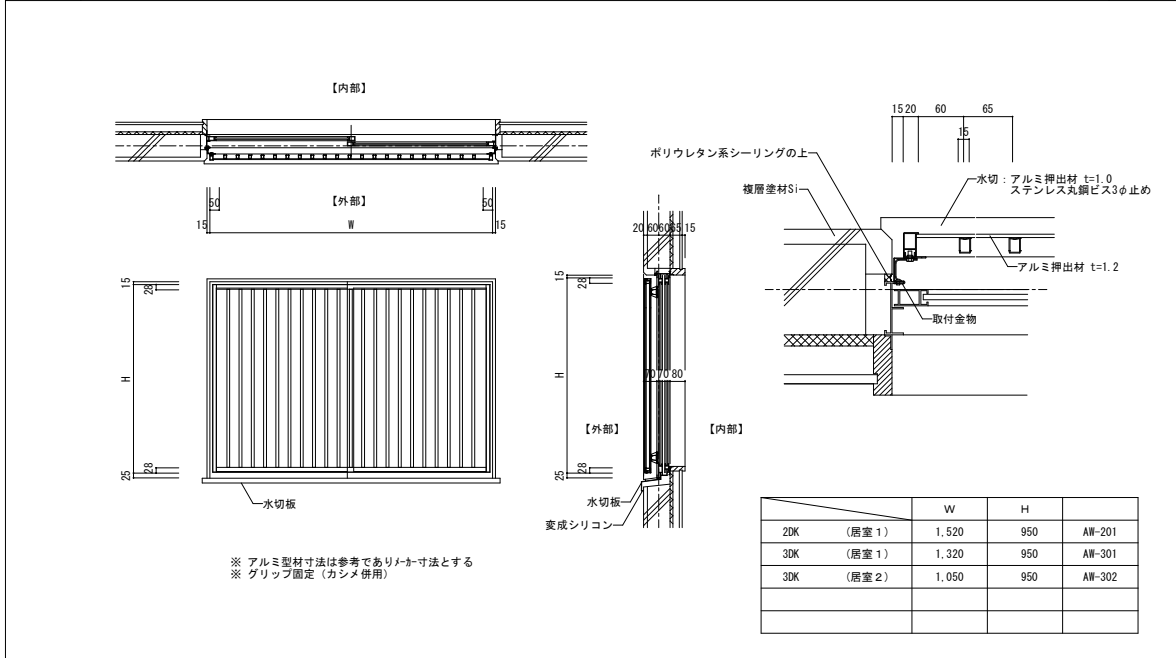
その他

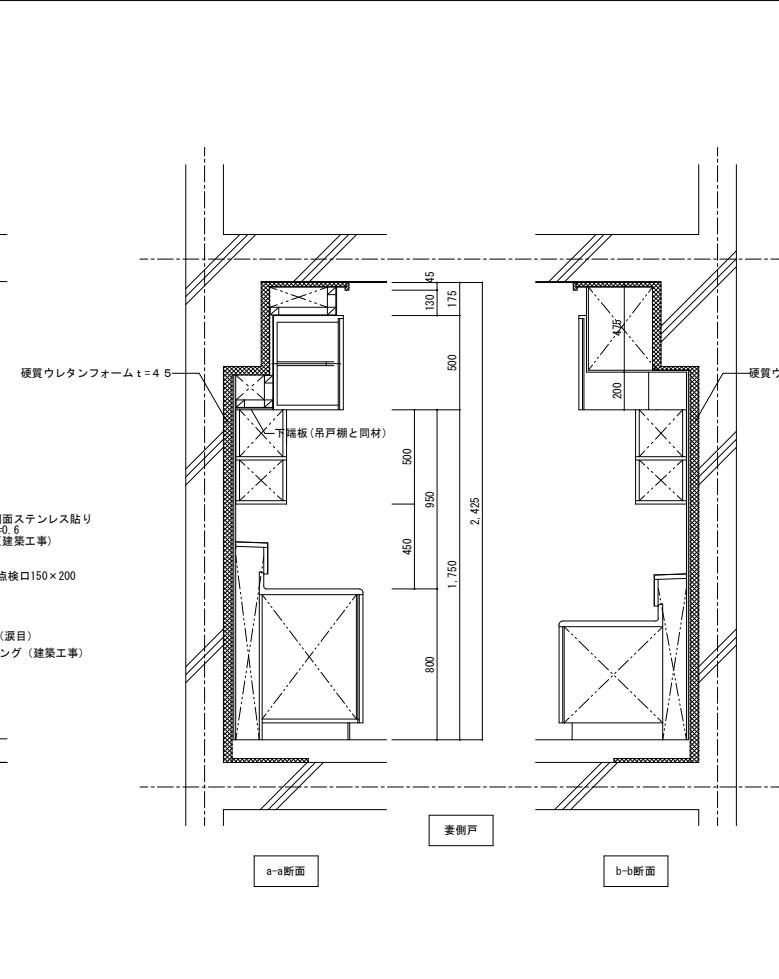
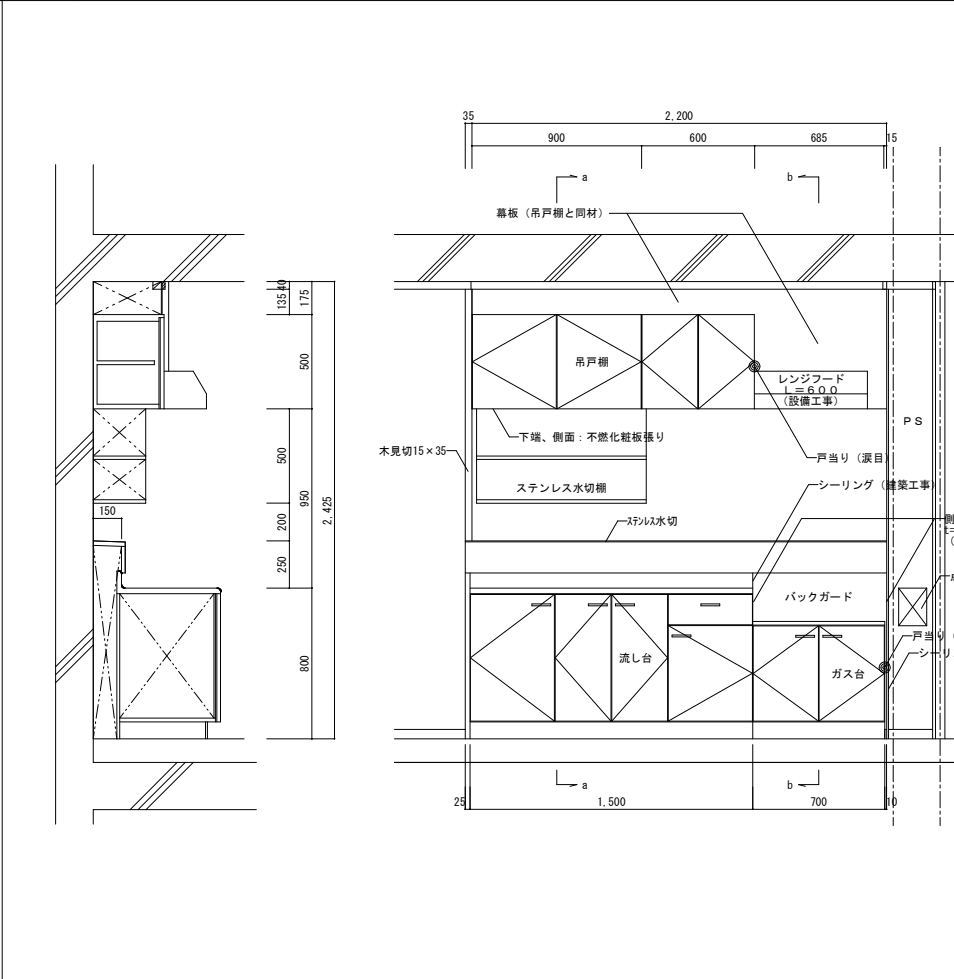
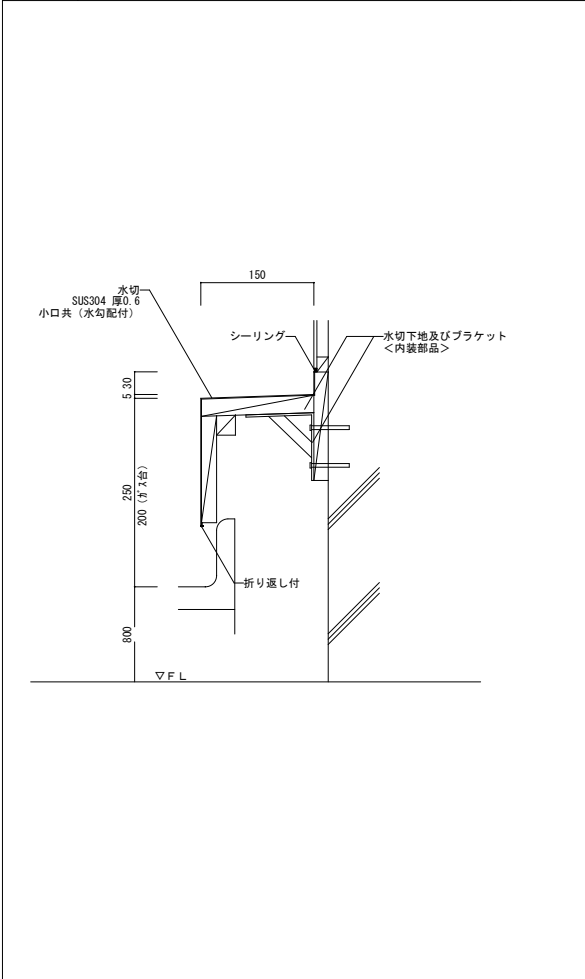
1. 下地補強については、監督員と協議の上必要箇所へ施すこととする。
2. 壁目地と天井目地は意匠性を考慮し出来る限り合わせる。
3. 複合フローリング・合板はJASによる防虫処理合板認定品とする。

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	基本パネル標準図	縮尺 A-50
坂口 博文		A1: 1/40 A3: 1/80
製 図	設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課
図 図	H30年3月	



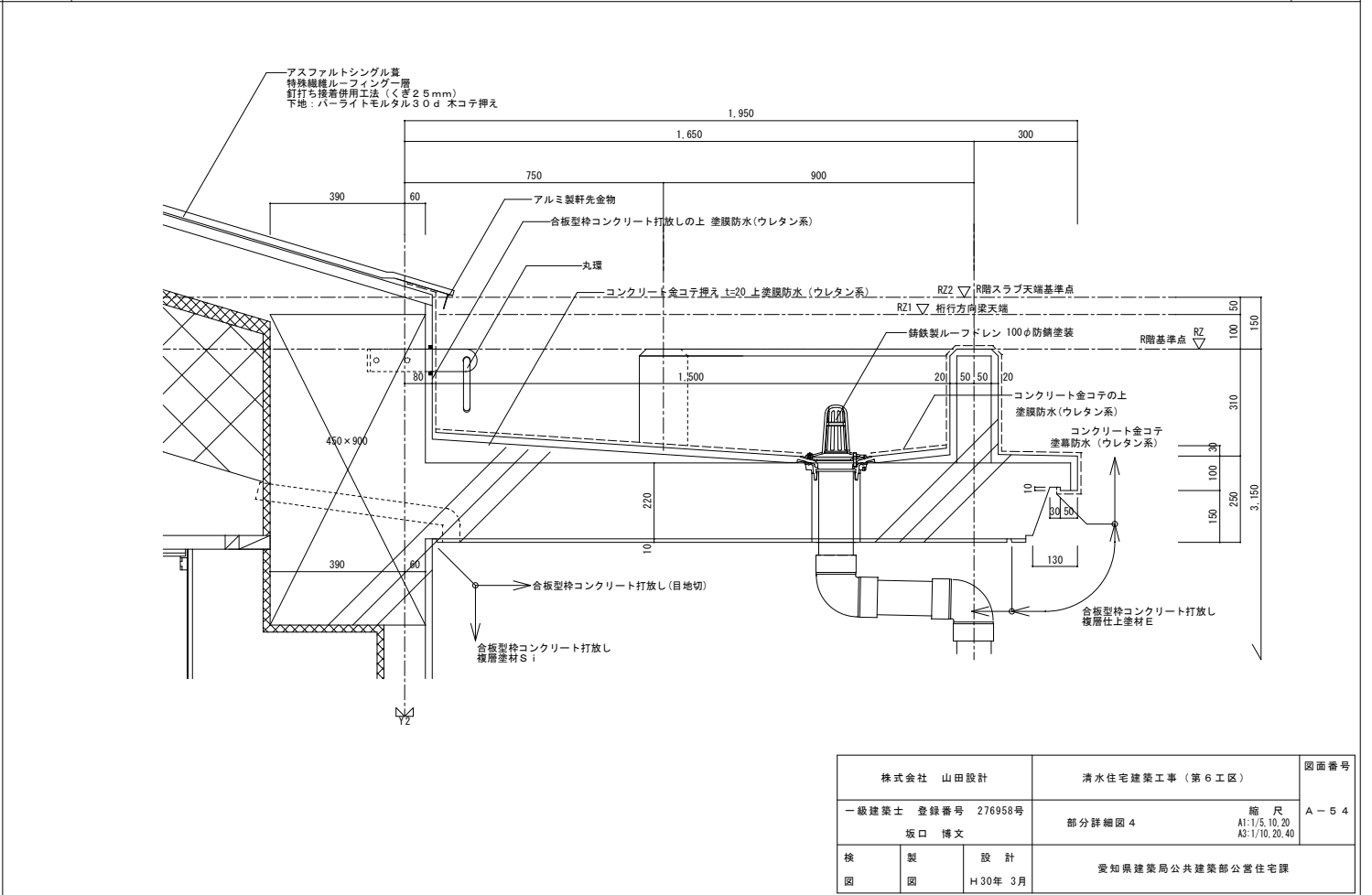
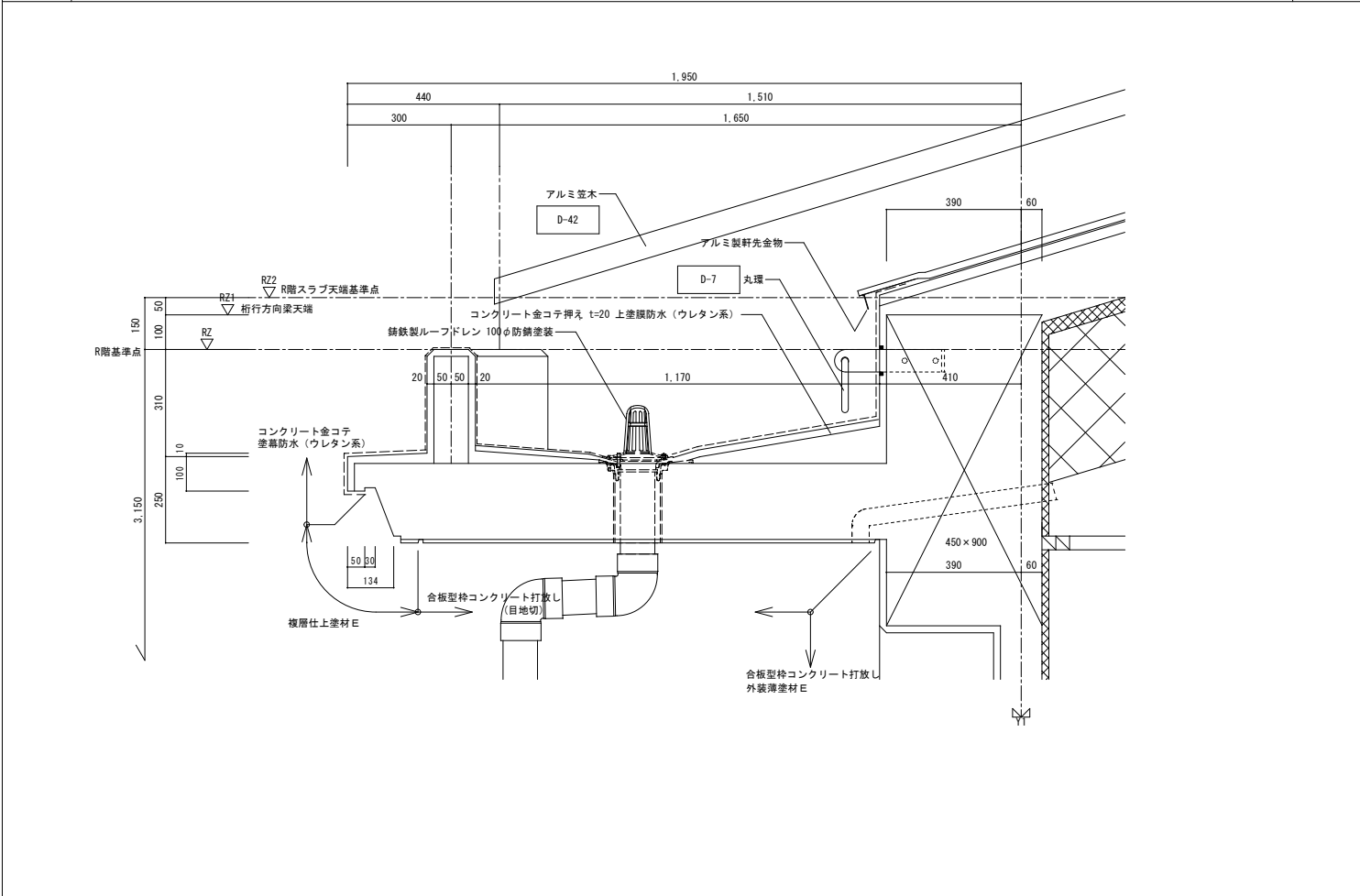
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	部分詳細図 2	縮尺 A-52
坂口 博文		A1: 1/5, 10, 20 A3: 1/10, 20, 40
検 製 設 計	愛知県建築局公共建築部公営住宅課	
図 園 H	30年 3月	



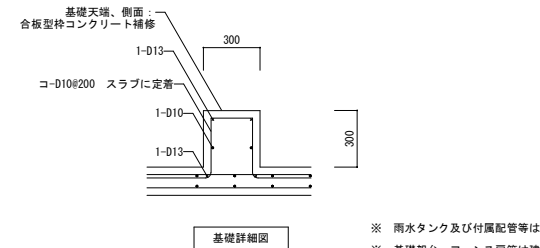
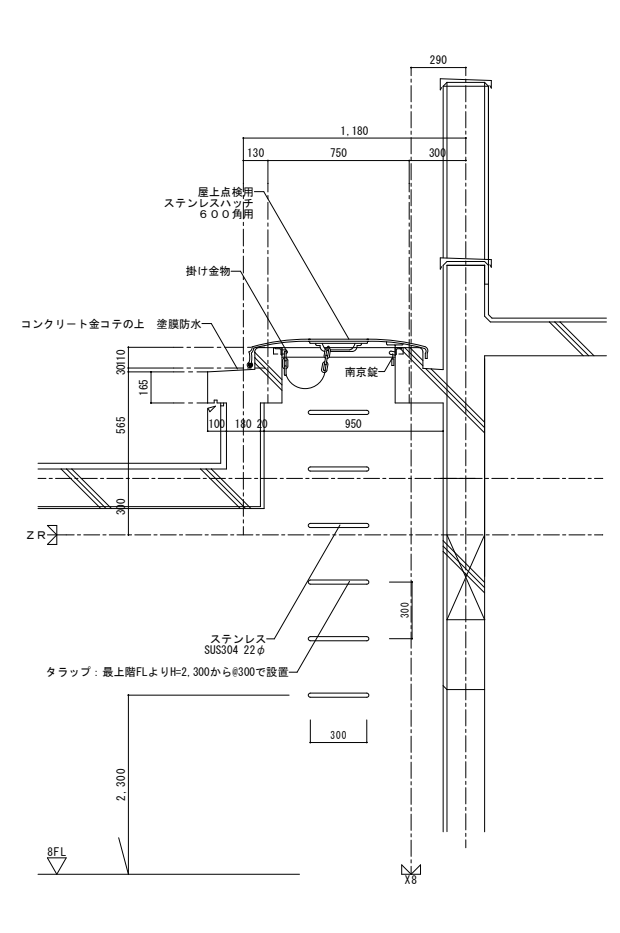
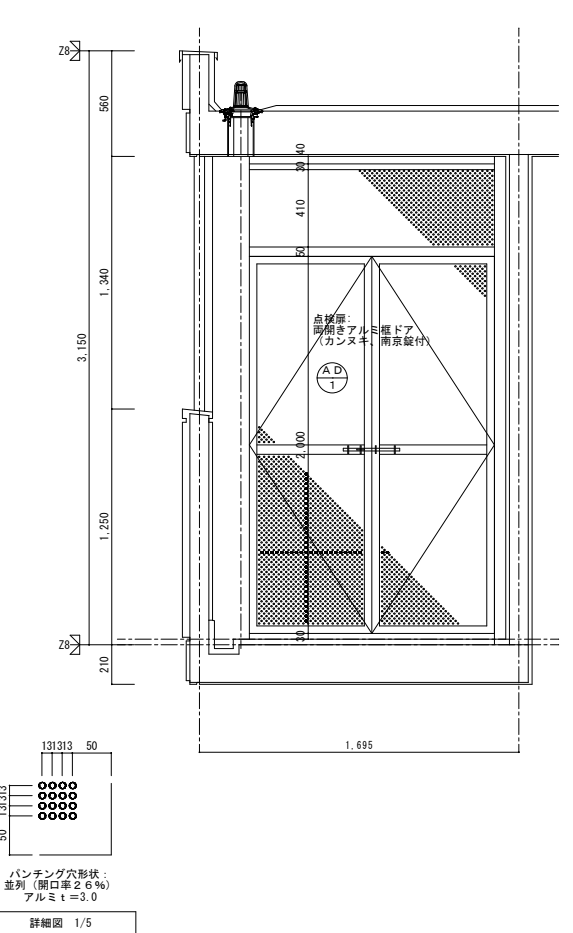
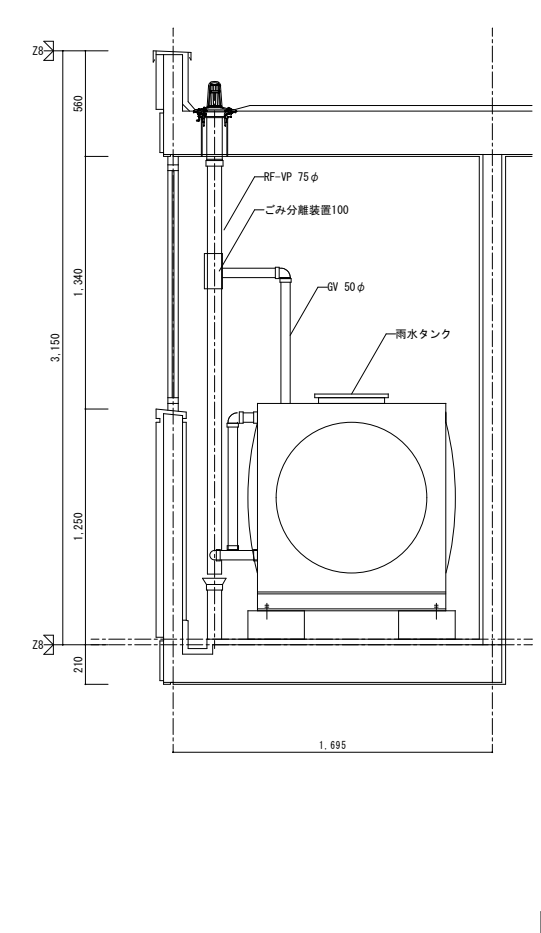
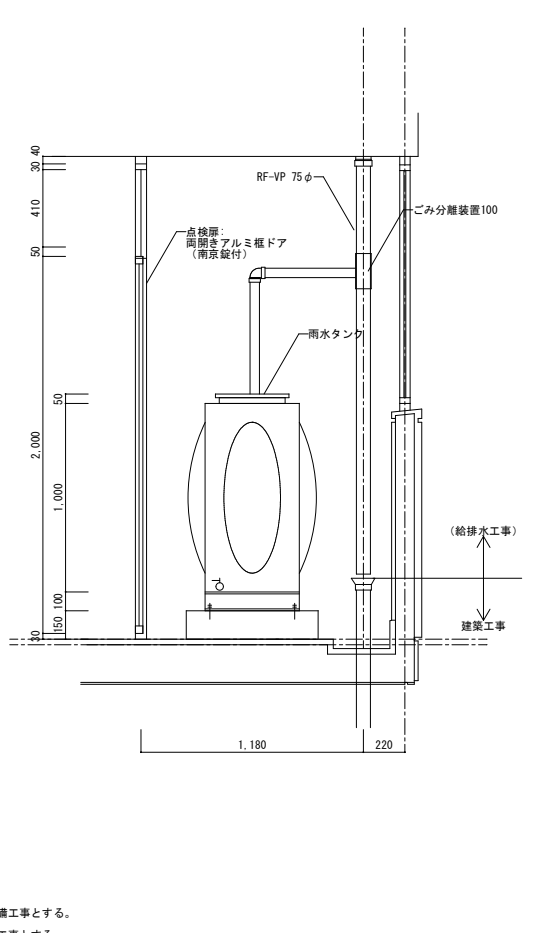
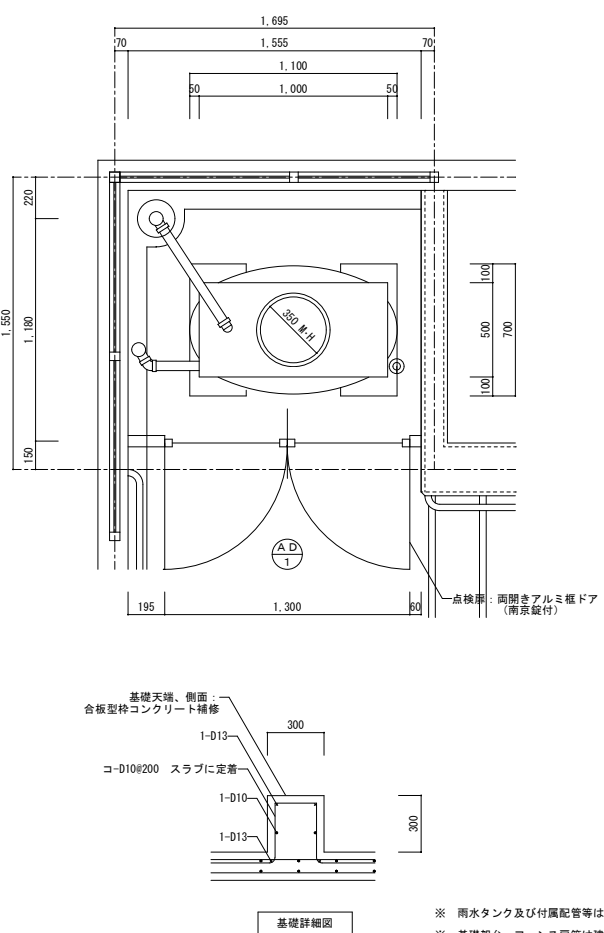


	品名	W×D×H
吊戸棚	BL-1型	(900×600)×371×500
レンジフード (薄型)		L600
ステンレス水切棚		900×270×470
流し台	BL-1型 (トラップ付)	1,500×550×800
ガス台	BL-1型 (バックガード付)	700×543×623

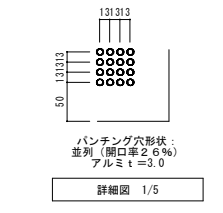
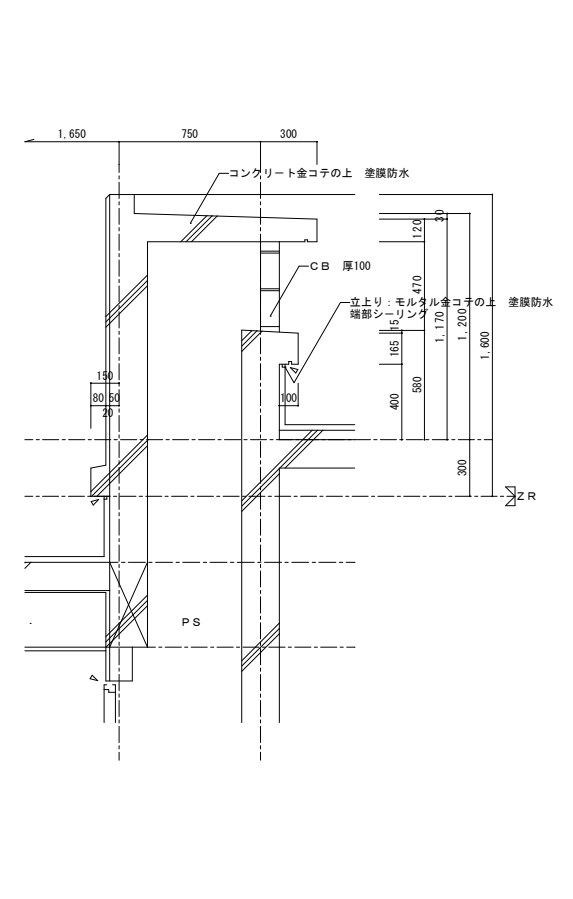
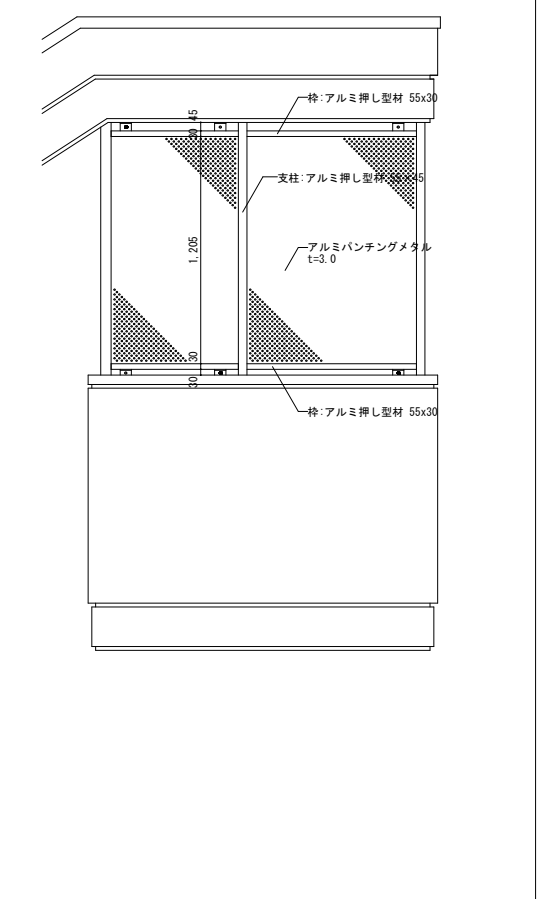
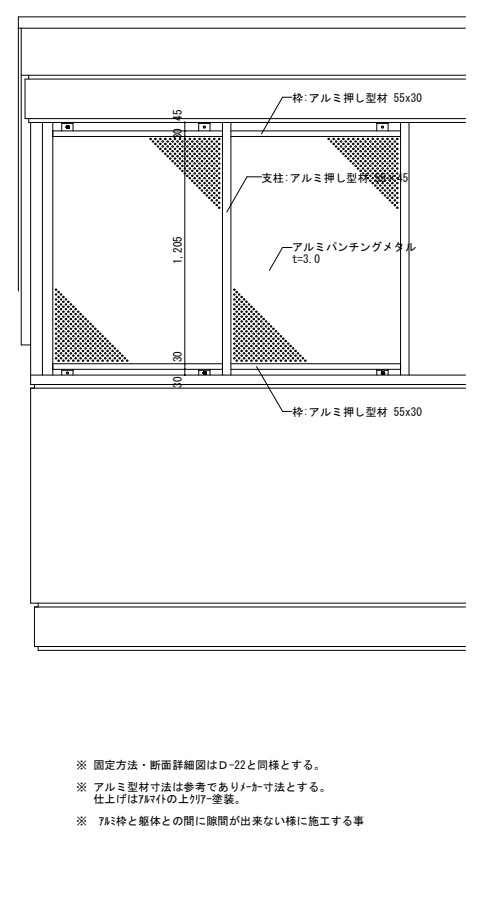
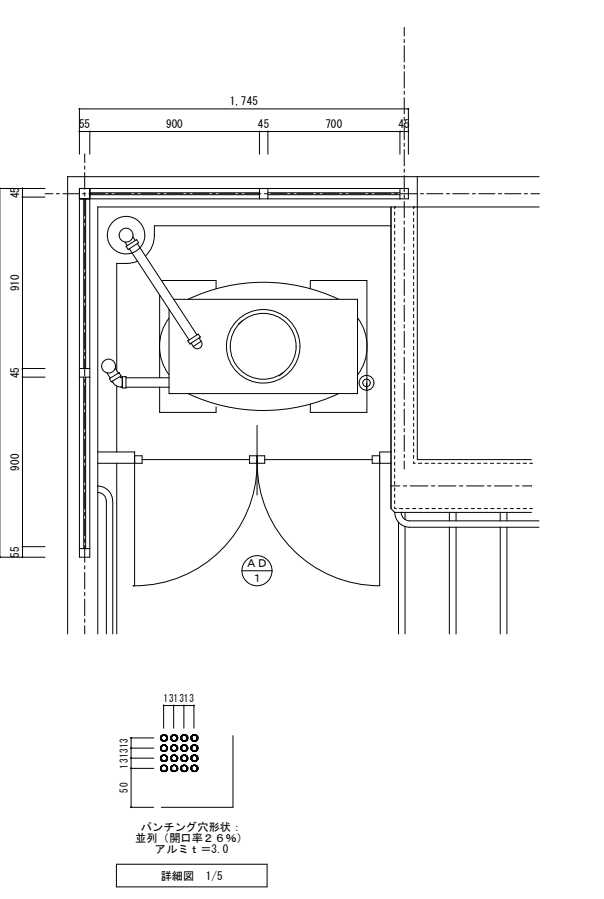
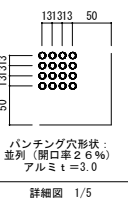
※ 給排水工事 (扉板共)



株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	部分詳細図 4	A-54
坂口 博文	縮尺 A1:1/5, 10, 20 A3:1/10, 20, 40	
検 製 設 計	製 図 H30年 3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課

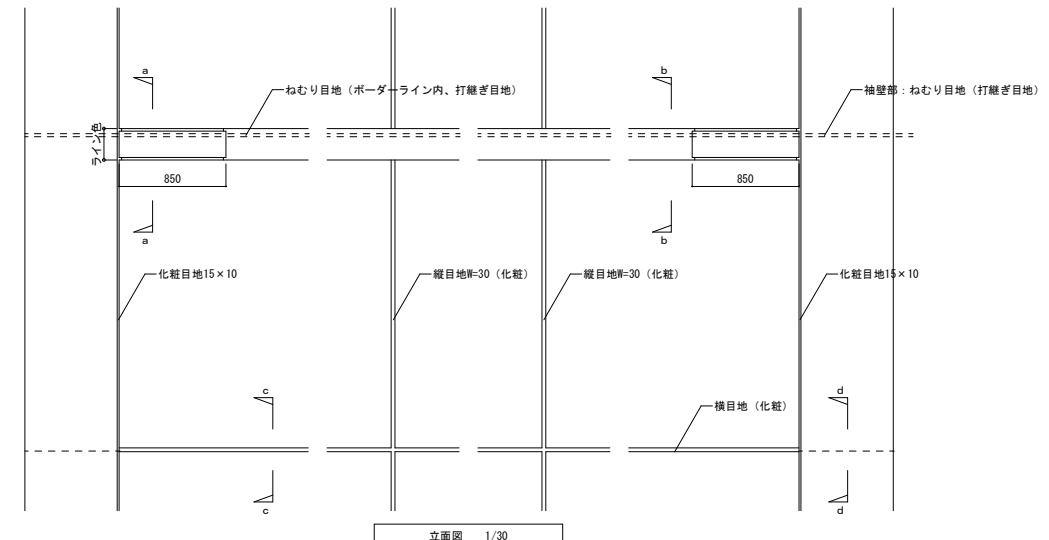


※ 雨水タンク及び付属配管等は設備工事とする。
 ※ 基礎架台、フェンス等は建築工事とする。

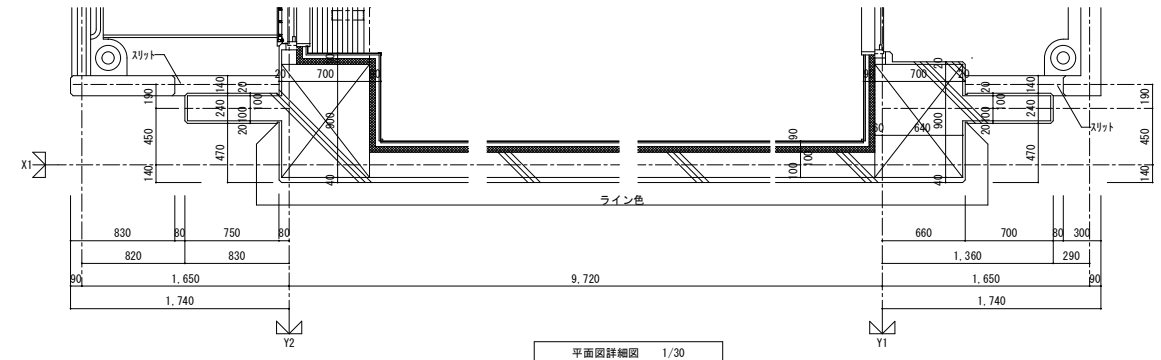


※ 固定方法・断面詳細図はD-22と同様とする。
 ※ アルミ型材寸法は参考でありメーカー寸法とする。
 ※ 仕上り厚は78(4)の上り寸法。
 ※ 78と躯体との間に隙間が出来ない様に施工する

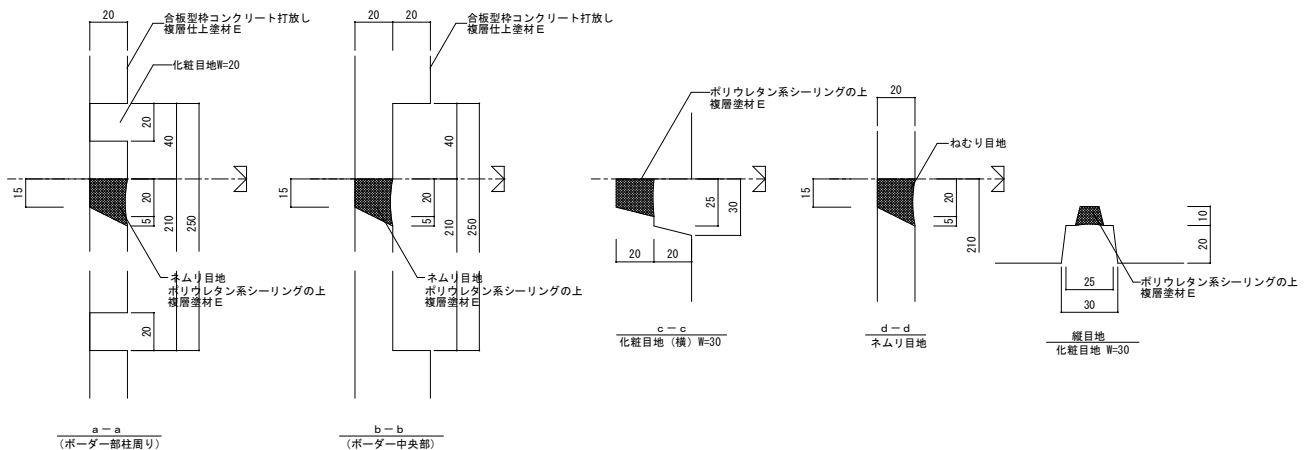
株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	部分詳細図 5	縮尺 A-55 A1:1/5, 20 A3:1/10, 40
坂口 博文		
製 図	設計	昭和30年3月
愛知県建築局公共建築部公営住宅課		



立断面図 1/30

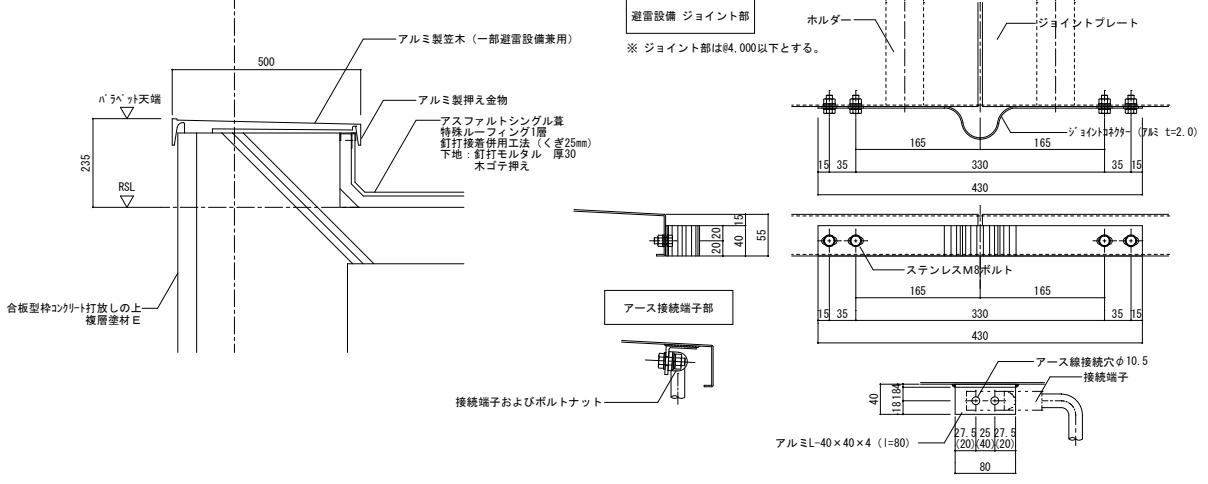


平面図詳細図 1/30



目地詳細図 1/2

註) 避雷設備兼用笠木は厚0.6mm以上とする。



※ ジョイント部は84,000以下とする。

アース接続端子部

接続端子およびボルトナット

株式会社 山田設計	清水住宅建築工事 (第6工区)	図面番号
一級建築士 登録番号 276958号	部分詳細図 6	A-56
坂口 博文	縮尺 A1:1/2, 5, 10, 30 A3:1/4, 10, 20, 60	
検 製 設計	昭和30年 3月	愛知県建築局公共建築部公営住宅課